

世田谷区立中学校部活動地域移行に係る
検討委員会報告書（中間まとめ）

令和5年8月

世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会

目 次

はじめに	2
第1章 区立中学校部活動における現状	
1-1 部活動の現状	3
第2章 世田谷区における中学校部活動地域移行の検討	
2-1 検討委員会の立ち上げ	5
第3章 区立中学校部活動地域移行に係る課題と検討	
3-1 部活動地域移行の課題	10
3-2 地域移行のためのトライアル事業の実施	12
第4章 今後に向けた検討と取組み	
4-1 トライアル事業の検証	16
4-2 世田谷区の中学校部活動の今後の方向性について	20
4-3 地域移行の「新たな価値」と「キャッチフレーズ」	23
4-4 今後の継続的な検討	25
資料編	26
1 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会設置要綱.....	28
2 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会委員名簿.....	30
3 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的な ガイドライン【概要】(スポーツ庁・文化庁)	32
4 「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」 及び「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」について (概要版)(東京都)	34
5 区立中学校部活動における現状.....	37
6 部活動支援員学校別内訳(令和5年3月)	39
7 中学校部活動に関する中学生・高校生・大学生委員による意見	
(1) 意見交換会(検討部会)での意見.....	40
(2) 意見交換会後に寄せられた意見(回答シートの集計結果)	44
8 アンケート集計結果	
(1) 令和5年3月実施分 部活動地域移行に関するアンケート.....	61
(2) 令和5年6月実施分 トライアル事業に関するアンケート.....	85

はじめに

本報告書は、世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会（以下、本委員会）による審議の中間まとめを記したものである。

令和4年6月と8月にスポーツ庁並びに文化庁より「中学校部活動の地域移行に関する検討会議提言」が示されたことを受けて、本委員会は令和4年10月に世田谷区立中学校の部活動地域移行の在り方及びその内容を検討するために発足した。区立中学校の部活動地域移行と一口に捉えても、そこに関連する組織・団体は学校内外に幅広く存在している。そのため、本委員会は、中学校教員、保護者、地域クラブ・団体、大学、教育委員会等といった多様な立場の代表者から構成しており、様々な意見を集約・調整しながら、よりよい在り方の実現を目指している。

本委員会は、現在に至るまで計8回の審議を経ており、毎回活発な議論を展開しているが、具体的には、区内の部活動の現状把握をはじめとして、当事者である中学生（当事者であった高校生や大学生を含む）との面談、地域移行の旗印となる理念やキャッチフレーズの検討、トライアル事業の評価等について検討をしている。とりわけ本委員会において留意していることは、部活動の当事者である「生徒を中心とすること（スチューデント・センタード）」を方針の一つとして掲げ、生徒の声に耳を傾け、その思いを汲み取り、在り方の具体にまで結実させていく点である。

この地域移行という課題は、中学生の活動場所が学校から地域に移るといった単なる空間の変更を意味するものではなく、未来の世田谷の中学校の在り方にも大きく影響を与えるとの自覚の下で、生徒や保護者の多様なニーズを丁寧に汲み取り、その在り方に反映できるよう、同時にスポーツ・文化の多様な経験と担い手の育成に寄与するよう、持続的で実施可能な在り方を模索している。世田谷の特性や多様な資源を生かして、世田谷らしい地域移行を今後検討していきたいと考えている。

なお、本報告書はあくまで中間まとめであり、これを契機として、よりよい部活動地域移行の在り方に向けて、多くの方と深い議論ができればと考えている。是非ともご一読をいただき、忌憚のないご意見を賜ればと考えている。

令和5年8月

世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会

委員長 近藤 智靖

第1章 区立中学校部活動における現状

世田谷区では、世田谷区立学校管理運営規則（昭和53年世教委規則第7号）第27条において「中学校は、その管理下において、部活動を行う。」としており、29の区立中学校においては、20種類の運動系部活動、35種類の文化系部活動が行われており、令和5年度は合計395の部活動が設置されている。

<資料5参照>

1-1 部活動の現状

1-1-1 生徒の部活動への参加の状態

世田谷区立中学の全生徒のうち、男子で部活動に所属している割合は84%、所属していない割合は16%、女子で部活動に所属している割合は93%、所属していない割合は7%である。

また、部活動に所属している生徒のうち、運動系部活動に所属している生徒が68%、文化系部活動に所属している生徒が32%である。

男女別にみると、男子で、部活動に所属している生徒のうち、運動系部活動に所属している生徒が78%、文化系部活動に所属している生徒が22%、女子で部活動に所属している生徒のうち、運動系部活動に所属している生徒が57%、文化系部活動に所属している生徒が43%である。

<資料5参照>

1-1-2 世田谷区部活動の指導体制

中学校では、部活動を推進するために、部活動ごとに顧問教員を置き、部活動の指導を行っている。また、世田谷区では、部活動を支援するため「部活動支援員制度」を活用した取組みを行っている。

部活動支援員は、529人配置されており、その内訳は、監督¹141名、部活動指導員²388名となっている。（令和5年3月現在）³<資料6参照>

また、部活動支援員を配置している部活動は、全29校の249部の部活動

¹ 「監督」は、「世田谷区立中学校部活動支援員の設置及び活動に関する要項」で規定するものであり、顧問教員を置けない部活動において、管理顧問教員と協力して、必要な技術の指導を行う。また、練習試合や一部の大会において単独引率を行うことができる。

² 「部活動指導員」は、「世田谷区立中学校部活動支援員の設置及び活動に関する要項」で規定するものであり、顧問教員または監督の技術指導の補佐等の業務を行う。なお、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第78条の2で規定されている「部活動指導員」とは異なる。

³ 部活動支援員の報償費（1時間あたり）監督1,500円 部活動指導員1,300円

となっている。

部活動支援員は、大学生をはじめ、地域の指導者のほか、(一財)東京学校支援機構(TEPRO)のサポーターバンク、(公財)世田谷区スポーツ振興財団のスポ・レクネット等の指導人材登録システム等を活用し、学校からの要望を踏まえて教育委員会が配置を行っている。

第2章 世田谷区における中学校部活動地域移行の検討

2-1 検討委員会の立ち上げ

国は、少子化の影響による中学校部活動の持続可能性や、休日を含めた部活動の指導が、教員にとって大きな業務負担となっているなどの課題を踏まえ、スポーツ庁及び文化庁において検討会議を設置し検討を進め、令和4年6月に「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」、令和4年8月に「文化部活動の地域移行に関する検討会議提言」がそれぞれ取りまとめられた。また、経済産業省では、地域×スポーツクラブ産業研究会が令和4年9月に「未来のブカツ」ビジョンを取りまとめている。

スポーツ庁及び文化庁では、前述の提言を踏まえ、令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」(以下「総合的なガイドライン」という。)を取りまとめた。

総合的なガイドラインでは、改革の方向性としては以下が示されている。

- ① スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等との協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進めること。
- ② 地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制を整備すること。
- ③ 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業を行うこと。
- ④ 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムを確保すること。
- ⑤ 困窮家庭への支援を行うこと。
- ⑥ まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進。平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組みの進捗状況等を検証し、更なる改革を推進すること。
- ⑦ 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指すこと。
- ⑧ 大会参加資格を地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直すこと。
- ⑨ できるだけ教師が引率しない体制を整備し、運営に係る適正な人員を確保すること。

なお、部活動の地域移行にあたっては、「地域の子どもたちは、学校を含めた

地域で育てる」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備し、地域の実情に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要とされている。

こうした背景から、世田谷区では、当区らしい中学校部活動の地域移行について検討を進めるため、令和4年10月に「世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会」（以下「検討委員会」という。）を立ち上げ、検討を行っている。

2-1-1 検討委員会における検討状況

検討委員会では、令和5年10月以降8回の会議を開催し、世田谷区に相応しい中学校部活動の地域移行の在り方を検討するため、部活動の現状を踏まえて、地域移行に向けた課題の整理を行っている。

部活動が地域に移行することについて、教員が部活動に関わる負担を軽減することで、教員の働き方改革を実現することはもとより必要である。

それとともに、世田谷区における部活動は、何よりも生徒のためのものであり、それが地域クラブの活動に移行することは、生徒にとって、新たな出会いや期待、楽しみといった「新たな価値」をもたらすものであることが重要である。

当検討委員会では、いつも、生徒のことを何よりも中心に考え、生徒にとってより良い「生徒を中心とすること（ストゥーデント・センタード）」の共通の視点から、議論が交わされている。

この部活動地域移行の取組みが、生徒にとって「新たな価値」を感じられるものとしていく必要があるとして、検討委員会で議論を重ねる中で、以下の6つの「新たな価値」が、導き出された。

世田谷区 部活動地域移行の「新たな価値」

- 1 自己選択、自己決定、自ら選べる選択肢が今まで以上に広がる
- 2 よりよい指導環境、専門的な指導を継続的に受けられる
- 3 多世代の交流、世代を超えた地域の人々との交流の機会がある
- 4 多種目・多様な志向、スポーツ・文化の多様な経験と担い手の育成につながる
- 5 地域への誇りを感じられる
- 6 自宅や学校とは違う居場所がある（サードプレイス）

こうした考え方に加え、令和4年6月に制定されたこども基本法を踏まえ、現役の中学生だけでなく、中学校で部活動を経験している高校生や大学生からの部活動に関する意見聴取を行い、子どもから直接意見を聞く機会も設けて、

検討を行っている。

回	日時	主な議題
第1回	令和4年10月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校部活動地域移行の制度理解について ・世田谷区立中学校の部活動の現状について ・地域移行の在り方について
検討部会	令和4年11月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・検討部会中学校の部活動に関する意見交換会 中学生の部 高校生・大学生の部
第2回	令和4年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生、高校生、大学生委員代表による意見の報告 ・部活動地域移行の検討の方向性について
第3回	令和5年1月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域移行のあり方検討（目指すべき地域移行の方向性） 地域資源を活用した地域クラブ活動のパターン ・地域移行に伴う諸課題について（検討部会の意見より） ・報告書の考え方について
第4回	令和5年2月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域移行のあり方検討（目指すべき地域移行の方向性） 教師等の兼業兼職 理念やキャッチフレーズ ・地域移行に伴う諸課題について
第5回	令和5年3月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域移行のあり方検討（目指すべき地域移行の方向性） 「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」 東京都中学校体育大会の大会実施要項の改定 アンケート結果 キャッチフレーズ ・地域移行に伴う諸課題について

回	日時	主な議題
第6回	令和5年6月1日	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域移行に係るトライアル事業の取組みについて <ul style="list-style-type: none"> トライアル事業の実施状況 アンケートの質問内容 部活動地域移行に係るキャッチフレーズとその趣旨について
第7回	令和5年6月29日	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域移行に係るキャッチフレーズとその趣旨について 部活動地域移行トライアル事業のアンケート集計結果について 部活動地域移行に関するアンケート（全生徒/保護者/教員向け）について
第8回	令和5年7月27日	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域移行に係る検討委員会報告書（中間まとめ）について 部活動地域移行に関するアンケート（全生徒/保護者/教員向け）について

2-1-2 検討部会の実施

検討委員会では、「生徒を中心とすること（ストューデント・センタード）」の視点を重視しながら、部活動の地域移行を検討するにあたり、部活動の当事者の意見を知るため検討部会を開き、中学生、高校生、大学生から中学校の部活動についての意見を聞いた。

当日は、中学生8名、高校生3名・大学生3名から、率直な意見を聞くことができた。

さらに、第2回検討委員会（令和4年12月20日）に代表として中学生、高校生、大学生それぞれ2名に出席いただき、委員との意見交換を行った。

2-1-3 中学生、高校生、大学生委員による意見

中学生からの意見

部活動への希望としては、

- 「休みが規則正しくあった方がよい」「勉強との両立を図りたい」という意見の一方、「練習の機会・時間がもう少し増やせるとよい」という意見もあった。

- また、「もっと大人の指導を受けたい。相談をしたい。」「同じ実力のある者同士でチームを組みたい。同じ実力のチームと試合をしたい」という意見のほか、「やる気が上がるような環境（設備の充実）」を望む声もあった。

部活動の地域移行については、

- 合同部活等については、「他の学校とプレイできるのがいい」「他校の交流は良いが、人間関係が大変そう」「合同チームはカラーが違って、かみ合わない」などの意見があった。
- 指導者については、「顧問が熱心なので、指導者が変わると残念」「レベルの高い指導を受けられるのはよい」「複数の指導者から指導を受けることになり、意見が違ふと迷うと思う」などの意見があった。
- その他として、「吹奏楽部は楽器の運搬があるので大変」「交通費が負担になる」「挨拶や礼儀の指導がなくならないようにしてほしい」などの意見があった。

高校生・大学生からの意見

部活動の地域移行についての意見として、

- 合同部活動については、「他校との実力差の解消。レベルアップが期待できる」「初めてのメンバーでは気を遣う」「違う中学との練習は刺激があるが、意見の違いが出てくるのでは」「交通費は負担だ」といった意見があった。
- 指導者については、「実力ある指導者の指導を受けられるのはよい」という意見があった。
- その他として、「活動が厳しくない部活があってもよい。」「自由に参加できる部活があるとよい。スポーツ自体を純粋に楽しみたい人もいた」「(多世代による活動は)小学生、高校生とはレベル差の課題がある」といった意見があった。

<意見の詳細は、資料7参照>

第3章 区立中学校部活動地域移行に係る課題と検討

3-1 部活動地域移行の課題

地域移行を進めていく際には、生徒にとってプラスとなる「生徒を中心とすること（スチューデント・センタード）」の視点で進めていく必要がある。

また、これまで中学校の部活動は、学校教育活動の一環として学校の管理下で行われてきていることを踏まえ、仮に部活動が学校からは切り離された活動とされる場合に、どのような課題があるか事前に十分検討し、生徒や保護者、活動の受け皿となる団体等と事前に共通理解を得た上で対応していく必要がある。

これまでの検討委員会においては、世田谷区が部活動の地域移行を検討するにあたっては、以下の課題が想定されることが示されており、今後も継続して課題を把握するとともに、一つ一つ確実に対策を講じていく必要がある。

- (1) 生徒、教職員、保護者及び地域への周知について
 - a. 生徒たちが不安にならずに、部活動の地域移行に明るいイメージを持ち、正しい理解ができるよう、分かりやすく情報を伝えていく必要
 - b. 教職員への情報提供を的確に行う必要
 - c. 地域の協力を得られるよう、地域住民や団体への情報提供を行う必要

- (2) 指導者について
 - ①指導者の質の確保
 - (ア) 専門性や資質・能力を有する指導者の確保
 - a. 指導者の養成や資質向上の取組み
 - b. 指導者は、生徒を安全・健康管理等の面で支えるため、また、文化芸術活動では著作権の研修等が必要
 - c. 指導者同士の情報共有の仕組みづくりが必要
 - (イ) 体罰・ハラスメントの防止
 - a. 練習が過度な負担とならないようにすること
 - b. 生徒の安全の確保や暴言・暴力、行き過ぎた指導、ハラスメント等の行為の防止

 - ②指導者の量の確保
 - a. 部活動支援員の制度を充実し、PRを強化
 - b. 部活動支援員を中心とした人材バンクの整備
 - c. 退職教師、企業関係者、スポーツ推進委員、大学生・高校生、保護者な

ど、様々な関係者から指導者を確保

③教員等の兼職兼業及び労務管理

- a. 地域クラブ活動での指導を希望する教師等の兼職兼業に関する規程や許可基準等の整備
- b. 教師等の勤務校業務への影響、健康への配慮と適切な労務管理

④指導におけるハラスメント等の対策

- a. 指導者に行き過ぎた指導やハラスメントが見られた場合に、生徒や保護者が相談できる窓口の設置
- b. 相談を受け、各団体等と連携しながら対応する仕組みの検討

(3) 会費・経費の負担について

- a. 地域クラブ活動では、会費等の負担が生じる可能性があること
- b. 経済的に困窮する家庭の生徒に対しする支援等の検討

(4) 保険の加入について

- a. 指導者、生徒等の怪我等を補償する保険や個人賠償責任保険の種類や費用負担
- b. 学校管理下での事故に対する災害共済給付制度との格差

(5) 学校との連携等について

- a. 活動方針や状況、スケジュール等の調整
- b. 部員の募集、トラブル等への対応
- c. 個人情報管理の仕組みの検討

(6) 大会参加や大会運営について

- a. 大会等への参加資格
- b. 教員の引率や大会運営に係る負担軽減

(7) 地域団体の支援や民間企業等の参入について

- a. 地域の各種スポーツ団体や文化活動団体等の協力を得るための支援
- b. 民間企業やNPO法人等が中心となる活動の参入の可否

(8) 学校外施設利用

- a. 学校以外の施設を利用する場合に施設利用料の負担

- b. 学校以外の施設を利用する場合の移動時の自転車利用
- c. 学校以外の施設を利用する場合の移動に係る費用負担

世田谷区の地域資源

- ・ 総合型地域スポーツ・文化クラブ 9クラブ（令和5年4月現在）
- ・（公財）世田谷区スポーツ振興財団
- ・（公財）せたがや文化財団
- ・（公財）世田谷区スポーツ振興財団賛助会員 49団体
- ・ 区内大学との包括協定（17大学・学部）
- ・ スポーツクラブ（区内15か所、周辺区4か所）
- ・ 中学生の放課後活動支援（STEP） 17校
- ・ NPO法人や、各種区民団体 等

上記をはじめ、地域でのスポーツ・文化活動を支える地域資源が多くあるが、これらの団体等が部活動地域移行に参入するためには、その活動を支える補助制度等の構築が必要となる。

3-2 地域移行検討のためのトライアル事業の実施

検討委員会の議論において、部活動の地域移行を進める際には、多様な実施主体の選択肢があること、また、実施主体や方式によって異なる課題が生じることが指摘された。

これを踏まえ、今後の円滑な地域移行に向けた事業検証のため、地域資源を活用したトライアル事業を令和5年度に実施している。なお、現時点においては、指導者や生徒の事故やケガの際の保障の問題や、大会参加の要件等について十分に整理されていないことから、トライアル事業で行う活動は、学校の管理下において行う活動と位置付けている。

3-2-1 トライアル事業の実施状況

①（公財）世田谷区スポーツ振興財団によるトライアル事業

i) 顧問に代わり外部指導員が指導する部活動トライアル（指導者派遣型）

目的：現在の学校部活動をベースに、顧問に代わり外部指導員が部活動指導を行う。「よりよい指導環境、専門的な指導を継続的に受けられ

る」活動の新たな価値を検証する。

対 象：船橋希望中学校 ソフトテニス部

部員数：41人（令和5年4月時点）

会 場：船橋希望中学校ソフトテニス部が活動する場所

活動日：週2日間 1回2時間程度

指導者：ソフトテニス連盟の指導者を主に、大学生、財団職員など

大会の引率：中学の要望に合わせ対応

検 証 項 目	生徒の満足度、指導の適切さ、学校施設利用の適切さ、学校との調整の課題、必要経費、等
対応する課題	(2) ① (ア) (イ)、 (2) ②、 (5) a, b. ※主に、専門性の高い指導者の確保、外部指導員を中心とした部活動における顧問のあり方等を検証

ii)運動部の合同部活動トライアル（合同部活動型・教員の兼職イメージ）

目 的：通常の部活動に加え、週1日程度、競技専用の環境で2つの中学校が合同の部活動を行う。「よりよい指導環境、専門的な指導を継続的に受けられる」活動の新たな価値を検証する。

対 象：砧中学校・船橋希望中学校 陸上部

部員数：船橋希望中学校陸上部 51人

砧中学校陸上部 45人 計96人（令和5年5月時点）

会 場：総合運動場グラウンド

活動日：週1日間程度（火・土・日のいずれか） 2時間程度

指導者：上記部活の顧問が合同・交代で指導

各指導者がそれぞれ得意とする陸上種目を指導する

その他、大学生、財団職員、専門の指導員なども一部指導に参加

大会の引率：合同部活動では大会参加なし

検 証 項 目	生徒の満足度、指導の適切さ、施設利用の満足度、移動の課題、学校との調整の課題、教員の負担、合同部活動の課題、等
対応する課題	(2) ① (ア) (イ)、 (2) ②、 (2) ③、 (8) b, c. ※主に、教員等の兼職兼業につながる課題、学校以外の施設への移動時の課題等を検証

②（公財）せたがや文化財団によるトライアル事業

●文化系の合同部活動トライアル（合同部活動型・地域移行のイメージ）

目的：区内全中学の希望する生徒を募集し、複数の学校で合同の部活動を行う。「自己選択、自己決定、自ら選べる選択肢が今まで以上に広がる」地域クラブ活動の新たな価値を検証する。

対象：区内全中学から希望する生徒

部員数：15人（11校の生徒が参加、令和5年5月確定）

会場：パブリックシアターを中心に、学校施設も利用

活動日：土・日・祝日のいずれか。2時間程度

指導者：演劇活動の専門家等による指導

活動内容：合同部活動で4つのワークショップ(初夏・夏休み・秋・冬)を行う。秋のワークショップでは、計16日間の練習をし、区大会で発表する。

検証項目	生徒の満足度、指導の適切さ、施設利用の満足度、移動の課題、学校との調整の課題、合同部活動の課題、等
対応する課題	(2)①(イ)、(2)②、④、(4)、(8) ※主に、専門性の高い外部指導者による指導のあり方、学校以外の施設への移動時の課題等を検証

③総合型地域スポーツ・文化クラブによるトライアル事業

●学校と連携して活動する「地域クラブ活動」トライアル（指導者派遣型・地域移行のイメージ）

目的：中学校を拠点として活動する総合型クラブが学校と連携する「地域クラブ活動」のあり方を探る。「多世代の交流、世代を超えた地域の人々との交流の機会がある」「多様目・多様な志向、スポーツ・文化の多様な経験と担い手の育成につながる」地域クラブ活動の新たな価値を検証する。

対象：東深沢中学校 体力向上部

部員数：45人（令和5年4月時点）

会場：東深沢中学校

活動日：火、水、金曜 午前7時20分～午前8時

指導者：総合型クラブの指導者（地域の指導者、中学の卒業生など）

大会参加等：なし

体力向上部とは：早朝に活動する部活動で、受験生等の体力維持の他、他の運動部との兼部の生徒も在籍。障害走、筋トレ、縄跳び、バドミントン等、複数種目を実施。総合型により、種目増加も見込んでいる。

検 証 項 目	生徒の満足度、指導の適切さ、学校との調整の課題、総合型での運営上の課題・区の支援のあり方、等
対応する課題	(2) ① (イ)、 (2) ②、 (5)、 (7) a. ※主に、指導者の確保・研修、学校との連携・調整、地域団体への支援のあり方等を検証

第4章 今後に向けた検討と取組み

4-1 トライアル事業の検証（中間報告）

検証の第一段階として、1回目のアンケートを実施した。

令和6年3月までの1年間でのトライアル事業であるため、今後も、継続的なアンケートやヒアリング等による検証を実施していく。

(1) トライアル事業に関するアンケート（1回目）の実施

令和5年6月、トライアル事業の対象部活動の生徒、顧問教員、指導者を対象に、1回目のアンケートを実施した。

なお、「演劇部合同部活動」については、活動開始が6月であったことから、1回目のアンケートは実施していない。

実施期間：令和5年6月14日～22日

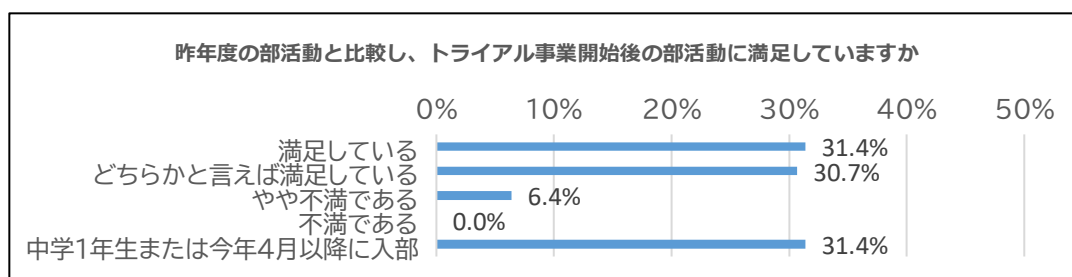
回答数：

部活動名	生徒回答数／部員数	顧問教員回答数	指導者回答数
東深沢中学校 体力向上部	38人／45人	1人	7人
船橋希望中学校 ソフトテニス部	20人／41人	1人	2人
砧中学校 陸上競技部	37人／45人	2人	6人
船橋希望中学校 陸上競技部	45人／51人	1人	

(2) 主な回答内容（抜粋） <回答の詳細は、資料8（2）参照>

■生徒を対象としたアンケート回答

①生徒の満足度



生徒の回答では、トライアル事業開始後の新たな形式での部活動の満足度を昨年度の部活動と比較した場合、概ね6割以上が「満足している」「どちらかと言えば満足している」と回答している（昨年度との比較のため、部員全体の約3割の1年生を除いている）。

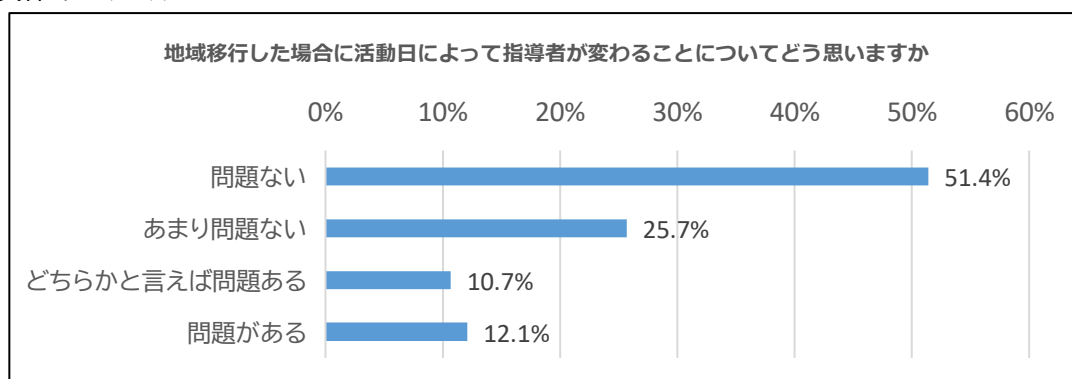
（満足している／どちらかといえば満足している、の理由例）

- ・専門的なことを学べるから
- ・的確な指導を受けられるから
- ・他校との生徒と一緒に練習をすることで常にライバル心を持ち、大会でよい記録が出そうになるから。
- ・実際の大会の場所で練習ができる。 など

（やや不満である、の理由例）

- ・部活の終わる時間が遅くなり、塾に間に合わない。
- ・場所が遠いから6時間授業の後に歩いて行くのが大変。 など

②指導の適切さ



活動日によって指導者が代わる場合があることについては、「問題ない」「あまり問題ない」と回答した生徒が全体で8割弱となっている。

（問題ない／あまり問題ない、の理由例）

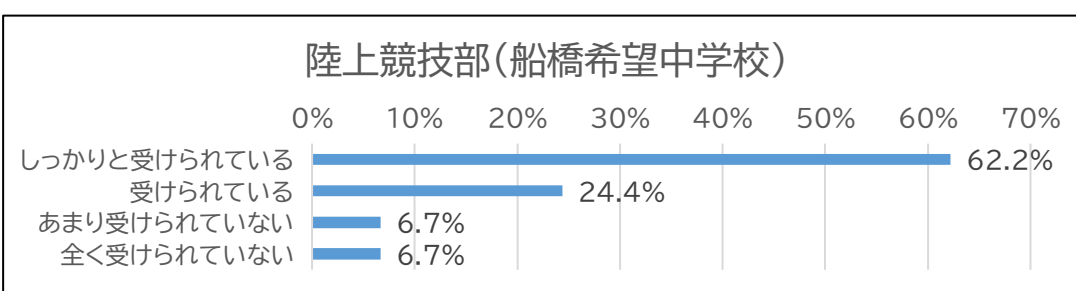
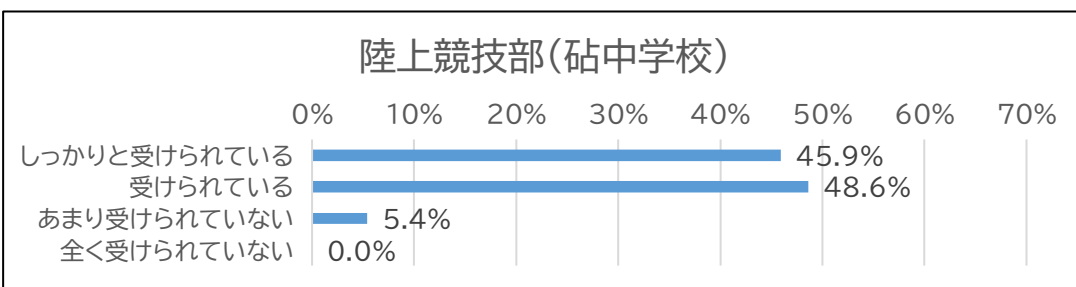
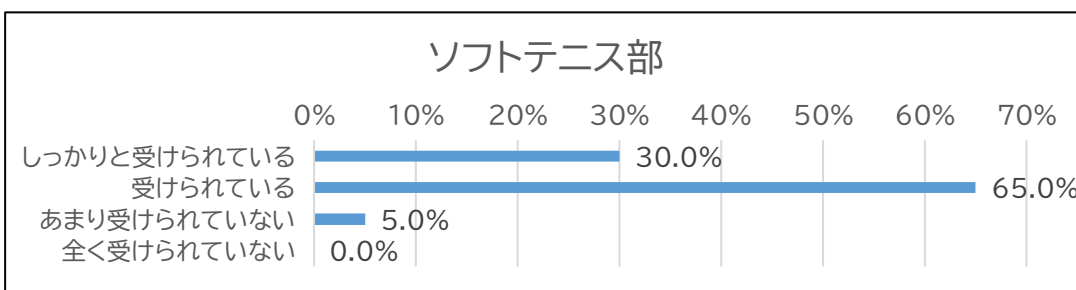
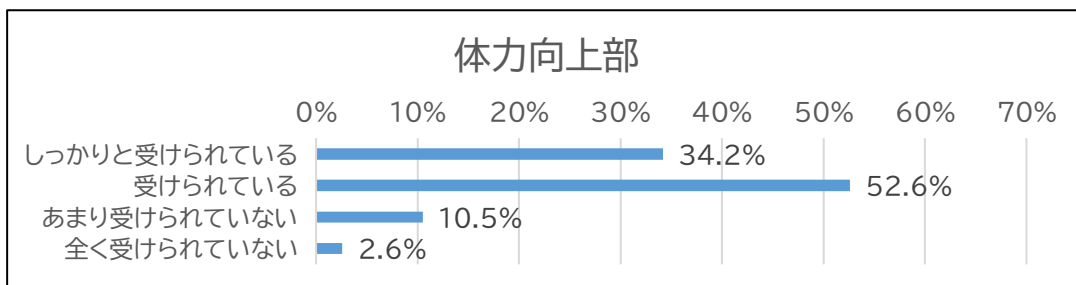
- ・いろいろなコーチの指導を受けられるのはいいことだと思うから。
- ・自分にあった指導者を見つけることができるから。
- ・指導者によって知識も考え方、教え方も違って、色々なことを学べると思う。 など

（どちらかと言えば問題ある／問題がある、の理由例）

- ・教え方にも個人差があるし考え方にも差があるから。

- ・コーチによって練習内容が分からなくなる時があるから。
- ・同じ指導者から受ける方が一貫性があるから。 など

③より満足のいく指導が受けられているか

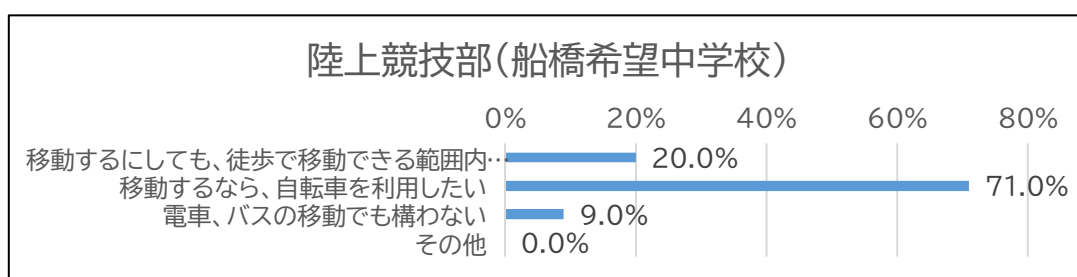
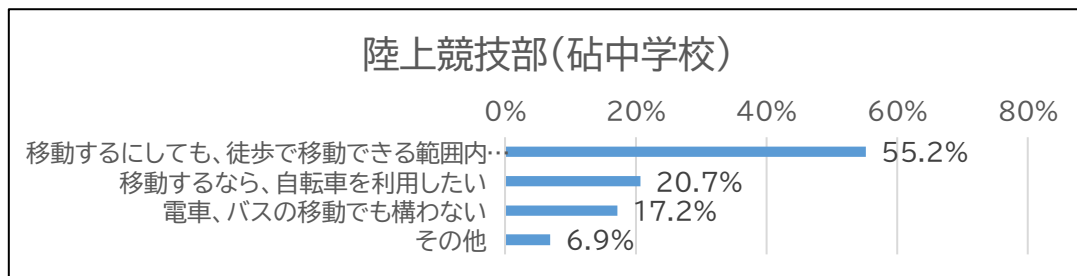


「トライアル事業では、より満足のいく指導が受けられているか」との問いに、「しっかりと受けられている」「受けられている」と回答した生徒が、平均9割を上回る。

「しっかりと受けられている」が6割を超えている陸上競技部（船橋希望中）については、現行では、合同部活動において顧問教員による指導を継続しており、生徒から教員への信頼度が高い一方で、教員の負担軽減には課題

が残る。なお、今後は、外部指導員も指導に加わっていく予定である

④移動の課題



「学校外のグラウンドや施設まで移動することについて」の設問には、8割弱の生徒が「設備が充実した施設で活動できるなら、移動してもよい」「どちらかと言えば移動してもよい」と回答している。

「移動してもよい」「どちらかと言えば移動してもよい」と回答した人に、移動の手段について質問したところ、5割弱の生徒が「移動するなら、自転車を利用したい」と回答している。

なお、陸上競技部トライアルでは、このアンケート実施後に、「自転車での移動」を検証の1項目として、試行している。

合同部活動等の移動手段については、「自転車を利用した移動」や「交通機関を利用する際の交通費の負担」が、今後の課題となる。

■顧問教員・外部指導者を対象としたアンケート回答（自由記述）

①教員の負担

顧問教員へのアンケート結果では、以下の回答があった。

- ・外部指導者が指導を行うことにより教員の負担軽減につながっている。
- ・指導する生徒が増え負担軽減につながっていない。（顧問が引き続き直接指導している合同部活動のケース）

外部指導員へのアンケートでは、

- ・「教員の負担軽減につながっていると思うか。」の質問に、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の回答が8割以上あった。

②学校との調整の課題

外部指導者へのアンケート結果では、

- ・「学校との意思疎通は図れているか」の質問に、「できている」「概ねできている」の回答が8割以上あった。

顧問教員へのアンケートでは、

- ・地域移行した場合に、家庭との連絡を誰がどのように行うのか。との意見があった。

③自由回答（指導者の確保）

顧問教員の自由回答では、

- ・指導者を確保し続けることができるのか。との意見があり、

外部指導員の自由回答では、

- ・平日に指導する人材の確保が難しい。という意見があった。

「専門性の高い外部指導員の確保」「外部指導員と学校の調整（連携）」が、今後の課題となる。

専門性の高い外部指導員の確保にあたっては、適切な報償費が必要であり、民間、非民間に関わらず、どのような団体が実施する場合も、必要とする経費として指導員配置の経費（人件費）の投入が前提となる。

<アンケートの詳細については、資料8（2）を参照>

今回のアンケート実施時点では、トライアル事業の実施回数がまだ少ない部活動、あるいは、まだ試行状況にある部活動もあった。今後も、それぞれの立場での意識や受け取り方の変化、トライアル事業を通じて生じる問題などを調査するため、ヒアリングなどにより課題を把握し、検証を進めていく。

4-2 世田谷区の中学校部活動の今後の方向性について

世田谷区には、豊富な地域資源が存在する。地域行政制度に基づき、区民の参

加と協働によるまちづくりを進める世田谷区として、地域団体等の協力のもと、本来の意味での地域移行を進めていくことが望ましい。

しかしながら、世田谷区の区立中学校数は29校あり、部活動の種類、数も、他自治体に比較し非常に多いため、部活動の地域移行に向けては、生徒をはじめ学校、保護者や地域団体等のあらゆる関係者の意見を十分に把握し、丁寧に検討を行っていく必要がある。

そのため、すべての中学生とその保護者及び中学校の教員を対象とした部活動の地域移行に関するアンケートを行い、当事者の声を把握することが重要である。

また、これまでの検討委員会では出された意見やトライアル事業の検証状況を踏まえて、令和6年度に実施できる取組みから着手し、部活動の地域移行を着実に進めることが望まれる。

4-2-1 現行のトライアルで検証できない課題等

現行のトライアル事業では検証できない課題、及び検証が短期間では困難な課題については、以下のとおりである。引き続き次年度に、実証的な活動を通して、課題解消を目指していく必要がある。

課題番号	内容
(2)	指導者の質の確保、指導者の量の確保 ※体罰・ハラスメントの防止・対策
(3)	会費・経費の負担
(4)	保険の加入（一部についてはトライアル事業で検証可能）
(6)	大会参加や大会運営
(7) b.	民間企業やNPO法人等が中心となる活動の参入の可否
(8) a.	学校外施設利用（施設利用料の負担）

4-2-2 令和6年度に実施すべき取組み

これらの課題を踏まえ、令和6年度には、以下の取組みを実施すべきと考える。

(1) 民間企業やNPO法人を対象とした地域移行の新たなトライアル事業の実施

- ・土曜・日曜を中心とした、スポーツ活動について、民間事業者、地域団体等によるトライアル事業を実施する。
- ・土曜・日曜を中心とした、文化活動について、民間事業者、地域団体等

によるトライアル事業を実施する。

■民間企業やNPO法人等への委託により、事業者の責任において、実施計画等を作成・実施し、指導者を配置する形での事業形態について検証する。

(2) 総合型地域スポーツ・文化クラブの継続的参加に向けた補助制度の創設
・より多くの総合型スポーツ・文化クラブが、今後、地域クラブとして、部活動地域移行に協力いただけるよう、補助制度を創設する。

(3) 審判業務の外部委託に向けたトライアル事業の実施

- ・顧問教員の大会引率業務負担を軽減できるよう、現行、顧問教員が担っている種目の大会について、審判を外部委託できるよう、大会審判員の大会への参加協力を、トライアルとして実施する。
- ・審判員への協力者を増やすため、学生等を対象として、大会審判員取得の研修等への支援を実施する。

■大会参加、運営等の負担削減について検証する。

(4) 部活動支援員の活用強化

- ・現行では、部活動支援員が技術指導を行う場合も顧問教員も同時に従事することが多いが、顧問教員の負担を軽減するため、土曜・日曜・祝日の部活動については、顧問教員不在で支援員のみで実施できるよう体制を整え、試行する。また、そのために必要な課題を整理した上で、支援員への研修等を実施する。
- ・技術指導力があり、かつ、顧問に代わり信頼して部活動運営を任せることができる部活動支援員をより多く、安定的に確保するために、支援員の報酬を増額すべきと考える。また、適正に配置するため、人材バンク化を進める。
- ・部活動支援員の活動意欲を醸成するために、支援員の情報共有等を目的としたポータルサイトを新設する。
- ・将来的に人材バンクの運営を担える関係機関との協議を進める。

■現行の部活動支援員制度を、より、顧問教員の負担軽減に繋げられるよう、あり方について検証する。

(5) 部活動支援員、外部指導員の質の向上を目的とした講習会の実施

- ・部活動支援員、外部指導員を対象とした、行き過ぎた指導防止や、効果的な指導方法、ハラスメント防止等の研修体制の構築を進める。

(6) 部活動の地域移行の取組み状況や検討状況についての広報活動

- ・生徒・保護者に対して、部活動の地域移行についての不安を払拭し、地域移行に明るいイメージを持っていただけるよう、様々な広報媒体を活用してわかりやすい周知を行う。

(7) 令和5年度のトライアル事業の継続及び取組みの拡大

- ・令和5年度のトライアル事業については、可能な限り、継続して実施する。なお、検証の結果等を踏まえ、内容等の改善・変更が必要な場合は適切に対応する。
- ・総合型地域スポーツ・文化クラブによる新たなトライアル事業を実施する。
- ・(公財)世田谷区スポーツ振興財団による新たな種目でのトライアル事業を実施する。

4-3 地域移行の「新たな価値」と「キャッチフレーズ」

<「新たな価値」(目指すべき方向性)について>

この「地域クラブ活動への移行」の取組みは、本報告書の「はじめに」でも記したように、中学生の活動場所が学校から地域に移るといった単なる空間の変更を意味するものではなく、未来の中学校の在り方にも大きく影響を与えるものとする。そのため、この取組みが、生徒、保護者、教師、地域の人々にとって、「新たな価値」を感じられるものとしていく必要がある。こうした点について検討委員会にて議論を重ねた結果、以下の「新たな価値」があるとの結論に至った。

「新たな価値」

- 1 自己選択、自己決定、自ら選べる選択肢が今まで以上に広がる
- 2 よりよい指導環境、専門的な指導を継続的に受けられる
- 3 多世代の交流、世代を超えた地域の人々との交流の機会がある
- 4 多種目・多様な志向、スポーツ・文化の多様な経験と担い手の育成につながる
- 5 地域への誇りを感じられる
- 6 自宅や学校とは違う居場所がある(サードプレイス)

以下では、この6つについて簡単に解説をする。

1 自己選択、自己決定、自ら選べる選択肢が今まで以上に広がる

世田谷区は大規模自治体であり、区内に多様な資源（場所、プログラム、指導者等）が存在し、様々な機会を保障することができる。その機会を生徒自らが主体的に選ぶことにより、活動により積極的に参加する可能性がある。

2 よりよい指導環境、専門的な指導を継続的に受けられる

世田谷区には、特定種目の専門的な知識・技能を有している方が多く在住しており、発達段階を踏まえた一貫した指導体制とその環境が整えられる可能性がある。

3 多世代の交流、世代を超えた地域の人々との交流の機会がある

4 多種目・多様な志向、スポーツ・文化の多様な経験と担い手の育成につながる
この2つの点については、まとめて説明する。

地域クラブ活動にて、多様な世代と交流する、多種目を経験する、多様な志向を持つ人に触れるといった経験の広がりが見込まれる。また、こうした経験を得た生徒が、地域スポーツや文化の担い手にもなっていく可能性がある。

5 地域への誇りを感じられる

これまで多くの生徒は、ユニフォームに学校の名前を付けて試合に臨んだり、学校単位での発表や演技をしたりしてきた。今後は、地域の単位で試合や発表会に臨むことになり、地域への誇りを感じるようになる可能性がある。

6 自宅や学校とは違う居場所がある（サードプレイス）

中学校の部活動は「小学生のための学童保育」と類似した機能も果たしており、放課後、安全で安心できる貴重な居場所でもある。生徒にとって、地域クラブ活動がもう一つの居場所となる可能性もある。

<キャッチフレーズの設定の必要性について>

検討委員会では、多くの関係者にこの「新たな価値」をご理解いただくためにも、意味を端的な言葉で表現した「キャッチフレーズ」が必要であると考え、以下のような「キャッチフレーズ」を定めることにした。なお、「キャッチフレーズ」を定めるにあたり、全体を包摂する大項目と、個別具体を示す小項目とに区分している。

大項目【3つのキャッチフレーズ】

- ・つながる新たな仲間の輪、広がるスポーツと文化の世界
- ・生徒の可能性を広げる地域クラブ活動
- ・学校と地域で生徒をともに育て成長していく

小項目【6つのキャッチフレーズ】

- ・なりたい自分に一歩前進、自分で選べる地域クラブ活動（価値1に対応）
- ・生徒の発達に見合った専門的な一貫指導の実現（価値2に対応）
- ・3つの多（多世代交流・多種目・多様な志向）をめざす地域クラブ活動（価値3・4に対応）
- ・セタガヤプライド（価値5に対応）
- ・もう一つ居心地のいい場所見つけ（価値6に対応）

4-4 今後の継続的な検討

少子化等の影響による生徒にとっての運動や文化活動の体験機会の確保や、教員の働き方改革から、現行の部活動を地域クラブ活動へと移行する動きの中で、地域クラブへの移行を検討していく中では、ここに地域で関わる方たちの意識や意向を尊重し、考慮していく必要がある。

今後、何よりも「生徒を中心とすること（スチューデント・センタード）」の視点から、より良い環境の整備を進めていくためには、さらに議論を深めることが重要である。

世田谷らしい中学校部活動の地域移行を実現するためには、次年度以降も何らかの形での検討組織を設け、当事者である子どもたちの意見や、幅広い多くの方の意見を取り入れながら、検討を継続するべきである。また、発展的には、関係部署や関係者による協議会を設け、情報提供、意見交換の場とすることが必要となってくる。

世田谷区立中学校部活動地域移行に係る
検討委員会報告書(中間まとめ)

資料編

世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会報告書(中間まとめ)

資料編 目次

1	世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会設置要綱	28
2	世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会委員名簿	30
3	学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的な ガイドライン【概要】(スポーツ庁・文化庁)	32
4	「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」 及び「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」について (概要版)(東京都)	33
5	区立中学校部活動における現状	36
6	部活動支援員学校別内訳(令和5年3月)	38
7	中学校部活動に関する中学生・高校生・大学生委員による意見 (1)意見交換会(検討部会)での意見	39
	(2)意見交換会後に寄せられた意見(回答シートの集計結果)	43
8	アンケート集計結果	
	(1)令和5年3月実施分 部活動地域移行に関するアンケート	60
	(2)令和5年6月実施分 トライアル事業に関するアンケート	84

1 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会設置要綱

○世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会設置要綱

令和4年10月26日

4世教生第1354号

改正

令和5年5月30日5世教地第173号

世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会設置要綱

(目的)

第1条 中学校部活動における地域移行において、世田谷区の中学校部活動の地域移行のあり方等を総合的に検討することを目的に、世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の事項について総合的に検討する。

- (1) 中学校部活動における地域移行を円滑に進めること
- (2) 中学校部活動における地域移行において、部活動の内容のさらなる充実を図ること
- (3) その他、中学校部活動の充実に関すること

(委員構成等)

第3条 委員会は、別表に掲げる者をもって、教育長が委嘱し、又は任命する委員で構成する。なお、それ以外に教育長が必要と認めた者を妨げない。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から令和6年5月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長が指名し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、議事を主宰する。

2 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 委員長は、必要があると認めたときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(検討部会)

第7条 委員会は、検討部会を置くことができる。

2 検討部会は、委員長の指名する者をもって組織する。

(事務局)

第8条 委員会の事務局は、教育委員会事務局学校教育部地域学校連携課に置き、委員会の庶務等を処理する。

(委任補足)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和4年10月26日から施行する。

附 則(令和5年5月30日5世教地第173号)

この要綱は、令和5年5月30日から施行する。

別表(第3条関係)

委員
学識経験者 3名
総合型地域スポーツ・文化クラブ代表 1名
地域団体関係者 1名
保護者代表 2名
区立中学校校長 2名
区立中学校教員 1名
せたがや文化財団事務局長
世田谷区スポーツ振興財団事務局長
スポーツ推進部長
生活文化政策部長
学校教育部長

2 世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会委員名簿

(令和5年度)

		氏名	役職・所属等
委員長	有識者	近藤 智靖	日本体育大学児童スポーツ教育学部児童スポーツ教育学科教授
副委員長	有識者	細越 淳二	国土舘大学文学部教育学科教授
委員	有識者	芳地 泰幸	日本女子体育大学体育学部健康スポーツ学科 准教授
委員	総合型地域スポーツ・文化クラブ	岸田 耕治	東深沢スポーツ・文化クラブ 副会長
委員	地域団体	宮幸 朱美	青少年船橋地区委員会副会長
委員	保護者	栄 裕美	世田谷区立中学校PTA連合協議会会長
委員	保護者	松浦 和輝	笹原小学校PTA会長
委員	区立中学校校長	加藤 敏久	区立砧中学校校長
委員	区立中学校校長	大塚 洋一	区立桜木中学校校長 (東京都中学校体育連盟会長)
委員	教員	宮内 将之	区立船橋希望中学校

(次ページに続く)

(前ページから続き)

		氏名	役職・所属等
委員	世田谷区スポーツ振興財団	浅野 康	事務局長
委員	せたがや文化財団	志賀 毅一	事務局長
委員	世田谷区	大澤 正文	スポーツ推進部長
委員	世田谷区	渡邊 謙吉	生活文化政策部長
委員	世田谷区教育委員会事務局	小泉 武士	学校教育部長
検討部会	委員	中学生	世田谷区立の中学生（8～10名程度） 部活動や地域移行について、検討部会において意見交換をする。 その結果を資料にまとめ、代表者（数名）が検討委員会に出席し、報告する。
	委員	高校生	公立中学校での部活動経験をもつ高校生、大学生（複数名） 部活動や地域移行について、検討部会において意見交換をする。 その結果を資料にまとめ、代表者（数名）が検討委員会に出席し、報告する。
	委員	大学生	

<交代した委員> 任期：令和4年10月26日～令和5年3月31日

		氏名	役職
委員	せたがや文化財団	松下 洋章	事務局長
委員	世田谷区	片桐 誠	生活文化政策部長
委員	世田谷区教育委員会事務局	内田 潤一	生涯学習部長

令和4年12月

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン【概要】



○少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。

○令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方」とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。

○部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※Ⅰは中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。Ⅱ～Ⅳは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

Ⅰ 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合は適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

- (主な内容)
- ・教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
 - ・部活動指導員や外部指導者を確保
 - ・心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
 - ・週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
 - ・部活動に強制的に加入させることがないようにする
 - ・地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形での環境整備を進める

Ⅱ 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

- (主な内容)
- ・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
 - ・地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
 - ・指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職業
 - ・競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
 - ・休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
 - ・公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
 - ・困窮家庭への支援

Ⅲ 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

- (主な内容)
- ・まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
 - ・平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
 - ・①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
 - ※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
 - ・令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
 - ・都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

Ⅳ 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者の二ーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

- (主な内容)
- ・大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるように見直し
 - ※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
 - ・全国大会の在り方の見直し（開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等の二ーズに対応した機会を設ける等）

4 「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」及び「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」について（概要版）（東京都）

「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」及び「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」について

1 「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」※「子供たちのスポーツ・文化芸術等に親しむ機会の確保」「教員の働き方改革」に資するガイドライン

策定の背景

- 令和元年7月、都は「部活動に関する総合的なガイドライン」策定
 - ・生徒の自主的・自発的な参加の促進、効率的・効果的な活動の推進
- 令和2年9月、国は、休日の部活動の段階的な地域移行を図っていくことを周知

都におけるこれまでの取組

学校部活動の地域連携・地域移行に関する検討

- 部活動検討委員会を設置
 - ・持続可能なスポーツや文化芸術環境構築に向けた協議
 - ・地域連携・地域移行に関する課題整理

内容

I 学校部活動

P 1～

部活動の教育的意義と適切な運営の在り方

- ・部活動指導者の役割（顧問、部活動指導員、外部指導者等）

部活動の在り方に関する方針

- ・部活動の運営上の留意事項（休養日や活動時間の適切な設定等）
- ・地域のスポーツ・文化芸術団体等との連携した部活動の実施

体罰、不適切な行為の防止

- ・体罰の定義、体罰関連行為のガイドライン
- ・不適切な行為、セクシャル・ハラスメントの防止

部活動における重大事故防止に向けた安全対策

- ・部活動の安全実施に向けたポイント
- ・事故防止の取組

部活動中における健康面での留意事項

- ・熱中症警戒アラートを活用した熱中症予防
- ・頭部外傷の理解と予防等

対象 I：都立学校 II～IV：主に公立中学校等

新 II 新たな地域クラブ活動

P 127～

- ・地域のスポーツ・文化芸術団体、学校との関係者等からなる協議会の実施
- ・休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日の設定
- ・活動場所である公共施設について、利用しやすい環境づくり
- ・希望する教員等の円滑な兼職兼業、質の高い指導者の確保

新 III

学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

P 137～

- ・令和7年度末には、全公立中学校等で地域連携・移行に向けた取組を実施することを目標
- ・協議会等の検討体制を整備し、休日の在り方等を検討
- ・推進計画等を作成し、取組内容、スケジュール等を周知

新 IV

大会等の在り方の見直し

P 141～

- ・大会参加資格を、地域クラブ活動も参加できるよう見直し（都中体連は、令和5年度から大会への参加を承認）
- ・校長等は、できるだけ教員が引率しない体制を整備
- ・生徒の負担が過度とならないよう、参加する大会等を精査

2 「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」

※ 地域連携・地域移行の実現に向けた取組やスケジュール等を示す計画

1 策定の目的 P 1～
令和5年度から7年度までの改革推進期間における取組の展望を明らかにし、**都内公立中学校等の部活動の地域連携・移行を推進**

2 推進目標 P 1～
令和7年度末までに、**都内全ての公立中学校等で、地域や学校の実態に応じ、地域連携・移行に向けた取組を実施**



- ❖ 都内公立中学校で、専門的な技術指導ができる顧問は、運動部・文化部ともに約55%
- ❖ 教員の部活動指導や大会引率を負担に感じている教員は少ない
- ❖ 令和4年度に、地域連携・移行に向けて協議会を設置しているのは27地区

- ❖ スポーツ・文化芸術団体等と連携し、学校と地域が協働・融合した形で、関係者間の連絡体制の構築や指導者を確保
- ❖ 東京都は、休日の学校部活動の段階的な地域連携・移行を進め、区市町村の進捗に対して適切に助言
- ❖ 都立中学校等における一部の部活動において、先行的に地域連携・移行を推進、その成果を区市町村に発信

5 都の取組

(1) 区市町村における地域連携・地域移行に向けた都の取組

ア 部活動検討委員会の開催

- ・ 持続可能なスポーツや文化芸術環境の構築について検討
- ・ 検討内容等について、ホームページ等で広く情報発信

イ 関係者間の連絡体制の構築

- ・ 関係者と定期的に連絡調整する場を設け、連携を強化
- ・ 地域連携・移行に関する取組状況を各種会議で情報提供

ウ 関係者への情報発信

- ・ リーフレットにより、地域連携・移行のスケジュール等を周知
- ・ 好事例等をニュースレターで定期的に発信

P 3～

エ 休日等の指導者の確保

- ・ TEPROサポーターバンクへの登録を促し、指導者の配置を支援
- ・ 専門性を有する学生の指導者の確保に向けて、大学に働きかけ

オ 休日等の指導者の質の向上

- ・ 外部指導者等に対し、**[1]**のガイドラインの活用を推奨
- ・ 都立学校部活動指導員の研修資料を区市町村等に提供

カ 教員等の兼職兼業

- ・ 教員の部活動指導に関する意識調査を実施し、課題を把握
- ・ 円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、規程や運用の改善

<p>(2) 都立学校における地域連携・地域移行に向けた都の取組 P 7～</p>	<p>ア 都立中学校等における地域連携・地域移行促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校一部の部活動の地域連携・移行に関する実証事業を実施 ・T E P R Oを活用した地域連携・移行等の成果を区市町村に発信 	<p>イ 都立高校における部活動改革パイロット校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校の一部の部活動における休日等の運営を民間事業者に委託 ・働き方改革の一つのモデルとしてその成果を都立高校に発信
<p>(3) 区市町村における部活動の地域連携・地域移行に向けた都による経費の補助 P 10～</p>	<p>ア 部活動指導員及び外部指導者の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単独指導や大会引率等を担う部活動指導員(非常勤職員)の配置 ・専門的な技術指導等を行う外部指導者(有償ボランティア)の配置 	<p>イ 休日等の地域クラブ活動における指導者の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技指導等を行う指導者の配置に係る謝金 ・教育的意義や体罰防止等に関する研修会開催
<p>イ コーディネーター等の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区市町村で団体等と連絡調整を行う総括コーディネーターの配置 ・中学校で運営団体と連絡調整を行うコーディネーターの配置 	<p>オ 困窮世帯への支援に係る体制構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困窮する世帯への支援に係るシステム設置・改修等の体制構築 	<p>カ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携・移行に係る体制構築のための初期費用を支援 例) ヘルプデスク設置の委託、課題把握のための調査費用
<p>6 区市町村の取組 P 12～</p>	<p>地域連携・移行に向けた協議会等の設置</p>	<p>方針及びスケジュール等を示した計画等の策定</p>
<p>7 地域連携・地域移行に係る成果指標 P 14～</p>	<p>計画に基づく地域連携・移行の推進</p>	
<p>8 本推進計画の見直し P 15～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 運動・文化芸術活動が有意義だと感じている生徒の増加 ❖ 教員が指導に携わらない休日の部活動の増加 ❖ 教員の部活動への従事時間の縮減 	
<p>本推進計画の適合性の点検を行い、各施策の取組状況を踏まえつつ、適宜、内容の見直し・改訂</p>		



※東京都教育委員会ウェブサイト

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/press/press_release/2023/release20230323_03.html

5 区立中学校部活動における現状

区立中学校における部活動数について

運動系部活動	部活動数
バスケット（男女別）	44
バレーボール（男女別）	34
サッカー	28
硬式テニス（男女別）	24
野球	24
バドミントン	18
卓球	17
陸上	13
水泳	11
剣道	10
軟式テニス	8
総合球技	6
体力向上	3
ダンス	3
スキー	1
ラグビー	1
柔道	1
マルチスポーツ	1
軽スポーツ	1
FDトレク（※）	1
合計	249

（※）補足説明

FDトレク部

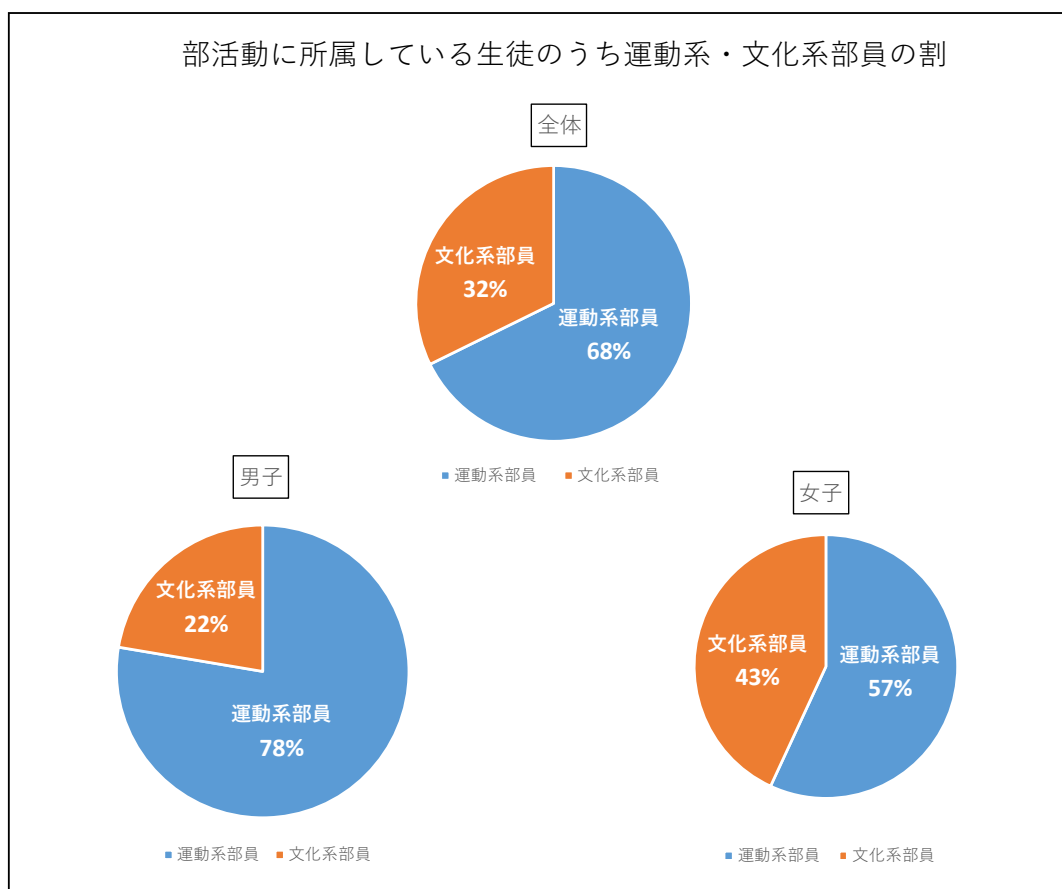
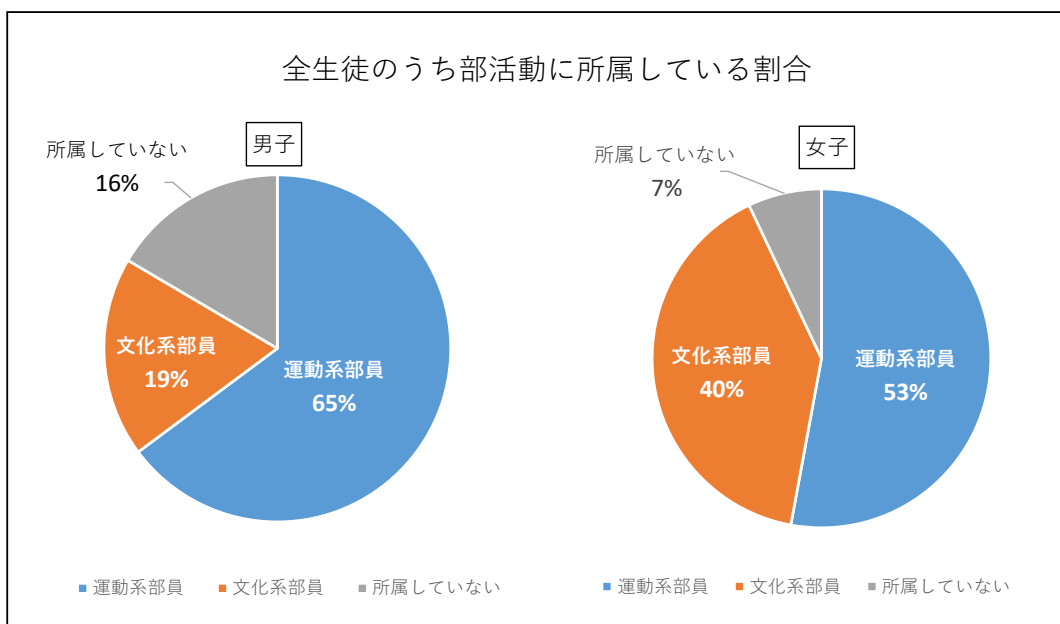
八幡中学校に設置。特別支援学級生徒が対象、フライングディスクを用いた軽運動等を実施する部活動。

ゆうあい部

弦巻中学校に設置。特別支援学級生徒を対象としたレクリエーション活動を実施する部活動。

文化系部活動	部活動数
吹奏楽	27
美術	26
茶道(抹茶)	12
演劇	8
科学	6
英語	6
家庭	6
百人一首	5
パソコン	4
日本文化	4
ボランティア	4
園芸	3
茶道(煎茶)	3
将棋	3
JRC(青少年赤十字)	3
華道	2
囲碁・将棋	2
数学	2
技術	2
文芸	2
イラスト	2
書道	1
合唱	1
手話	1
読書	1
写真	1
クッキング	1
鉄道研究	1
農業	1
箏曲	1
文学	1
映画鑑賞	1
アコースティック・ギター	1
軽音楽	1
ゆうあい（※）	1
合計	146

世田谷区部活動に関する各種データについて



令和3年度「部活動実施状況調査」(東京都)を元に集計

6 部活動支援員学校別内訳(令和5年3月)

中学校名	人数	サッカー	バレーボール	野球	卓球	バスケットボール	水泳	剣道	バドミントン	テニス	陸上競技	吹奏楽	茶道	演劇	その他
太子堂	9					2	5			1					1
桜丘	28	3	1	4	3	1		2		1	1	3		3	6
松沢	7	1	1			1					1	1			2
駒沢	23	1	5	2	4	1		1	1		5	2			1
北沢	21	1	2		1			1	2			10			4
緑丘	11	1	2	1					2		1		2	1	1
駒留	16		4	1	5				3			1	1		1
梅丘	15		3	3		4				3			1	1	
桜木	12	1	4							2		2			3
富士	12									1			2		9
弦巻	15		4	1	1		1				1	3	2		2
奥沢	10		3			3				2					2
八幡	16	2		4		1			1	2	3	1			2
玉川	20	4	3			4			5			4			
瀬田	21	2	3	6	2	3	1			3		1			
深沢	24	2		2	2					8		3	6		1
尾山台	33	1	3	2		3			2	3		10			9
用賀	34		4	8	1	1				2	3	13	2		
東深沢	25	3	3	1	3	1	2	2		4		3			3
砧	29	1	1	4	2		2	7	3	3	3			1	2
烏山	13		1	1	1	2		1	2			2		2	1
千歳	22	1	3		1	2	2			2	3	1			7
芦花	7		4		1					1					1
上祖師谷	20	2	1	3		2	2		1	1		1	4		3
砧南	9	1		2		1	1			2		1			1
喜多見	23	1	2	1	1	2			5			5	5		1
三宿	9	1	2							3		2			1
世田谷	27	1	5		3			1				12	2	2	1
船橋希望	18	1	1			2	3	1		2	1	3	1	1	2
合計	529	31	65	46	31	36	19	16	27	46	22	84	28	11	67

※その他の例: 日本文化、囲碁将棋、美術、ダンス、科学、ギター、パソコン、等

※男女別の部活はひとつにまとめています(女子バレーはバレーボール、男子バスケットボールはバスケットボールに計上)

※硬式テニスとソフトテニスは「テニス」にまとめています。

7 中学校部活動に関する中学生・高校生・大学生委員による意見

(1) 意見交換会（検討部会）での意見

●中学生からの意見

1 今の部活動を選んだ理由は？

- 小学校の時に始めて、その流れで。
- 小学校のときにやりたくてもできなかったことを中学校になってやろうと思った。
- 地域のクラブに通っていた。
- 先輩の影響で。いっしょにやりたかった。
- 友だちの誘いで。
- 家族がやっていた。
- 家族との共通の話題がほしかった。
- もともと得意なものであったし、得意なもので目立ちたいと思ったから。

2 部活動をやっている、楽しいなと思うときは？

- 達成感を得られたとき。
 - ・ 試合に勝った、自己ベストを更新した
 - ・ 練習をやり切った
 - ・ 観客からの拍手、等
- 仲間・ライバルができる。仲間・ライバルとの交流。
- ひとりではなく、みんなで練習をすること。
- 先輩から教わる、後輩に教えることを通じて多角的な視点を持ち、成長できる。
- 指導を受け、競技への理解が深まったとき。
- できなかったことができるようになること。
- マナーや礼儀が習得できる。

3 部活動をやっている、大変だなと思うときは？

- 練習がきつい。
- 休みがない。
- スランプのときはやめたいと思う。
- 勉強との両立。
- 顧問の指導力がない（専門知識がない）。
- 大会当日、顧問・外部コーチに相談できない（試合の審判担当等、大会運営に関わらなければならないため）。
- 人間関係
 - ・ 部内がまとまらない
 - ・ 下級生とのコミュニケーション

<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同チーム内のまとまり ■ 部員が少ない。 ■ 部員が増え、部活動に対する意識の差が出てきた。 ■ 部活動の魅力をPRする機会がない（発表の機会等）。
--

4 こんな部活だったらもっといいのに・・・

<ul style="list-style-type: none"> ■ 休みがちゃんと（規則正しく）あった方がよい。 ■ 勉強との両立を図りたい。 ■ 良好な人間関係が築かれている。 ■ まわりに大人がもっといてほしい。もっと大人の指導を受けたい。相談をしたい。 ■ 練習内容の工夫。 ■ 同じ実力のある者同士でチームを組みたい。同じ実力のチームと試合をしたい。 ■ 練習の機会・時間がもう少し増やせるといい。 ■ 設備の充実。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 競技専用の施設 ・ やる気が上がるような環境
--

5 部活動の地域移行について

<ul style="list-style-type: none"> ■ 吹奏楽部は楽器の運搬があるので、大変。 ■ 交通費が負担になる。 ■ 人数の多い部活動は、移動の時に迷惑になりそう。 ■ 他の学校とプレーできるのがいい。 ■ 他校の交流は良い面があるが、人間関係が大変そう。 ■ 部活はその学校の伝統。生徒がやりたいことをやるのが部活なので、どちらかが嫌な思いをするのでは。 ■ 合同チームはカラーが違って、かみ合わない。 ■ 顧問が熱心なので、指導者が他の人になると残念。 ■ 複数の指導者から指導を受けることになり、意見が違うと迷うと思う。 ■ 顧問の先生ならば、学校行事やテストなどに気を使ってくれる。 ■ 地域移行でレベルの高い指導を受けられるのはよい。 ■ 挨拶や礼儀を教えるのも部活。そういう機能が地域移行でなくならないようにしてほしい。

●高校生・大学生からの意見

1 部活をやっていて、楽しかったなと思うことは？

<ul style="list-style-type: none"> ■ 達成感が得られた。

- 好きでなかった運動が好きになった。
- 礼儀を学ぶことができた。
- チームメイトとの電車での移動等の機会を通じて、社会経験を学んだ。
- 部活を通じて、相手への思いやりが、小学生よりもできるようになった。
- 上下関係を学べた。

2 部活をやっている、大変だったなと思うことは？

- 服装の制約があり、校則や部の決まりにあった用具を調達・確保しなければならなかったこと。
- 勉強との両立が難しい。
- 部員が少なかった。
- 部員がやめてしまい、練習内容や試合の戦術に支障が出た。
- 部員をまとめるのが大変だった。
- 先輩があまりいなかったで、相手チームへの挨拶等の礼儀に苦労した。
- 顧問に競技に関する専門知識がなかった。
- 後輩にうまく技術を教えられなかった。
- 親が顧問替わりだった。
- 十分な指導が受けられなかった。
- わからないことは自分で調べた。

3 こういところが改善されたらよかった

- 未経験者の顧問がいる部活をもう少しサポートしてほしかった。

4 部活動の地域移行について

- 他校との実力差の解消。レベルアップが期待できる。
- 合同練習は、仲良くしている部員同士だとよいが、初めてのメンバーでは気を遣う。
- 合同練習が普通になると、合同練習が持つ特別な刺激が薄れる。
- うまい人がいると、刺激になる。
- 違う中学の人との練習は刺激があるが、学校生活の接点がないから意見の違いが出てくるのでは。
- 小学生、高校生ではレベルの違いがある。レベルの高い生徒にとっては教える側になり、練習にならない。
- 実力のある指導者から指導を受けられるのはよい。
- 他校に行く時間でもっと練習ができる。
- 練習のために他校に移動するにはお金がかかり、負担になる。
- 活動が厳しくない部活があってもよい。中学時代、自分の部をやめた人は、ゆるい部活に移る人が多かった。そういう部活があるほうがよい。
- 自由に参加できる部活があるとよい。スポーツ自体を純粋に楽しみたい人もいた。

5 これから中学に入る人に、部活についてどう勧める？

- 中学校3年間部活を続けたことに対して達成感があった。
- 中学校の部活動の情報を集めて、入るとよいと思う。

(2) 意見交換会後に寄せられた意見 (回答シートの集計結果)

●中学生の部

(1) 今の部活動について教えてください。	
①今の部活動を選んだ理由は何ですか。	
A委員 (野球部)	・昔から野球をやっていて、自分にとってなくてはならないものだったから。 ・野球をすることによって、礼儀など人生で必要になるものも学べるから。
B委員 (吹奏楽部)	小学校に吹奏楽団があり、そのタイミングでは入らなかったが、中学校に入って再度やってみたいと思ったから。
C委員 (陸上部)	小学校から陸上をしていたから。
D委員 (陸上部)	自分の好きなことでもあり、得意なことでもあったスポーツが陸上で、自分の中学校が強いと聞いていたから。
E委員 (サッカー部)	近所の公園で1対1をやってくれた人が誘ってくれた。本当はクラブチームに行きたかったが、親に反対された。結局部活動をやっていて、良かった。
F委員 (女子テニス部)	テニスはもともと貴族の遊びだったこともあり、技術面だけでなく礼儀もしっかりしている。働くにあたって、礼儀が大切なので相手を敬ってプレーするテニスが良いと思って入った。
G委員 (硬式テニス部)	小学校の頃、父と少しテニスをしていて、それが楽しかったから。
②部活動をやっていて「こんなことがよかった」「役に立った」と思うことは何ですか。	
A委員 (野球部)	・学校などで先生に自分から挨拶をできるようになったこと。 ・体力がついたこと。 ・精神的に強くなったこと。
B委員 (吹奏楽部)	合奏の時にみんなですべての曲を完成させるのに対して達成感が湧いたときが一番よかった。
C委員 (陸上部)	・友達が増えたこと。 ・根性がついたこと。
D委員 (陸上部)	人とのかかわり。特に先輩や後輩との上下関係や、それに合った行動をすることなど、マナー的に大切なことを学ぶことができた。

E委員 (サッカー部)	・挨拶ができるようになった。 ・他の部活の人とのかかわりがとても増えた。
F委員 (女子テニス部)	先輩と仲良くなれたのは良かった。勉強について教えてくれるので定期テストで役に立った。 部長なので、人をまとめたり自分の意見を持つ力がついたのが良かった。
G委員 (硬式テニス部)	体力がついたり、仲間と楽しく話せること。

③部活動で「一番楽しい」と思うことはどんなときですか。

A委員 (野球部)	・きつい練習を乗り越えて、試合に勝った時。 ・今まで出来なかったことが出来たこと。
B委員 (吹奏楽部)	パート内で音程が合ったときや、曲が終わって、拍手がおこったときに感じる爽快感と共に楽しさを感じる。
C委員 (陸上部)	・タイムを更新した時やレースで1位をとった時。 ・友達と練習をしている時。
D委員 (陸上部)	自分の記録や一緒にやってきた人の記録が良くなって、みんな嬉しかったりしている時。
E委員 (サッカー部)	サッカーについて、より深い考え方を手に入れられた時。
F委員 (女子テニス部)	・自分の意見がチームに認められた時。 ・自分よりも上手な男子や先輩に勝った時。 ・部内の雰囲気の良い時。
G委員 (硬式テニス部)	自分のプレーが上手くできたり、試合で勝ったりした時。

④部活動をやっていて「こんなことに苦労した」「大変だった」と思うことは何ですか。

A委員 (野球部)	・疲れがたまっている時 ・キャプテンとして、あまり言うことを聞いてくれない時 ・遠征で朝早く起きる時。
B委員 (吹奏楽部)	経験者ではないので、音程を合わせるなど経験者に追いつくことがとっても大変。
C委員 (陸上部)	部員をまとめること。
D委員 (陸上部)	今、部活のメンバーの中での部活への意欲の違いに苦労している。どういう部活がみんなにとって良い部活なのか、それを考えてまとめていくのがとても大変。

E委員 (サッカー部)	・中1の10月頃に顧問だった人が辞めた後の学校側の対応がひどかったこと。 ・みんなの理解力。
F委員 (女子テニス部)	都大会に行くという目標を達成するためには、チーム一丸となる必要があるのだが、部員のモチベーションに差があり、どのように練習するのか悩んだこと。
G委員 (硬式テニス部)	1年生がプレーは上手だが、まとまらず荒れていること。

⑤部活動をやっていて「こんなことが自分の成長につながった」と思うことは何ですか。

A委員 (野球部)	・人間的なところの成長につながった。(リーダーシップ、スポーツマンシップなど) ・電車内でのマナーを知り、成長できた。
B委員 (吹奏楽部)	人前で最初に発表する機会であった去年の音楽祭。とても緊張したが、吹奏楽の楽しさを改めて実感することができた。
C委員 (陸上部)	・多くの人と協力すること。 ・目上の人への態度。
D委員 (陸上部)	周りをよく見れるようになった。今、自分がこの場面でのいう行動をとらなければいけないのかを考えながら取り組めるようになった。
E委員 (サッカー部)	・社会性を高めること。 ・理解力の差を埋めること。
F委員 (女子テニス部)	部長という役をもらったことが成長につながったと思う。一年生をまとめ、二年生の中でもトップに立ち、部員の様子を見ながら練習を進めるといふ、周囲に気を配ること。
G委員 (硬式テニス部)	忍耐力や体力がつくこと。また、人をまとめること。

⑥部活動について「もっとこんなふうだといいのに」と思うことは何ですか。

A委員 (野球部)	校庭の明かりが暗く、冬の活動が制限されているので、明かりが増えると良いと思う。
B委員 (吹奏楽部)	パート内に限らず、パート外ともコミュニケーションをとれたら、より良い部活動になっていくと思う。
C委員 (陸上部)	他校との交流機会を増やす。
D委員 (陸上部)	「もっとみんなが高めあおう」と思いながら、ライバル意識をもつ。一方で、楽しくみんなで目標に向かって走っていける風なのがいいなと思う。

E委員 (サッカー部)	挨拶、礼儀をしっかりと教えること。(そういうものは学校の先生が教えるのに長けている)
F委員 (女子テニス部)	学校の校庭の明かりが校舎側にしかなく、ボールの見えるところと見えないところの差が大きいこと。また、ボールも探しづらいので、明かりを増やしてほしい。
G委員 (硬式テニス部)	昼休みに部活の練習があればいいのと思う。

⑦自分の今入っている部活動以外に「こんな部活動があったら、挑戦してみたい」と思う部活動はどのような部活動ですか。

A委員 (野球部)	何かを専門でやるのではなく、毎週色んなスポーツができる部活動があったら、少し挑戦してみたい。
B委員 (吹奏楽部)	・軽音部 ・初心者でもできるダンス同好会 ・カラオケ部
C委員 (陸上部)	バレー部
D委員 (陸上部)	部活動にみんなが一生懸命に取り組んでいて、部活動を楽しみながらもきつい部活動。
E委員 (サッカー部)	パズル部。年齢を問わずできる。頭をしっかりと使うことにもつながる。
F委員 (女子テニス部)	・バドミントン部。学校にバドミントン部がないが、パラリンピックの体験でやったときに楽しかった。 ・卓球部。テニスと似ているのもあるが、一番はオリンピックの影響である。
G委員 (硬式テニス部)	特になし。

⑧通っている学校で、活気のある部活動、イケイケだと思える部活動、雰囲気の良い部活動はどのような部活動ですか。

A委員 (野球部)	・厳しくやるところは厳しく、楽しむときは楽しむ部活動。 ・野球部。どの部活動よりも自分に厳しく、野球に向き合っている。
B委員 (吹奏楽部)	・男子バスケットボール部 ・バレーボール部 ・吹奏楽部 ・技術部
C委員 (陸上部)	バレー部
D委員 (陸上部)	練習がとてもきついけど、部員で協力しながら、楽しみ、頑張っている部活動。

E委員 (サッカー部)	陸上部。コミュニケーション能力の高い人がたくさんいる印象がある。
F委員 (女子テニス部)	・吹奏楽部とバスケットボール部。どちらも男女、先輩後輩関係なく仲が良いから ・テニス部。私が入っているテニス部も顧問と生徒の仲が良いので、言いたいことがあったら何でも言えて、部内の雰囲気はいつも良い。
G委員 (硬式テニス部)	バスケットボール部

(2) 制度が変わった(地域移行)後の部活動について率直な意見を教えてください。

①学校の先生以外の方に指導を受けることについてどう思いますか。(これまでに学校の先生以外の方の指導を受けたことがありますか。)

A委員 (野球部)	・より専門的なものを得られると思う。 ・まだコーチ(学校の先生以外)から指導を受けていない身としては、先生とコーチで言っていることが違うとどうすれば良いのか分からなくなる不安がある。
B委員 (吹奏楽部)	現在も週に1、2回程度外部からコーチが来ている。吹奏楽の専門的なことを学べていいが、もう少し来る頻度が多いと思う。
C委員 (陸上部)	刺激となっていていいと思う。
D委員 (陸上部)	OBの方がコーチとして指導に来ている。そのコーチは、顧問の先生の教えに沿って、それを理解しているので、とても工夫した詳しい教えが聞けてとても良い。
E委員 (サッカー部)	・質の高いものを教えてもらえる可能性はあるが、そうでない可能性もある。その格差はできるだけ無くすほうがいい。 ・学校の先生のほうが挨拶を教えられる。
F委員 (女子テニス部)	テニススクールでは受けたことがある。顧問がテニス部と陸上部の先生なので、持久力などテニスに必要な要素を陸上の知識も入れて行ってくれるという独自のやり方をしている先生で、そのやり方に慣れているので、週1くらいだったら良い。
G委員 (硬式テニス部)	指導を受けたことがない。少し嫌だと思う。(親しめなそうだから)

②学校以外のところで、部活動を行うことについてどう思いますか。

A委員	・試合会場になるような所でやれるのは凄く良いと思う。
-----	----------------------------

(野球部)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校よりもできる練習は増えると思う。 ・移動費や身体への負担が心配。
B委員 (吹奏楽部)	吹奏楽部として楽器は大切なものなので、移動中に傷つけてしまうリスクや、楽器をトラックで運ぶ時のコストや時間を考えると、あまり良く思わない。
C委員 (陸上部)	トラブルの処理が大変そう。
D委員 (陸上部)	とても良いと思う。陸上部の場合、競技場で練習したり、他校の独特な練習メニューや雰囲気を楽しんだりできるのでとても良い。
E委員 (サッカー部)	そうしてしまうと、クラブチームとあまり変わらなくなってしまふ。
F委員 (女子テニス部)	人数が多いので、移動のときに周囲の方へ迷惑にならないかという心配はあるが、学校以外のところへ行くことはリフレッシュにもなるし、部員のモチベーションを高いまま保つことができるので良いと思う。
G委員 (硬式テニス部)	部活をする気分ではなく、クラブみたいな感じで新鮮でよいと思う。

③他の学校の生徒と一緒に部活動に参加したり、大会に参加できるようになることについてどう思いますか。

A委員 (野球部)	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が足りなくて合同チームとなることは仕方ないけれど、それ以外なら自分の中学校だけで参加したい。 ・同じ学校のほうが勝った時の喜びは味わえる気がする。
B委員 (吹奏楽部)	他校の生徒とコミュニケーションをとれるのは良いが、そこでの人間関係のトラブルがあった場合を考えると、良くない気がする。
C委員 (陸上部)	人間関係の輪が広がり、良いと思う。
D委員 (陸上部)	良いと思う。他の学校の生徒との関わりで刺激を受けたり、走りを見れたりするので良いと思う。
E委員 (サッカー部)	<ul style="list-style-type: none"> ・「他の学校の生徒」というのはクラブチームと似ているところがある。 ・ある程度の共通認識がないと苦しくなる。
F委員 (女子テニス部)	違う学校なので、「あの学校には負けない」とお互い切磋琢磨しながら練習できる。しかし、やはり練習がかみ合わなかったり、人間関係で悩む人は必ずでてくるので、そこが一番心配しているところである。

G委員 (硬式テニス部)	関わりの少ない他校の生徒と一緒に参加することは少し嫌だと思う。
-----------------	---------------------------------

④「もしもできたら挑戦してみたい」と思う種目はありますか。(今はない種目など)

A委員 (野球部)	・ボウリング ・学校内だとできない部活をやりたい。
B委員 (吹奏楽部)	地域移行するのであれば、弦楽器の皆さんと一緒に練習して、オーケストラみたいなことに挑戦してみたい。
C委員 (陸上部)	300m走
D委員 (陸上部)	4種競技。この1年半で800m、200m、100m、幅とびと挑戦してきたので、それらを活かせるような種目。
E委員 (サッカー部)	フリースタイルフットボール(リフティング)。競技人口が少ないため。
F委員 (女子テニス部)	水泳や陸上。区の陸上大会に参加して、周囲がとても速いと思い、負けたくないと思ったので、体験だけでもやりたいという気持ちがある。
G委員 (硬式テニス部)	特になし。

⑤指導料を払って、質の高い指導を受けられるとしたら、どう思いますか。

A委員 (野球部)	高校でも同じ種目をやると考えた時、次のステージにもつながる。(中学で辞めるとしても、どこかで生きると思う)
B委員 (吹奏楽部)	今のままが良い。質が高く、厳しい指導だと、逆にやる気をなくしそうな気がする。
C委員 (陸上部)	払える家族と払えない家族がいることが懸念点
D委員 (陸上部)	自分の受けたいときに受けられるのであればよいと思う。「この部分だけ知りたい・強化したい」というときなど。
E委員 (サッカー部)	経済的に苦しい人への対応が必要となる。皆が平等にならないとダメ。
F委員 (女子テニス部)	その指導が自分にとってためになるのか、実力につながるのか、自分に合っているのかという心配があるので、一度試してみて、そこから考えて選択できることが良いと思う。
G委員 (硬式テニス部)	良いと思う。

⑥季節(シーズン)でやることごとく変化する部活動があったらどう思いますか。

A委員	休み(オフシーズン)の時期がなく、落ち着ける時間がない。
-----	------------------------------

(野球部)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>夏</td> <td>冬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水泳</td> <td>水泳</td> <td>オフ</td> <td>冬は大会がないから落ち着ける</td> </tr> <tr> <td>スケート</td> <td>オフ</td> <td>スケート</td> <td>夏は大会がないから落ち着ける</td> </tr> <tr> <td>水泳+スケート</td> <td>水泳</td> <td>スケート</td> <td>落ち着ける時期がない</td> </tr> </table>		夏	冬		水泳	水泳	オフ	冬は大会がないから落ち着ける	スケート	オフ	スケート	夏は大会がないから落ち着ける	水泳+スケート	水泳	スケート	落ち着ける時期がない
	夏	冬															
水泳	水泳	オフ	冬は大会がないから落ち着ける														
スケート	オフ	スケート	夏は大会がないから落ち着ける														
水泳+スケート	水泳	スケート	落ち着ける時期がない														
B委員 (吹奏楽部)	吹奏楽部に筋トレなどを導入するのは良いと思うが、シーズンにかかわらず、毎回5分など、年間を通してコツコツおこなうほうが良いと思う。																
C委員 (陸上部)	適応するのが大変																
D委員 (陸上部)	内容による。陸上部はシーズンによって練習内容が変わるので、それなら良い。全く違うスポーツをするのは、一つのことに集中できないように思う。違う種目を行うことが、次のシーズンで役に立つことであれば、検討の余地はある。																
E委員 (サッカー部)	色々なことに触れる機会を増やせるのは良いと思う。ただし、一種類のスポーツをやりたい人への対応はどうか疑問。																
F委員 (女子テニス部)	自分は、苦手なことを克服できるまで継続して行いたい性格。なので、シーズン毎に種目が変わると全てが中途半端な状態になってしまうと思われるので、やりたいとは思わない。																
G委員 (硬式テニス部)	3ヵ月ぐらいで内容が変わると、「慣れてきたのに変わってしまう」というようなことがあるので、よくないと思う。																
⑦中学校3年生で引退するのではなく、卒業ギリギリまで続けられる部活動はどう思いますか。																	
A委員 (野球部)	受験もあるので、あまり良くない。継続するのであれば、「部活」ではなく「息抜き」として参加できるよう、行きたいときに行きやすい環境づくりが必要だと思う。																
B委員 (吹奏楽部)	現在所属している部では9月に仮引退、3月の音楽祭でまた一緒に演奏するという形をとっていて、それがベストだと思う。																
C委員 (陸上部)	自分の好きなことを長く続けられるのは良いと思う。																

D委員 (陸上部)	良いと思うが、強制ではなく、その時々や人によって判断できるほうが良いと思う。自分で調整できるなら目標もできて良い。
E委員 (サッカー部)	多くの中高生は3年生の夏または2年生の冬に引退する。そこから、勉強に一層注力する人が多い。そういう人たちの邪魔をしないためにも、参加しないと申し訳ない気持ちにさせる部活動は要らない。
F委員 (女子テニス部)	卒業して就職する人には良いと思う。ほとんどの人は受験をするので、部活動があると勉強に身が入らなくなる。また、いずれにしても卒業時には辞めるので、あまり意味がないように思う。
G委員 (硬式テニス部)	とても良いと思う。ただし、人によっては引退しても良いと思う。

⑧小学校高学年や高校1年生くらいの中学校だけではなく異なる学年が集まるような部活や地域の活動があったら、どう思いますか。

A委員 (野球部)	特に人数の少ない部活には効果的だと思う。高校生から教えてもらおうインプットの場合と小学生に教えるアウトプットの場合が整って、自分の成長にもつながる。高校生か懐かしい小学校の校庭で部活動ができれば面白そう。
B委員 (吹奏楽部)	学校内にとどまらない活動はとても良い。だが、中高生はとてもハードスケジュールになってしまうので、気軽に休むことのできる制度があるほうが、ありがたい。
C委員 (陸上部)	地域が活発化してとても良いと思う。
D委員 (陸上部)	色々な人との関わりで刺激を受け、速い人に教えてもらったりできるので、とても良いと思う。
E委員 (サッカー部)	実力差が大きすぎないなら良いと思う。他の学年と関りがもてるのは良いと思う。
F委員 (女子テニス部)	地域の活動なら良いと思うが、それが部活動となると、部員の人数が多くなって大変だと思う。それで顧問を増やすと、今度は教える人によって差が出てきてしまうと思う。
G委員 (硬式テニス部)	がたいの良い高校生と小学生との体格差が大きいのは危険なので、止めたほうが良い。

⑨部活動のない中学校って楽しいと思いますか。どう思いますか。

A委員 (野球部)	中学校の部活動は、自分の人生の「核」になると思う。勝ち負けや礼儀を学んでいる。
--------------	---

	部活動がないと縦のつながりも無くなる。勉強も大事だが、部活動のない中学校は考えられないし、デメリットが圧倒的に大きい。部活動は、死ぬまでにどこかで絶対に役に立つと思う。
B委員 (吹奏楽部)	学校生活や委員会活動が優先なのはもちろんだが、「楽しみ」がなくなってしまうのは、とても悲しい。
C委員 (陸上部)	友達と接する時間が減って、寂しいと思う。
D委員 (陸上部)	学校での活動範囲が狭くなってしまっているので、人との関わりも難しく、活気のない学校になってしまいそうなので、部活動はあること希望する。
E委員 (サッカー部)	部活動のような機能は残るので、外部で実施することは現在の環境と変わらない。ただし、特定種目が強いことを理由に、学校を選んで入学した人には、メリットがなくなる。
F委員 (女子テニス部)	楽しくないと思う。学校以外の場所で習うこともできるが、部活動は技術の向上だけでなく、先輩・後輩・先生との交流の場だと思うので、それがなくなると共通点や他学年との交流の機会が減り、楽しくないと思う。
G委員 (硬式テニス部)	授業だけだとつまらないと思う。

●高校生・大学生の部

(1) 今の部活動について教えてください。	
① 中学時代の部活動を選んだ理由は何ですか。	
a 委員 (高校生) (元テニス部)	・ 仮入部の時に先輩が優しく教えてくれたこと。 ・ 綺麗なコートの上に、活動日数が少ないから。
b 委員 (高校生) (元バレーボール部)	先輩に誘われたことと、仮入部の時にとっても雰囲気良かったから。
c 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	父が行っていたスポーツであること。小学校の友人が多かったこと。
d 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	父がバスケットボールをプレーしていて勧められたから。
e 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	中学校にあがるまでスポーツをしてこなかったもので、何か運動をしようと考え、そのとき興味があったバスケットボール部に入った。
② 中学で部活動をやっている「こんなことがよかった」と思うことは何ですか。	

a 委員(高校生) (元テニス部)	部活動だからこそ味わえる仲間の大切さを実感できたこと。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	一つのことに熱中できたことと、学校生活がより楽しくなったこと。
c 委員(大学生) (元バスケットボール部)	・運動・スポーツを好きになることができたこと。 ・礼儀や礼節、上下関係を学ぶ、身につけることができたこと。
d 委員(大学生) (元バスケットボール部)	先輩・後輩などの上下関係が学べた。
e 委員(大学生) (元バスケットボール部)	部長をやっていて、人をまとめるという経験ができたこと。

③中学と高校では、同じ部活動ですか。

a 委員(高校生) (元テニス部)	はい。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	中高共にバレーボール部。
c 委員(大学生) (元バスケットボール部)	同じ。
d 委員(大学生) (元バスケットボール部)	同じ。
e 委員(大学生) (元バスケットボール部)	同じ。

④部活動で、「一番楽しい」と思うことはどんなときですか。(中学・高校・大学)

a 委員(高校生) (元テニス部)	中学：自分の出来なかったことが出来るようになったとき 高校：練習の成果を試合で発揮できたとき
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	仲間と一緒に一つの目標に向かって切磋琢磨すること。
c 委員(大学生) (元バスケットボール部)	中学：部活動後の帰り道に友人と談笑しながら帰っているとき 高校：ゲーム形式の練習を行っているとき
d 委員(大学生) (元バスケットボール部)	練習後、部室での仲間との談笑。
e 委員(大学生) (元バスケットボール部)	仲間と良いプレーができたとき。

⑤部活動をやっている「こんなことに苦労した」「大変だった」と思うことは何ですか。

a 委員(高校生) (元テニス部)	初めはその部活の規則を知り、守ることや環境に慣れること。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	部員数が多かったので、意見が上手くまとまらない時があったことや、自分ができることを常に見つけながら行動することが大変だった。
c 委員(大学生) (元バスケットボール部)	シューズやソックスの色が白か黒の単色に決められていたため、用具を用意するのに苦労した。 半数以上の部員が辞めてしまったため、安定した練習メニューをこなせなかったこと。
d 委員(大学生) (元バスケットボール部)	学業との両立。
e 委員(大学生) (元バスケットボール部)	相手チームの監督などとあいさつをする際の礼儀など。

⑥部活動をやっていて「こんなところが自分の成長につながった」と思うことは何ですか。

a 委員(高校生) (元テニス部)	何事も諦めない強い心を持つことができた。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	コミュニケーション力、礼儀、自分で考えて行動する力が身についたこと。
c 委員(大学生) (元バスケットボール部)	厳しい先生のもと厳しい練習を行ってきたうえで、身体能力のみならず精神力が成長した。
d 委員(大学生) (元バスケットボール部)	上下関係などの礼儀や、厳しい練習をやり抜くなどの経験。
e 委員(大学生) (元バスケットボール部)	人をまとめる経験ができたので、そこから見える人とのつながりなどを感じ、人間関係の成長につながった。

⑦部活動について「もっとこんなふうだといいのに」と思うことは何ですか。

a 委員(高校生) (元テニス部)	平日の部活は週一回で、さらに大学の敷地を使わせてもらっているため、自由に使えるコートが欲しい。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	3年生で引退という形ではなく、卒業までは自分の好きな時に行けるようになったら良いと思う。
c 委員(大学生) (元バスケットボール部)	もっと兼部がオープンになればいいのではないかと思った。 体験入部期間外にも体験入部ができれば、もっと良いのではないかと思った。
d 委員(大学生) (元バスケットボール部)	公立校と私立高で設備の差がある。公立校でも、もう少し整った設備があると良いと思った。
e 委員(大学生) (元バスケットボール部)	顧問の先生が経験者でない場合の外部コーチの導入など。

⑧中学時代に入っていた部活動以外に「こんな部活動があったら挑戦してみたい」と思う部活動はどのような部活動ですか。

a 委員(高校生) (元テニス部)	小学生の時にチアダンスを習っていたのでダンス部があったら挑戦してみたい。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	一つのスポーツに取り組む部活動だけではなく、色々なスポーツを楽しめる部活動があったら、それにも挑戦してみたいと思う。
c 委員(大学生) (元バスケットボール部)	ラグビーやアメフト。なかなか外部では手の出しにくいマイナースポーツも部活動であれば面白いと思う。
d 委員(大学生) (元バスケットボール部)	アダプテッドスポーツ
e 委員(大学生) (元バスケットボール部)	人数が多く、練習に支障をきたさない部活。

⑨通っていた学校で、活気のある部活動、イケイケだと思える部活動、雰囲気のいい部活動はどのような部活動ですか。

a 委員(高校生) (元テニス部)	バレー部がとても強く、楽しそうだった。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	信頼関係がしっかりと築けていて、一人ひとりが意見を言えるような空気を作れている部活動。
c 委員(大学生) (元バスケットボール部)	サッカー、バスケ、野球等のメジャースポーツ。 大会で上位の成績を収めていた卓球部。
d 委員(大学生) (元バスケットボール部)	楽しむときは楽しんで、真面目にやるときは真面目にやれるメリハリのある部活動。
e 委員(大学生) (元バスケットボール部)	バドミントン部。人数も多く、声も出ていて、大会でも何度も賞をもらっていた。

(2) 制度が変わった(地域移行)後の部活動について率直な感想を教えてください。

①学校の先生以外の方に指導を受けることについてどう思いますか。(これまでに学校の先生以外の方の指導を受けたことがありますか。)

a 委員(高校生) (元テニス部)	1年間だけ大学生のコーチが学校へ教えに来てくれていた。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	学校の先生以外の方の指導を受けたことはないが、専門的に指導を受けることが出来るのはとても良いと思う。
c 委員(大学生) (元バスケットボール部)	学校の先生の負担を軽減できることは好ましいと思う。

d 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	競技経験のない先生よりも競技や指導経験のある外部の方に指導してもらおうほうがいいと思う。学校の先生以外の方の指導を受けた経験はない。
e 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	ある。顧問が経験者でない場合、とても有効だと思う。
②学校以外のところで、部活動を行うことについてどう思いますか。	
a 委員 (高校生) (元テニス部)	移動に時間がかかるのがデメリットだと思う。
b 委員 (高校生) (元バレーボール部)	移動するのに時間がかかったり、交通費なども発生するので、学校がある日は難しいのかなと思う。
c 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	普段と違った環境で部活動の練習を行うことができるのは良い刺激になるし、大会等に向けて能率的な練習ができると思うが、移動費や場所の変化によって通うのが困難になる生徒が出ないかが気になった。
d 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	学校に活動場所がなければ仕方ないが、学校だからこそ楽しめることがあるから、あまり良いとは思わない。
e 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	普段と違う環境だと練習しにくいと思う。
③他の学校の生徒と一緒に部活動に参加したり、大会に参加できるようになることについて、どう思いますか。	
a 委員 (高校生) (元テニス部)	交流の幅が広がり、友達が増えるため、良いと思う。
b 委員 (高校生) (元バレーボール部)	お互いにレベルアップできることはあると思うが、学校生活は別々になってしまうので、コミュニケーションがあまり取れずに意見の食い違いなどが起きてしまうのではなかと思う。
c 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	良い刺激になって良いと思う。特に人数の少ない部活動は練習の幅が広がるのが良いと思う。
d 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	普段会わない人と一緒に活動を行うことは、自分だった気を遣ってしまうと思うので、あまり良いとは思わない。
e 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	学校ごとのチームの強さが大会などで差がつきにくくなると思う。
④「もしもできたら挑戦してみたかった」と思う種目はありますか。(今はない種目など)	
a 委員 (高校生) (元テニス部)	ダンス
b 委員 (高校生)	(無回答)

(元バレーボール部)	
c 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	ラグビー、アメフト、ウエイトリフティング
d 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	アダプテッドスポーツ
e 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	ない。

⑤指導料を払って、質の高い指導を受けられるとしたら、どう思いますか。

a 委員(高校生) (元テニス部)	テニスは試合に出場するにも毎回お金がかかるので、安価なら良いと思う。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	「上手になりたい」とか「試合で勝ちたい」と思っていたら良いと思うが、純粋にスポーツを楽しみたい人もいると思うので、部活動全体として受けたりするのは良くないのかと思う。
c 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	質の高い指導を受けたいと思うが、指導料を払えない生徒は部活動に参加できないということになると、難しいと思う。
d 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	質の高い指導を受けられるならば指導料を払ってもいいと思う。
e 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	結果が分かりやすく出るなら、続けて良いと思う。

⑥季節（シーズン）でやるのがいくつか変わる部活動があったらどう思いますか。

a 委員(高校生) (元テニス部)	自分は少し飽き性な所があるので、挑戦してみたいと思う。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	季節ごとで色々なことができるので、飽きずに一年中楽しんで良いと思う。
c 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	季節でやるのがいくつか変わることによって、様々な種目を経験できるし、その中から自分に合っている種目を見つけることができるのは良いと思うが、大会や一つの目標に向けて一つの種目を真剣に取り組みたい人には向いていないのではないかと思う。
d 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	活動時期が限られている部活動にとってとても良いことだと思うし、そのような部活動だけでなくも様々な部活動経験ができることはとても良いことだと思う。
e 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	一つの部活で季節ごとで練習メニューが変わったりするので、あまり良くないと考える。

⑦中学校3年生で引退するのではなく、卒業ギリギリまで続けられる部活動はどう思いますか。

a 委員(高校生) (元テニス部)	部活動で悔いが残らないように過ごせると思う。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	良いと思う。私にとって部活動は学校生活の中で本当に大きい存在だったので、できたら卒業ギリギリまで続けたかった。
c 委員(大学生) (元バスケットボール部)	自分でもできればそうしたいと思っていたが、受験勉強のこと等を考えると難しいと思う。
d 委員(大学生) (元バスケットボール部)	部活動以外のこともぬかりなくできるのであれば良いと思う。
e 委員(大学生) (元バスケットボール部)	続けたい人とそうでない人がいるのは良いと思う。強制でなければ良いと思う。

⑧小学校高学年や高校1年生くらいの中学生だけではなく異なる学年が集まるような部活や地域の活動があったら、どう思いますか。

a 委員(高校生) (元テニス部)	教えたり、教えられたりする良い関係性になると思う。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	良い刺激になると思うが、レベルの差があったり気を遣ったりしてしまうので、のびのびと取り組めなくなるかと思う。
c 委員(大学生) (元バスケットボール部)	たまに行う分には双方ともに良い刺激になり、とても好ましい活動だと思うが、日常化してしまうと実力の差による不自由さ等から陰々滅々とした気分になる人が出てくるのではないかと思った。
d 委員(大学生) (元バスケットボール部)	小中学生にとってはレベルの高い競技者と活動できるから良いとは思いますが、高校生は低いレベルに合わせなければいけないので、良いとは思わない。
e 委員(大学生) (元バスケットボール部)	地域の交流という視点で見ると良いと思う。

⑨部活動のない中学校って楽しいと思いますか。どう思いますか。

a 委員(高校生) (元テニス部)	部活動があることで更に充実した中学校生活を送れると思う。
b 委員(高校生) (元バレーボール部)	部活動がない中学校は楽しくないと思う。勉強以外に何かに一生懸命取り組むことでより学校生活が楽しくなると思う。
c 委員(大学生) (元バスケットボール部)	楽しいと思うが部活動があった方が友人との友情も深まり、質の高い楽しさを味わえると思う。
d 委員(大学生) (元バスケットボール部)	自分は楽しいとは思わないが、その場所で楽しめるかは人それぞれだと思う。
e 委員(大学生) (元バスケットボール部)	それぞれ楽しさが違う人や、厳しい部活がいやだという人もいるので、良いと思う。

(3) 大学生の方へお聞きします

①大学生として自分自身が指導者になる可能性もあると思いますが、大学生が指導者になることについてどう思いますか。

c 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	知識や経験のある大学生が指導を行うほうが、未経験者の先生が行うよりも良いと思う。
d 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	指導者を目指す大学生にとってもとても良い経験になるし、年の近い競技経験のある大学生に指導してもらえることは生徒にとっても良いことだと思う。
e 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	アルバイトとして指導したいという人が多いのかなと思った。

②他の大人がいない状態で、大学生自身しか指導の場にはいないことについてどう思いますか。

c 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	誰が指導するとしても、安全管理上、大学生以外の先生などの大人が、その場にいたほうが良いと思う。
d 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	何か問題や事故があったときに、きちんと対処することができ、責任の取れる人が絶対にはいけないため、大学生だけではいけないと思う。
e 委員 (大学生) (元バスケットボール部)	安全管理の面で不安要素があると思う。

8 アンケート集計結果

(1) 令和5年3月実施分 部活動地域移行に関するアンケート

世田谷区立中学校

部活動地域移行に関するアンケート調査集計結果

令和5年3月

世 田 谷 区

I 調査概要

1 調査目的

世田谷区では、令和4年10月に「世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会」を設置し、地域の多様な主体による持続可能性ある活動を構築し、将来にわたり子どもたちがスポーツや文化芸術に親しむことができる環境を整備するため、区立中学校部活動の地域移行のあり方について検討している。

今後の検討の参考とするため、来年度から中学生になる小学6年生、部活動の当事者である中学生及び学校（顧問教員）から、部活動に関するアンケート調査を行った。

2 調査対象

(1) 中学生

対象校：全区立中学校（29校）

(2) 小学6年生

対象校：若林小学校、弦巻小学校、用賀小学校、烏山小学校、船橋小学校（5校）

(3) 顧問教員

対象校：全区立中学校（29校）

3 調査内容

(1) 中学生の調査内容

①部活動の入部状況について

②部活動について

入った（入らない）理由、良かったこと、うまくいかないこと、

③部活動地域移行について

合同部活動、活動場所、指導者、参加したい種目

(2) 小学6年生の調査内容

①小学校のクラブ活動、小学校外の習い事等の状況について

②中学校の部活動について

楽しみなこと、不安なこと、入りたくない理由

③部活動地域移行について

合同部活動、活動場所、指導者、参加したい種目

(3) 顧問教員の調査内容

①現状について

種目の経験、生徒の引率

②部活動地域移行について

今後の運営や引率、意向

4 調査時期

令和5年3月3日（金）～3月13日（月）

5 回答方法

(1) 小学6年生、中学生

一人一台配付されている端末を利用し、Microsoft Forms によるオンライン回答。各担任教員からロイロノート、または Teams 内クラスチームへの URL 投稿によりアンケートを実施。

(2) 顧問教員

Microsoft Forms によるオンライン回答。

URL もしくは2次元コードを読み取り、アンケートを実施。

6 回答率

(1) 全体

対象	回答者数/対象者数（人）	回答率（%）
中学生	4,942/11,780	42.0%
小学6年生	402/535	75.1%
顧問教員	194/643	30.2%

(2) 中学生（学年別）

学年	回答者数/対象者数（人）	回答率（%）
中学1年生	2,155/3,810	56.6%
中学2年生	1,792/3,907	45.9%
中学3年生	995/3,850	25.8%

※小学生・中学生の対象者数については、令和4年5月1日時点の人数を参照

※顧問教員の対象者数については、各中学校へ調査

7 留意点

アンケート調査を集計した数値は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。そのため、選択肢の数値（%）をすべて合計しても、四捨五入の関係で、100%にならないことがある。

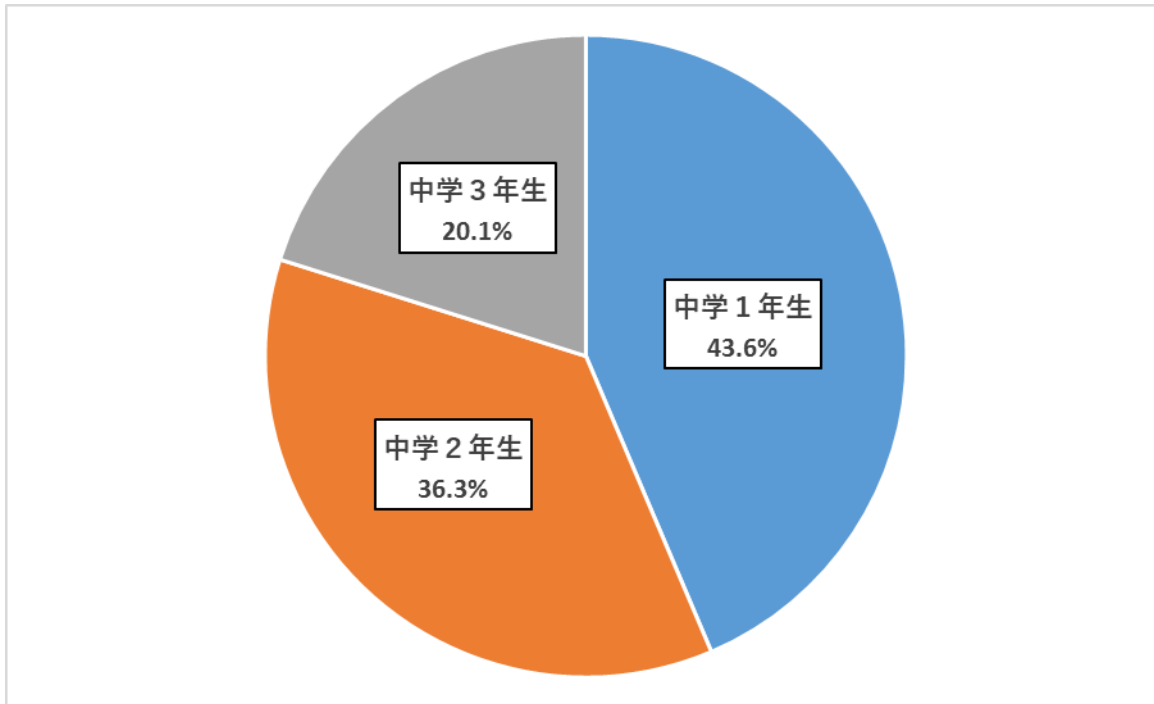
8 集計結果

1. 中学生 P 3～10
2. 小学生6年生 P 11～18
3. 顧問教員 P 19～23

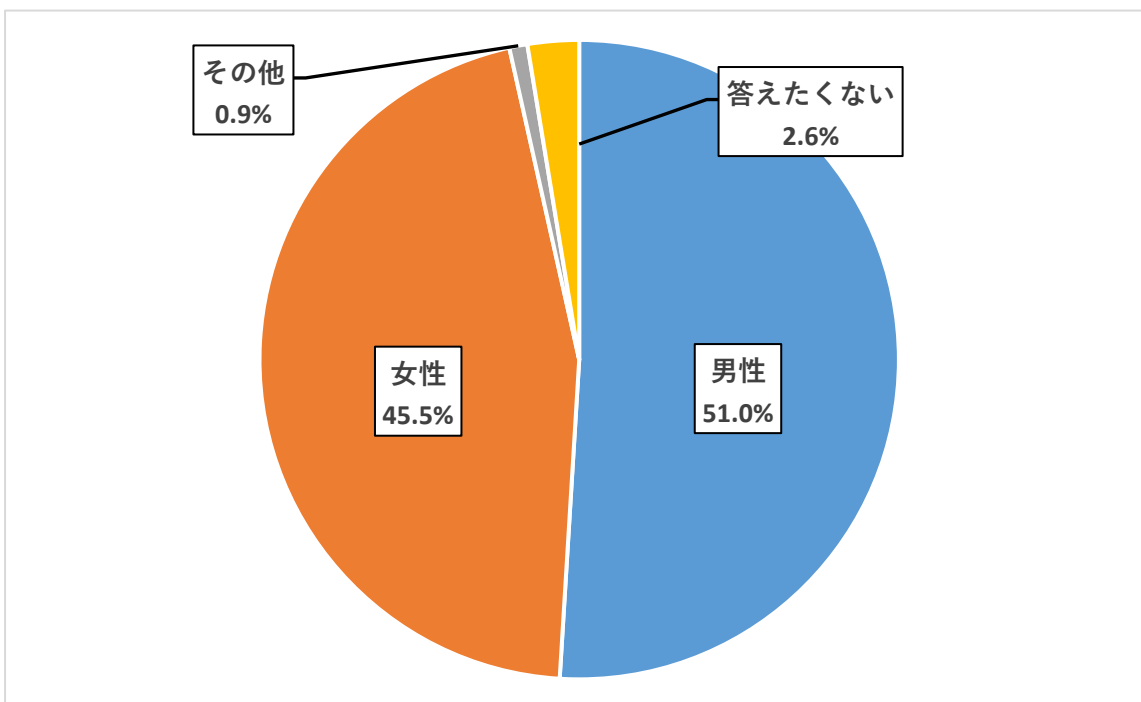
I 調査結果

1. 中学生対象 アンケート結果

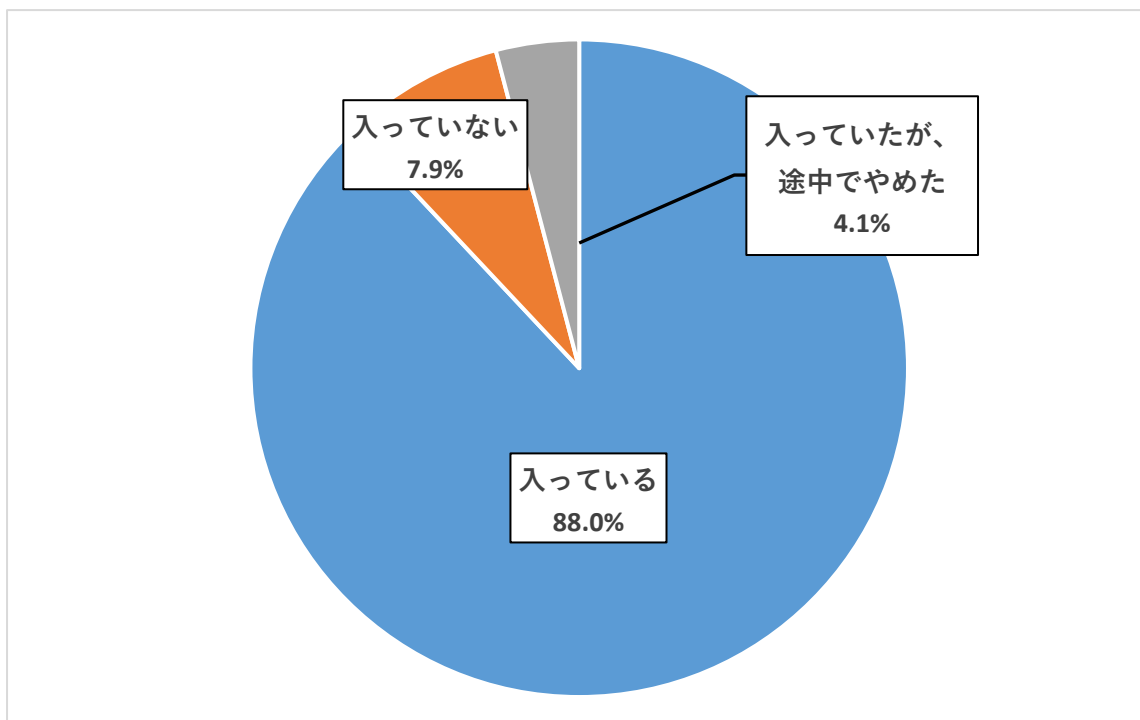
(1) あなたは何年生ですか。



(2) あなたの性別を教えてください。

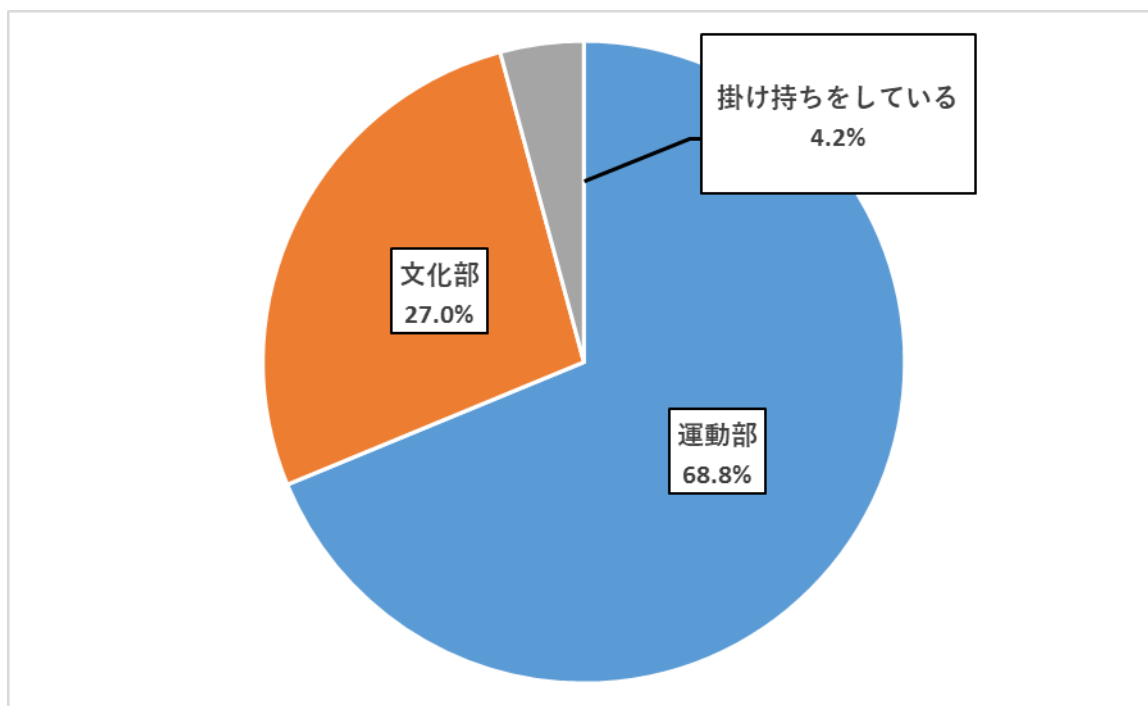


(3) あなたは部活動に入っていますか。

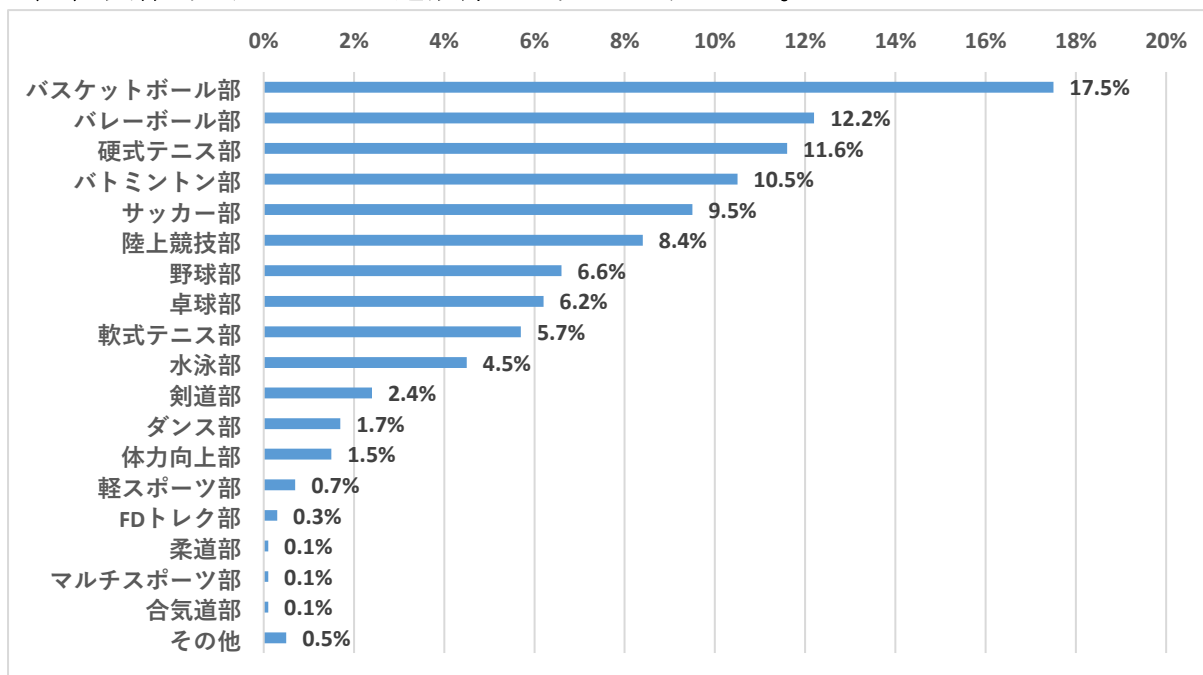


〈(4)～(10)は部活動に「入っている」と回答している方を対象〉

(4) 運動部(野球部、サッカー部など)、文化部(吹奏楽部、美術部など)のどちらに入っていますか。



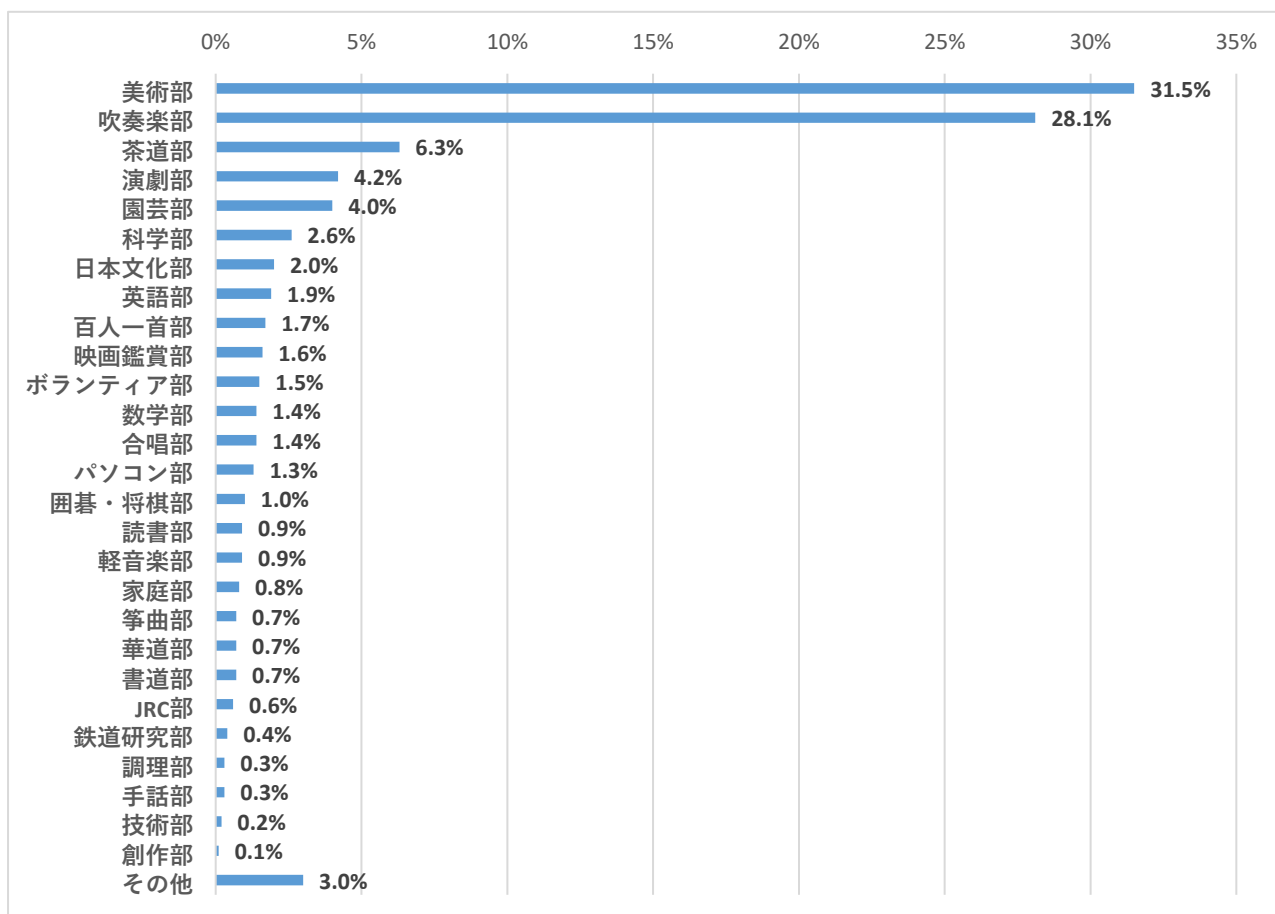
(5) 具体的に入っている運動部を選択してください。



○「その他」で回答した部活動

I組スポーツクラブ、農業部、軽運動部

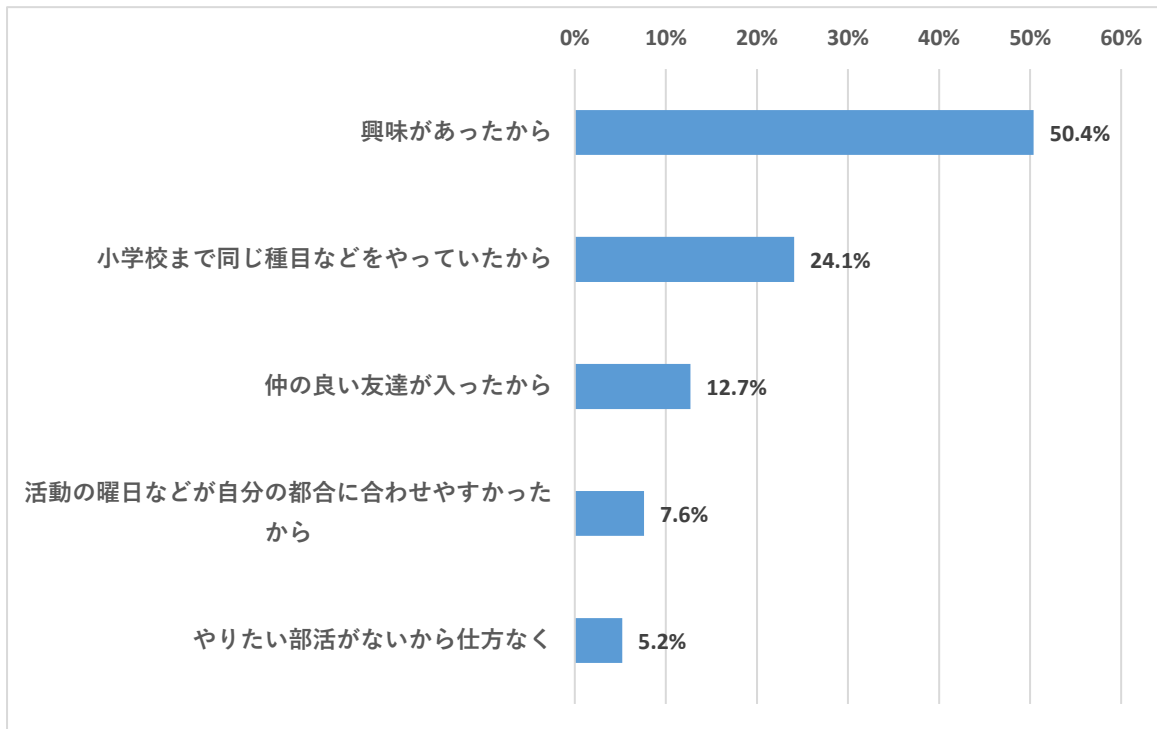
(6) 具体的に入っている文化部を選択してください。



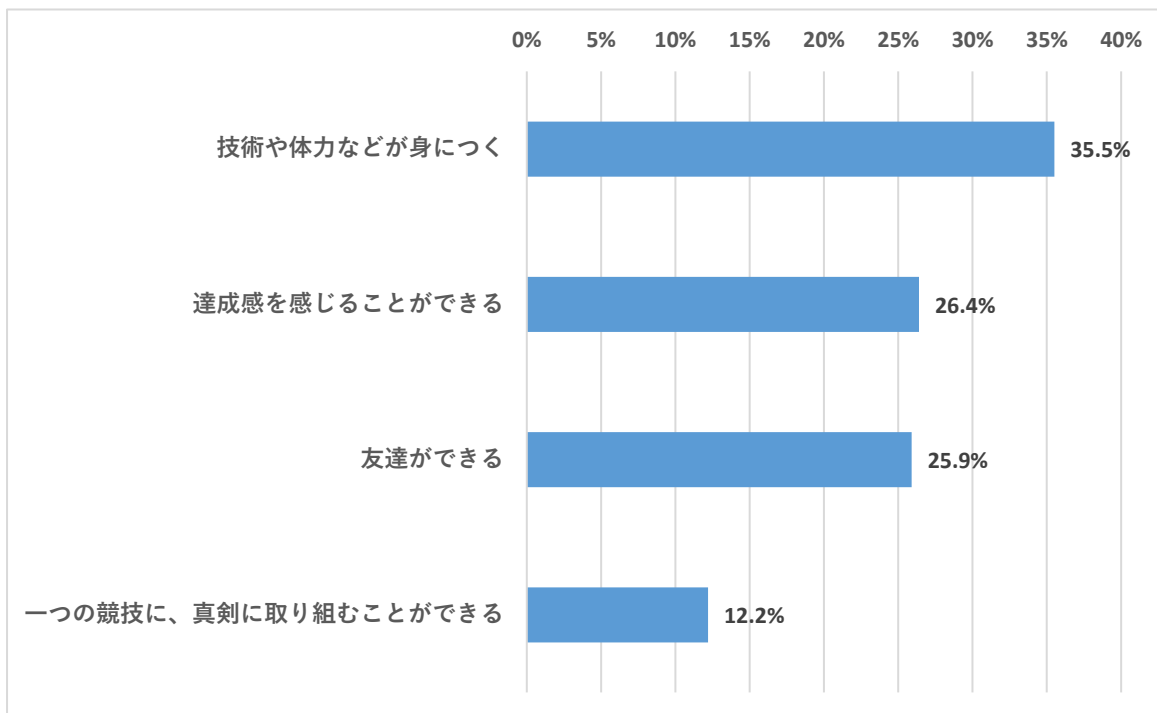
○「その他」で回答した部活動

アコースティックギター部、イラスト部、農業部

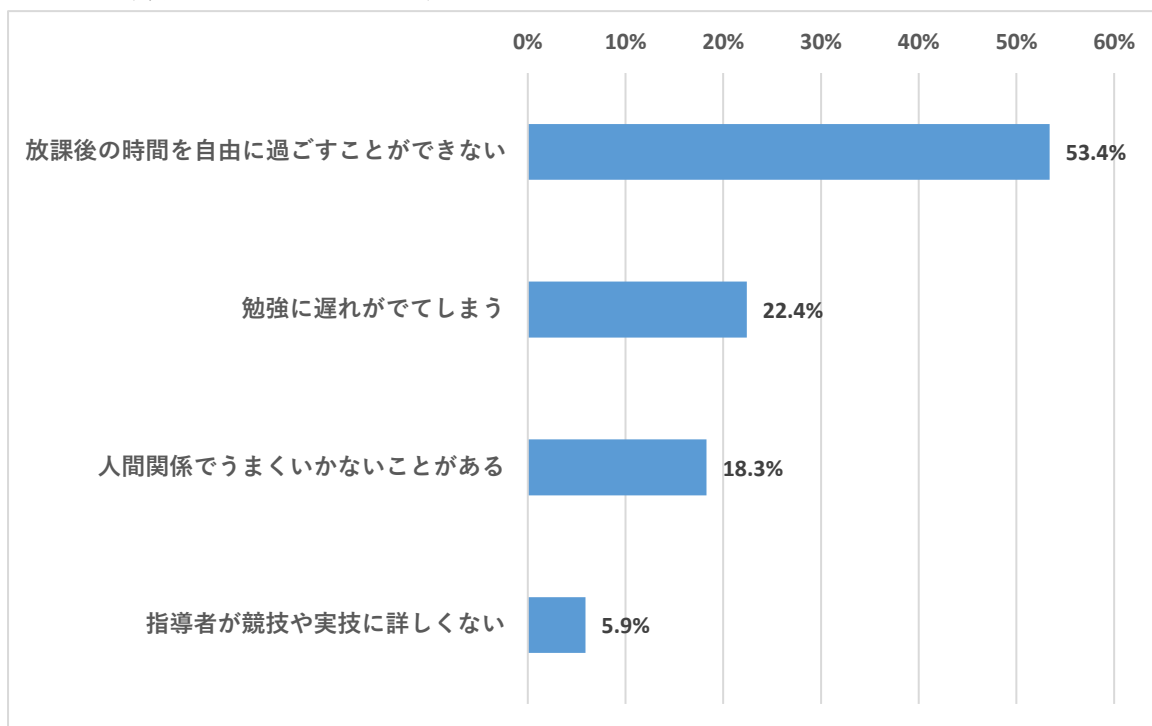
(7) 今の部活動に入った理由を教えてください。(最も近いものを選択)



(8) 部活動に入っていて、良かったと思うことは何ですか。(最も近いものを選択)

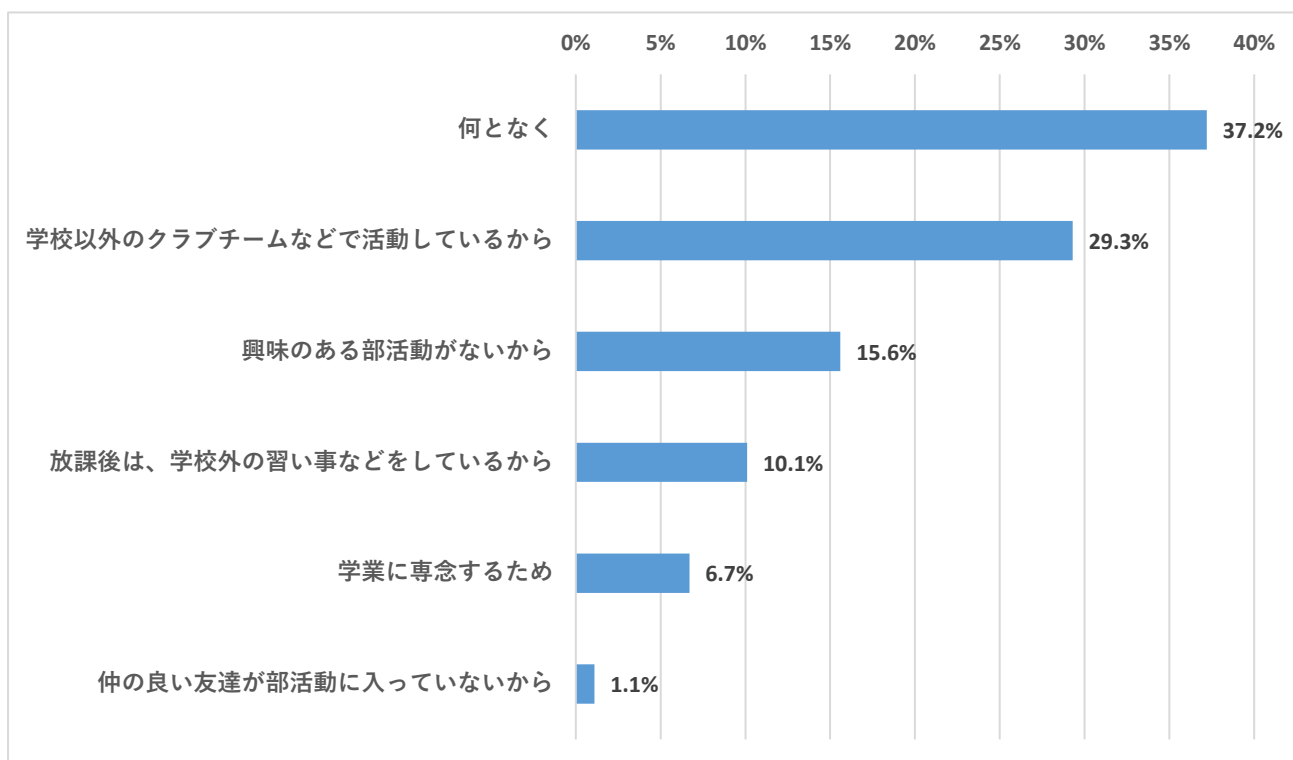


(9) 部活動に入っていて、「うまくいかない」と思うことは何ですか。
(最も近いものを選択)



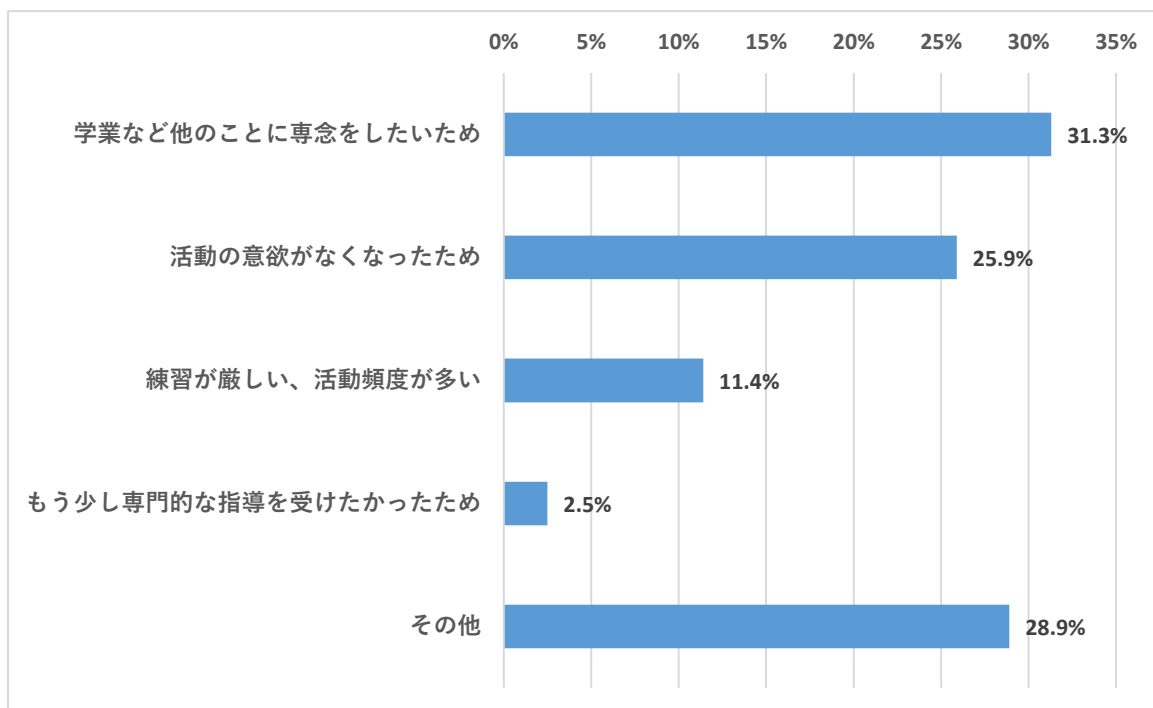
<(10) は部活動に「入らない」と回答している方を対象>

(10) 部活動に入らない理由を教えてください。(最も近いものを選択)



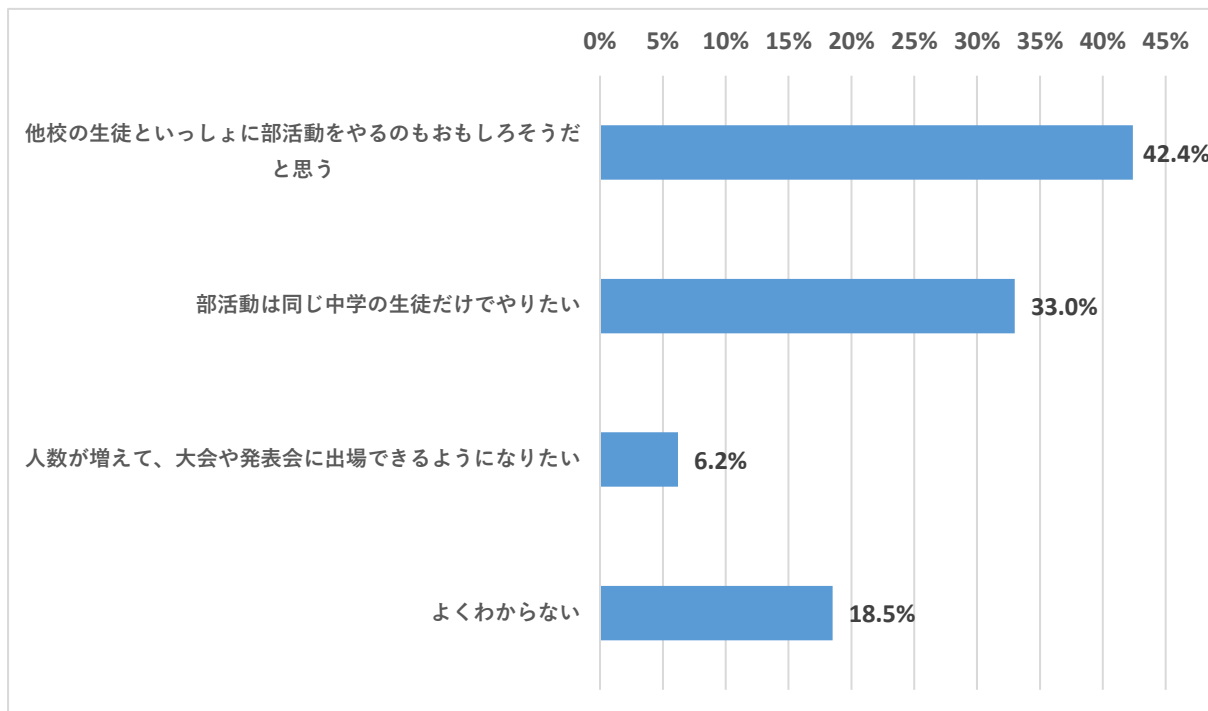
〈(11)は部活動に「入っていたが、途中でやめた」と回答している方を対象〉

(11)部活動を途中でやめた理由を教えてください。(最も近いものを選択)(任意回答)

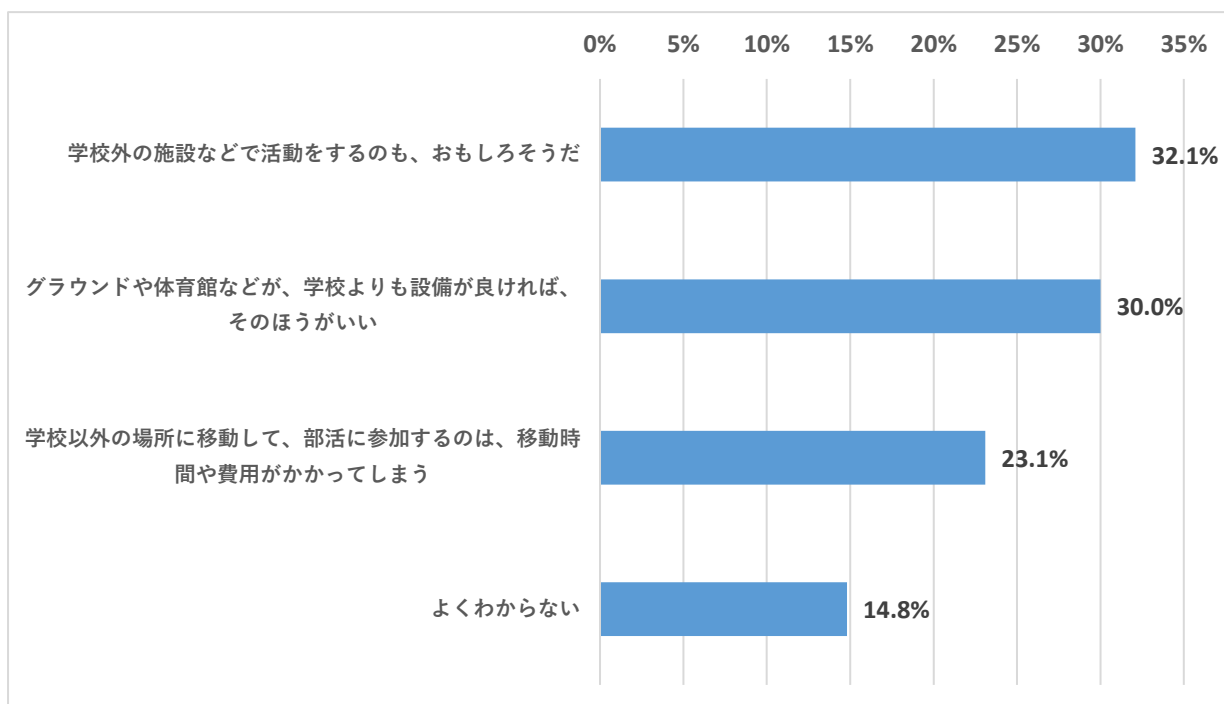


(12)今後、中学校の部活動は、学校ではない施設などで他校の生徒と合同で行ったり、学校の先生ではなく地域の指導者の方などが教えたりすることが多くなります。そのことについて、あなたの意見を教えてください。

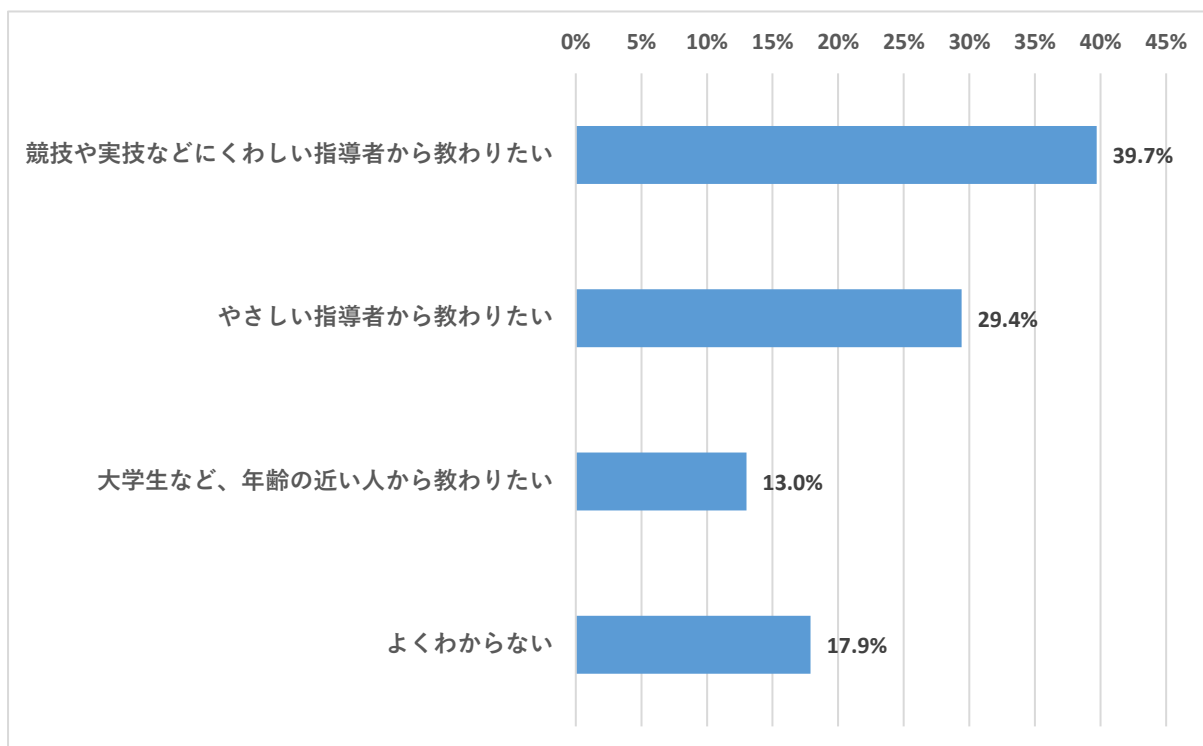
他校の生徒と合同で部活動を行うことについて、どう思いますか。(最も近いものを選択)



(13) もし、学校外のグラウンドや施設などで部活動をするようになったら、どう思いますか。(最も近いものを選択)



(14) 学校の先生以外に部活動を教わることについて、どう思いますか。(最も近いものを選択)

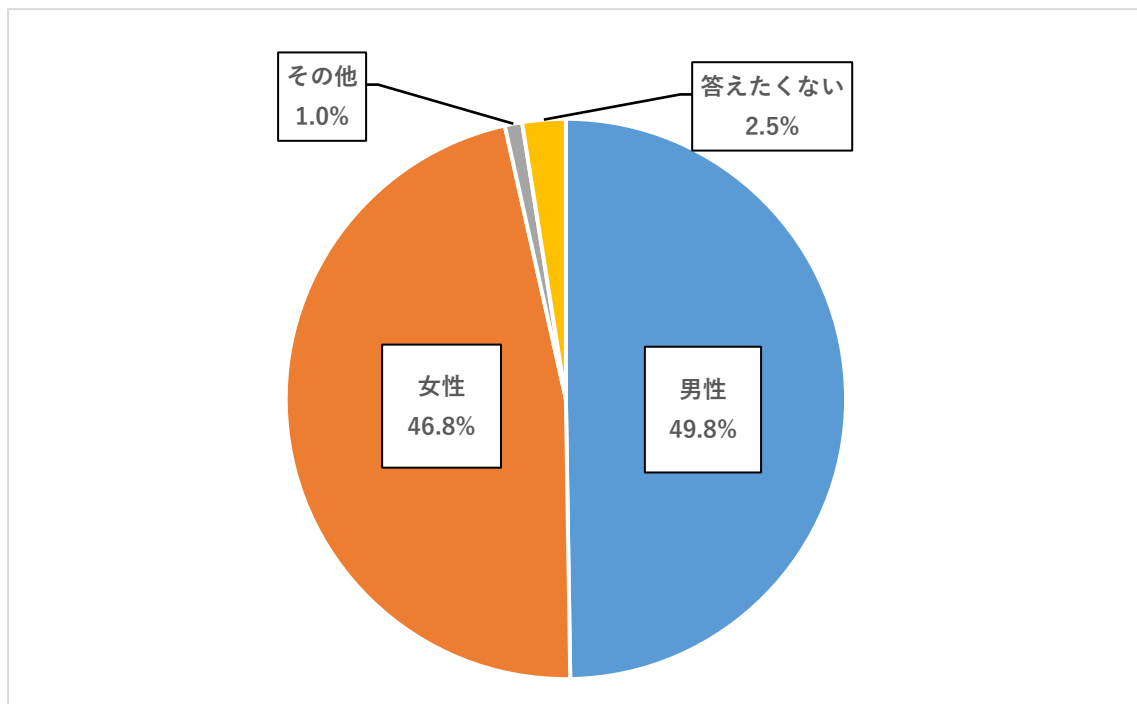


(15) これまでにない種目や分野で、新しくできたら参加したいと思うものがあつたら教えてください。

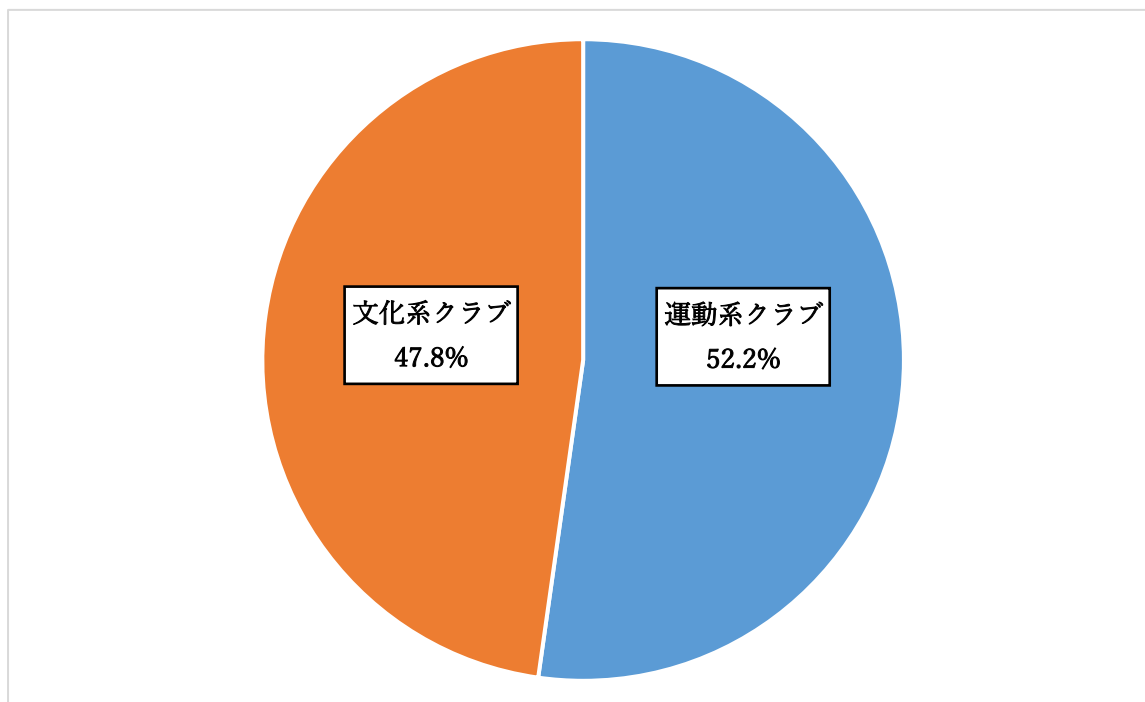
回答人数	種目・分野名
8人	軽音楽部
5人	ダンス部
4人	バトミントン部
3人	ゲーム部
2人	eスポーツ部、チアダンス部、バンド部、ラグビー部、新体操部、水泳部、生物部
1人	かるた部、ソフトボール部、テニス部（同好会を部活動にしたい）、ドッジボール部、ネット統計部、プログラミング部、バスケットボール部、演劇部、フラッグフットボール部、ボルダリング部、歌部、楽しい部、弓道部、空手部、剣道部、自転車部、男子バレーボール部、茶道部、馬術部、迫真空手部、百人一首部、模型部 陸上部、料理部、同じ部をやるのではなく、好きな部を好きな時にできる部

2. 小学校6年生 アンケート結果

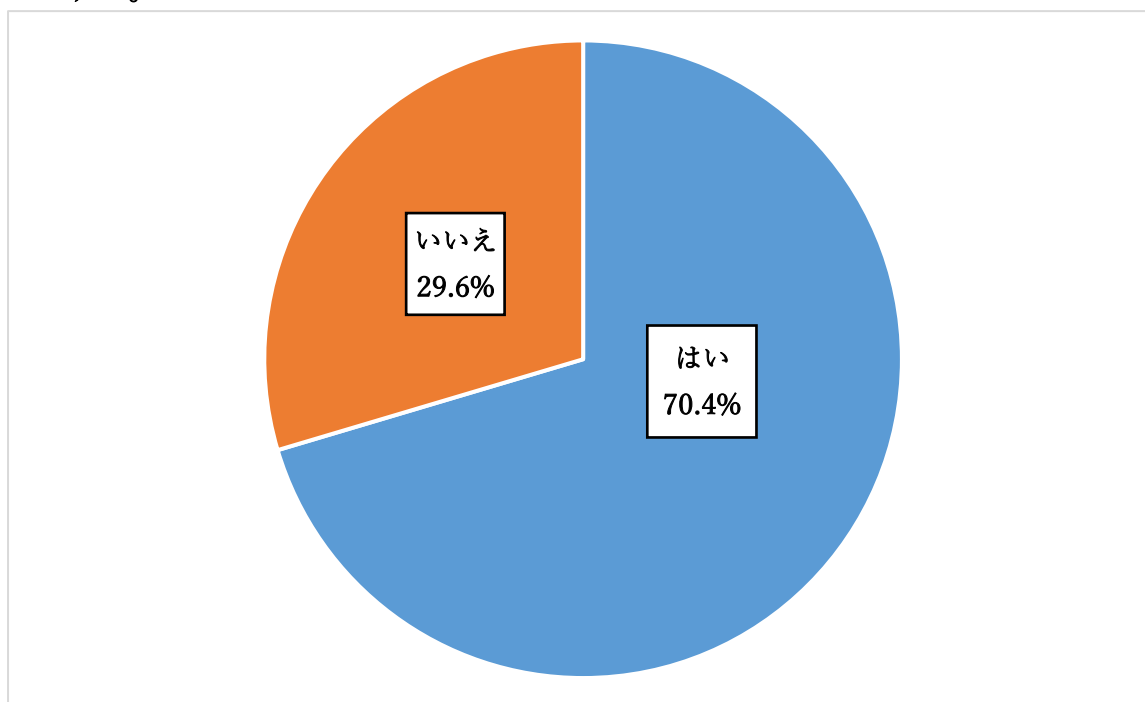
(1) あなたの性別を教えてください。



(2) 小学校では、運動系（野球クラブ、サッカークラブなど）と文化系（音楽クラブ、理科実験クラブなど）のどちらのクラブ活動をしていますか。

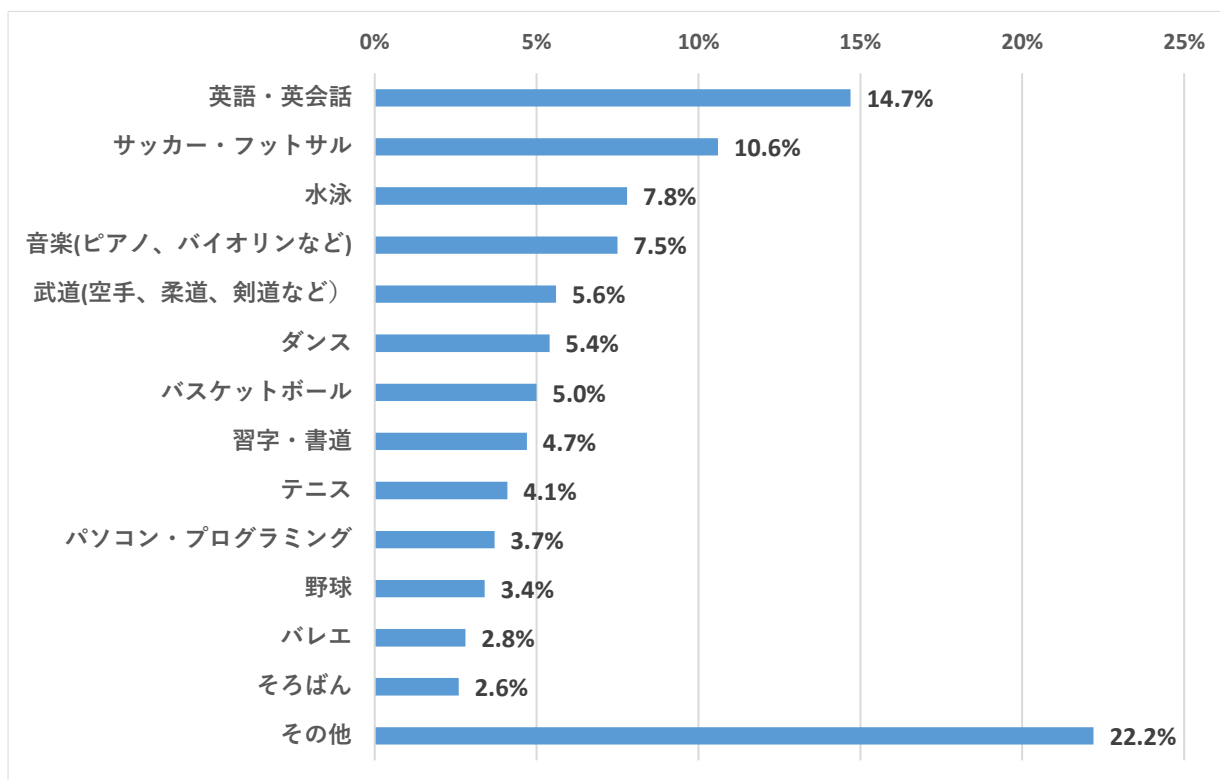


(3) 現在、学校以外で何かクラブチームなどに入ったり、習い事などをしたりしていますか。



〈(4)の質問は、クラブチームや習い事などを行っている方を対象〉

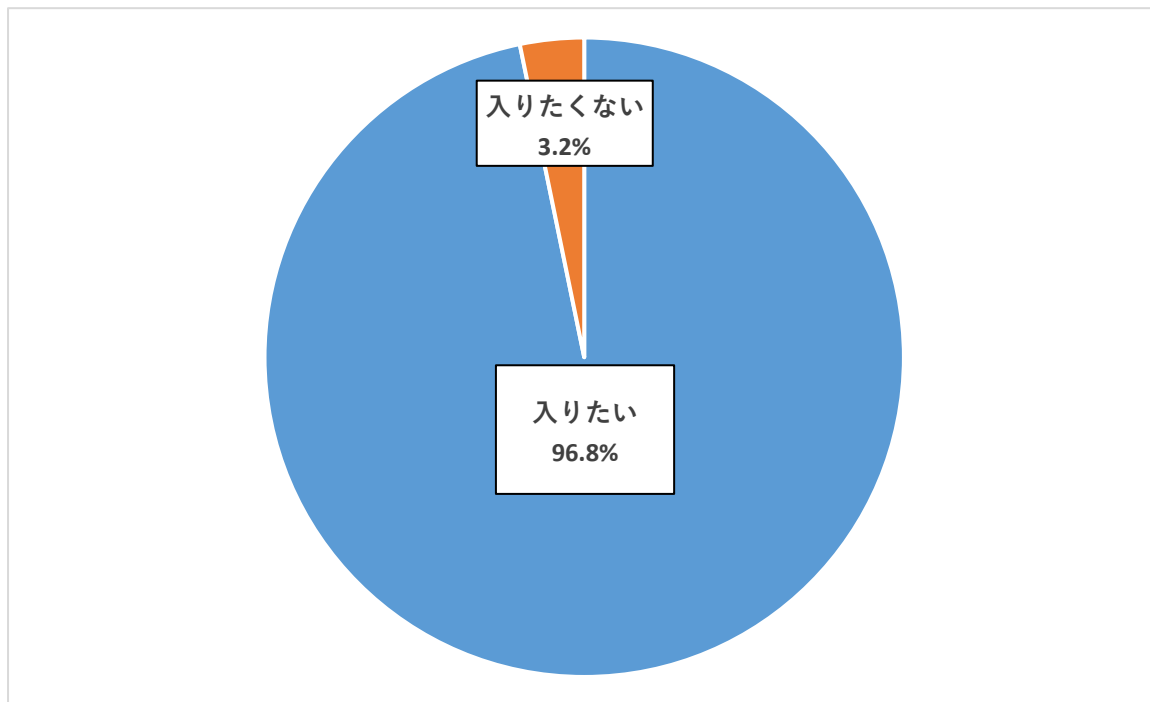
(4) 何のクラブや習い事などを行っていますか。(複数回答可)



○「その他」の回答

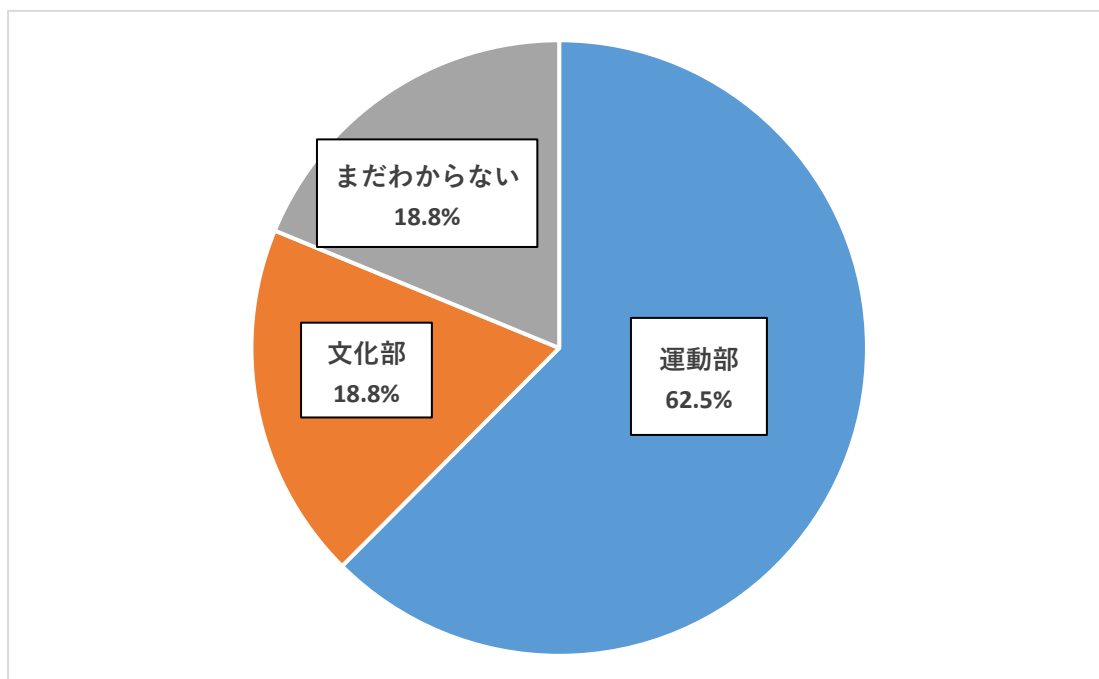
塾、体操、バレーボール、バトミントン、ゴルフ、算数、陸上、科学教室、チアリーディング、卓球、ドラム、ボクシング、歌、演技、テコンドー、ボーリング、絵画教室、フラダンス、ラグビー、クライミング、ボルダリング、太鼓、工作

(5) 中学生になったら、部活動に入りたいですか。

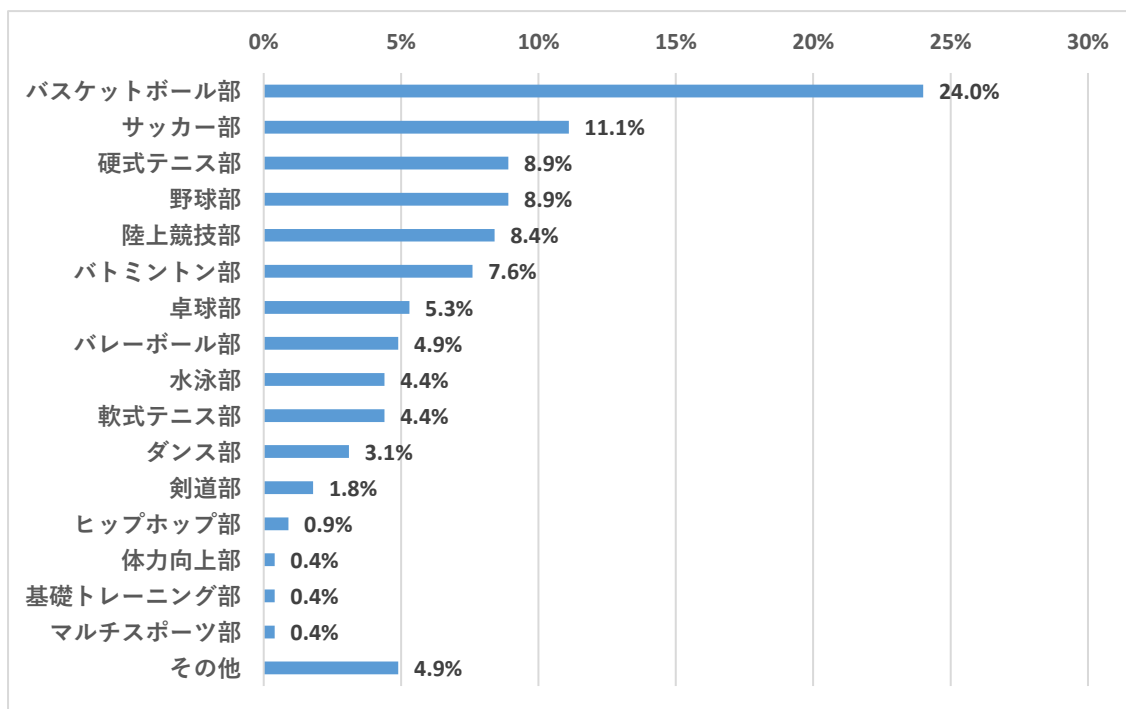


<(6)～(10)は部活動に「入りたい」と回答している方を対象>

(6) 運動部、文化部のどちらに入りたいですか。



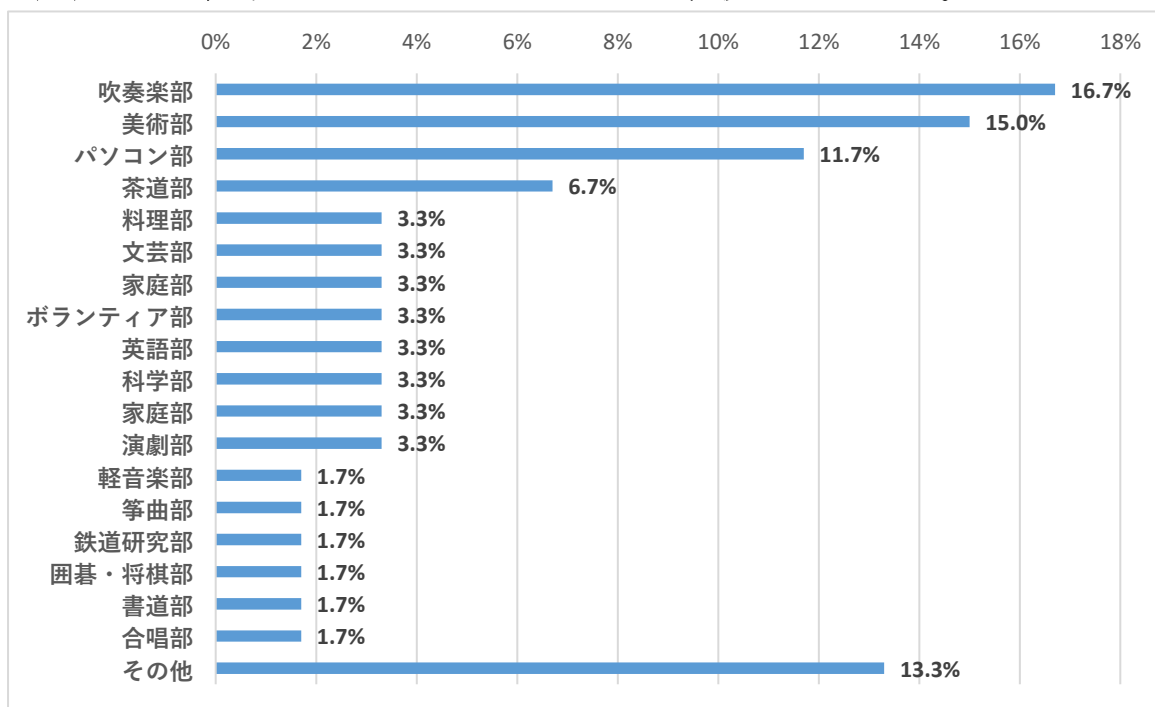
(7) どの運動部に入りたいか決まっていたら、教えてください。



○「その他」の回答

弓道部、空手部、釣り部、新体操部

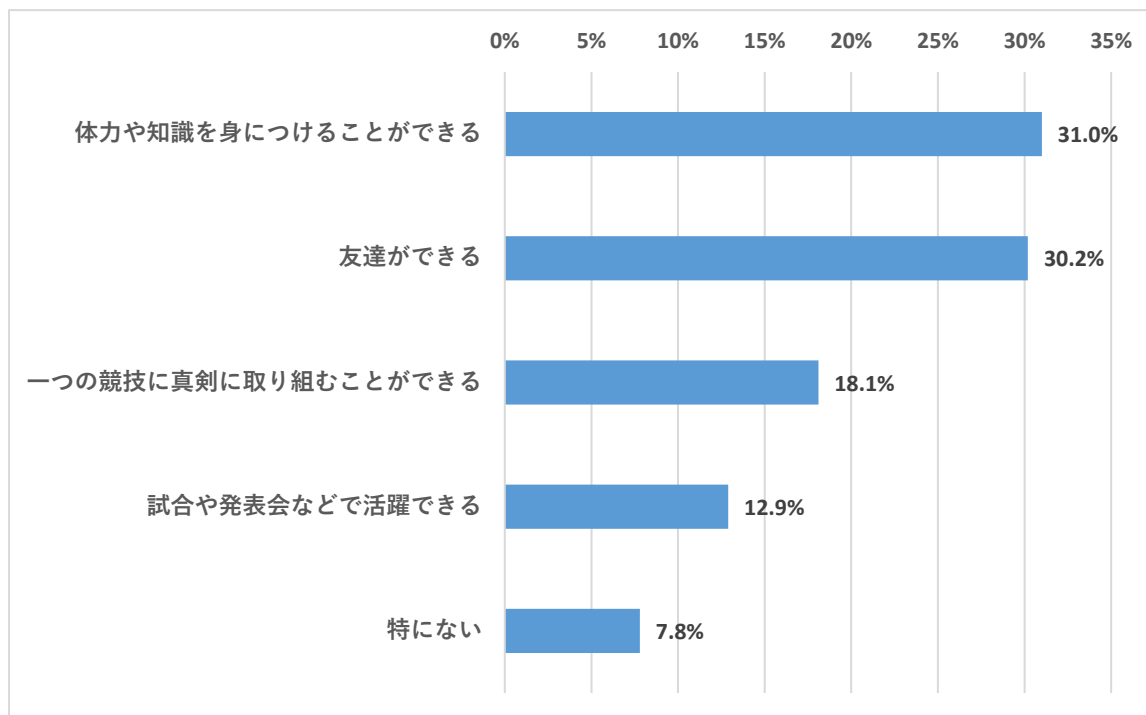
(8) どの文化部に入りたいか決まっていたら、教えてください。



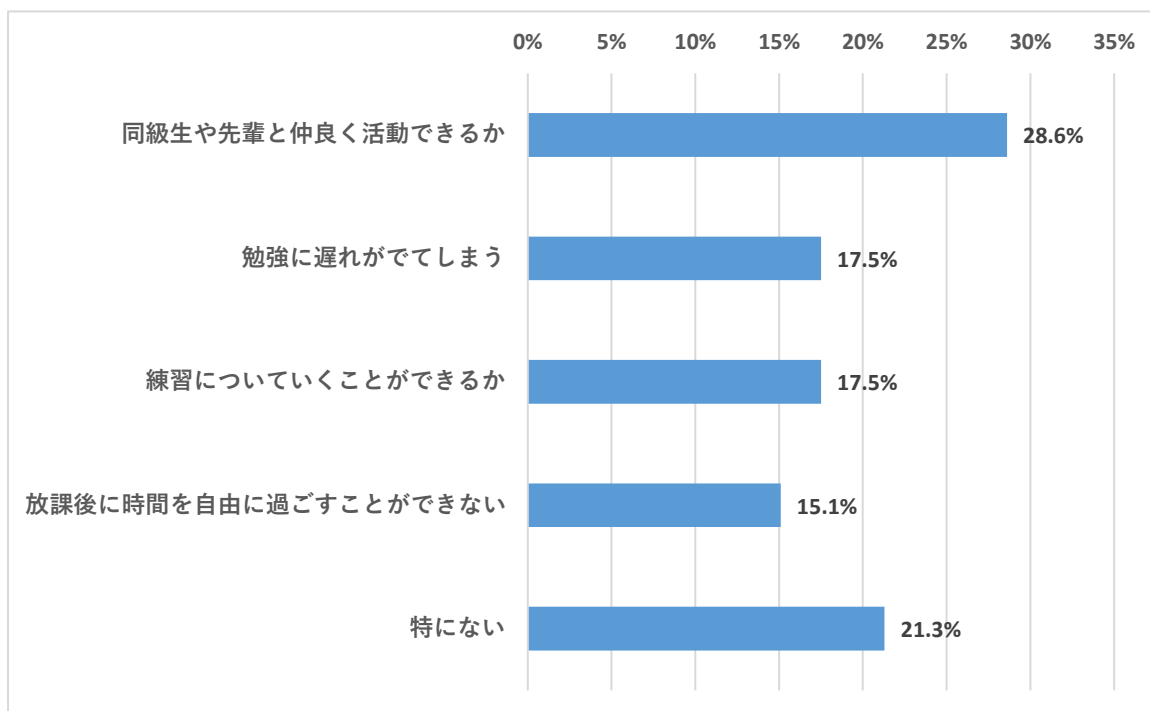
○「その他」の回答

ビリヤード部、ブラスバンド部、ミュージカル部、生物部、天文気象部、放送部

(9) 部活動で楽しいことがあれば教えてください。(最も近いものを選択)

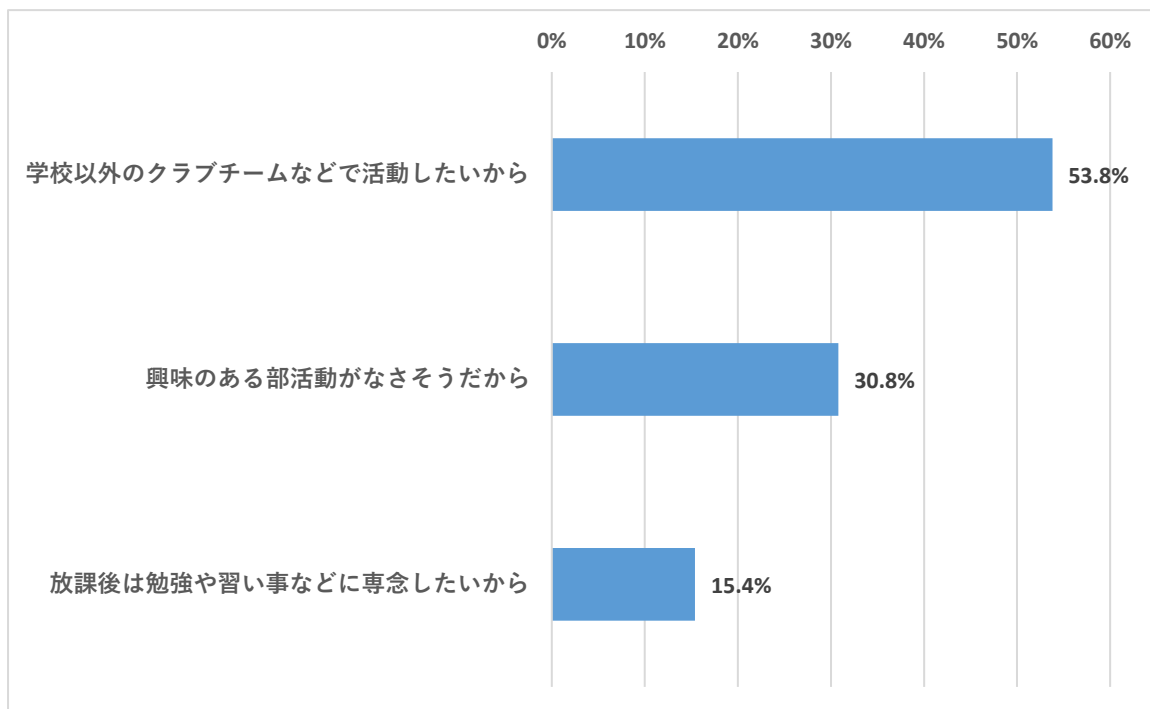


(10) 部活動で不安なことがあれば教えてください。(最も近いものを選択)



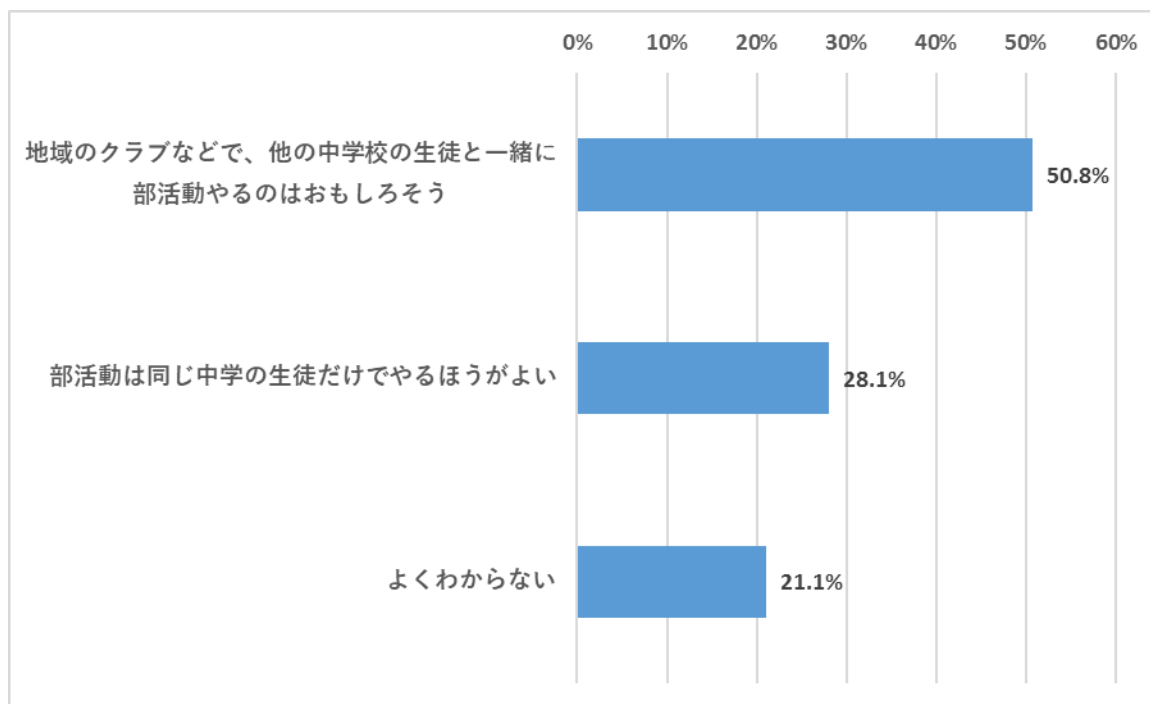
〈(11)は部活動に「入りたくない」とい回答している方を対象〉

(11) 部活動に入りたくない理由を教えてください。(最も近いものを選択)

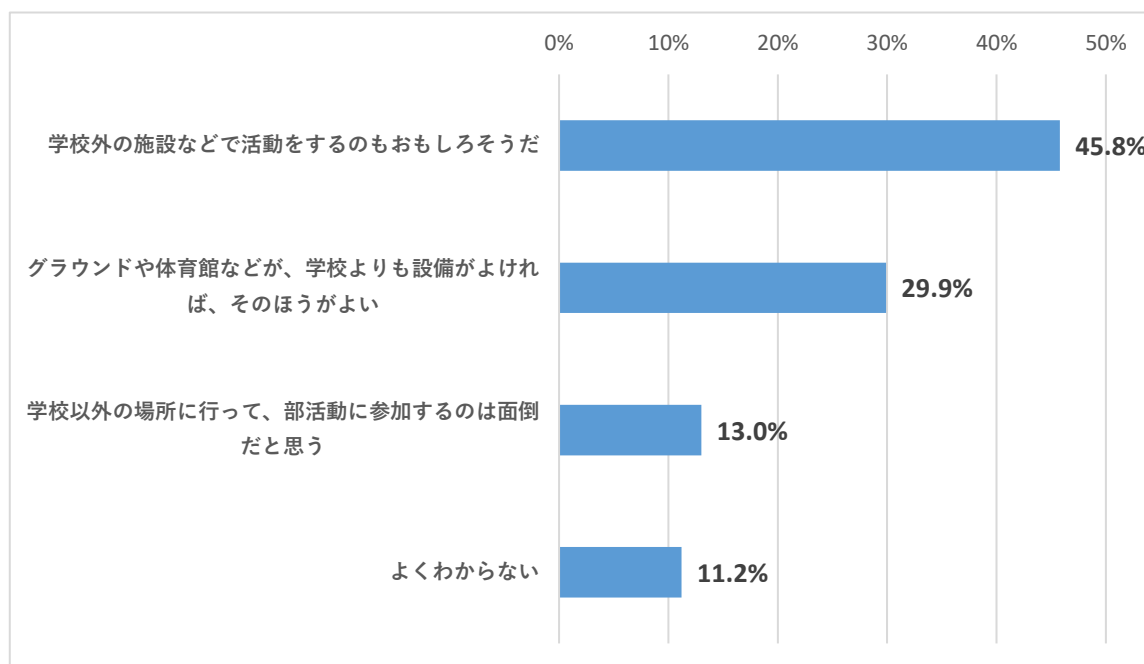


(12) 今後、中学校の部活動は、学校ではない施設などで他の中学校の生徒と合同で行ったり、学校の先生ではなく地域の指導者の方などが教えたりすることが多くなります。そのことについて、あなたの意見を教えてください。

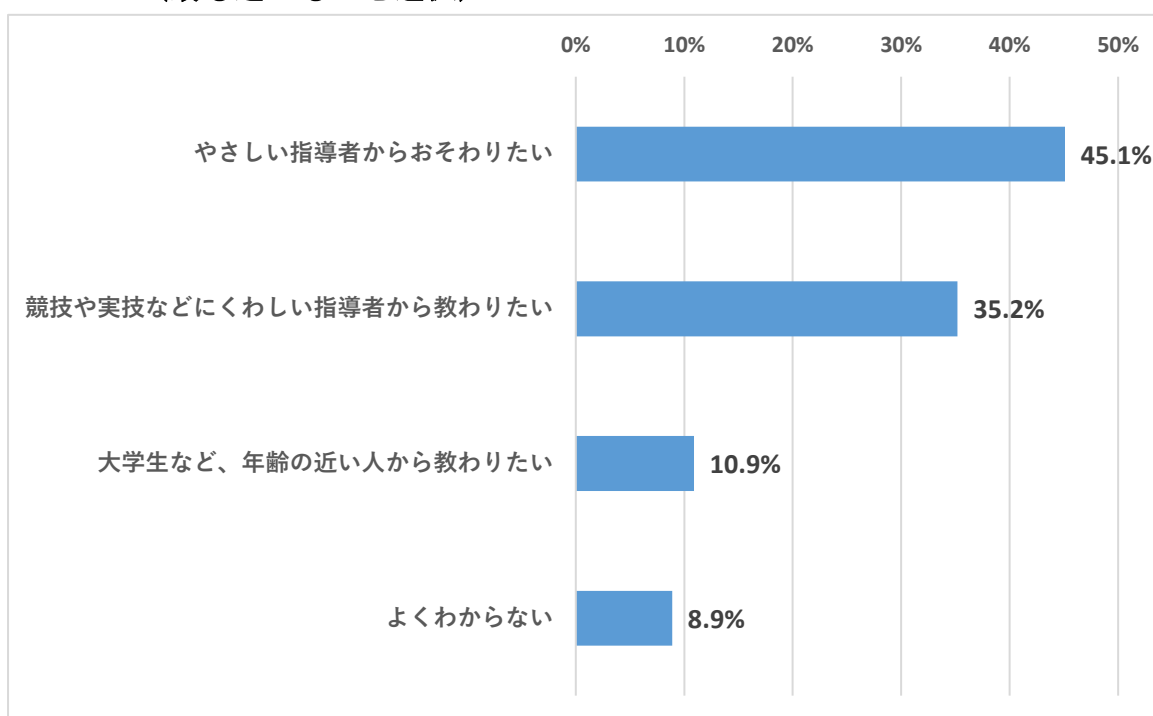
他校の生徒と合同で部活動を行うことについて、どう思いますか。(最も近いものを選択)



(13) もし、学校外のグラウンドや施設などで部活動をするようになったら、どう思いますか。(最も近いものを選択)



(14) 学校の先生以外に部活動を教わることについて、何を期待しますか。(最も近いものを選択)

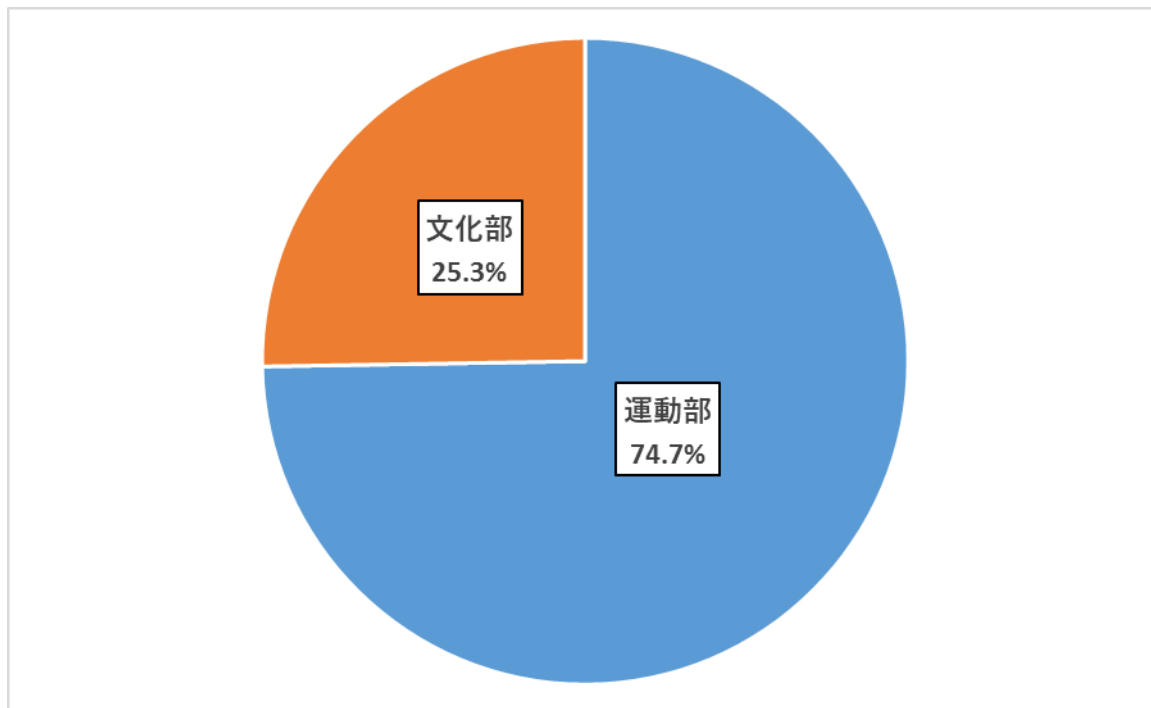


(15) これまでにない種目や分野で、新しくできたら参加したいと思うものがあつたら教えてください。

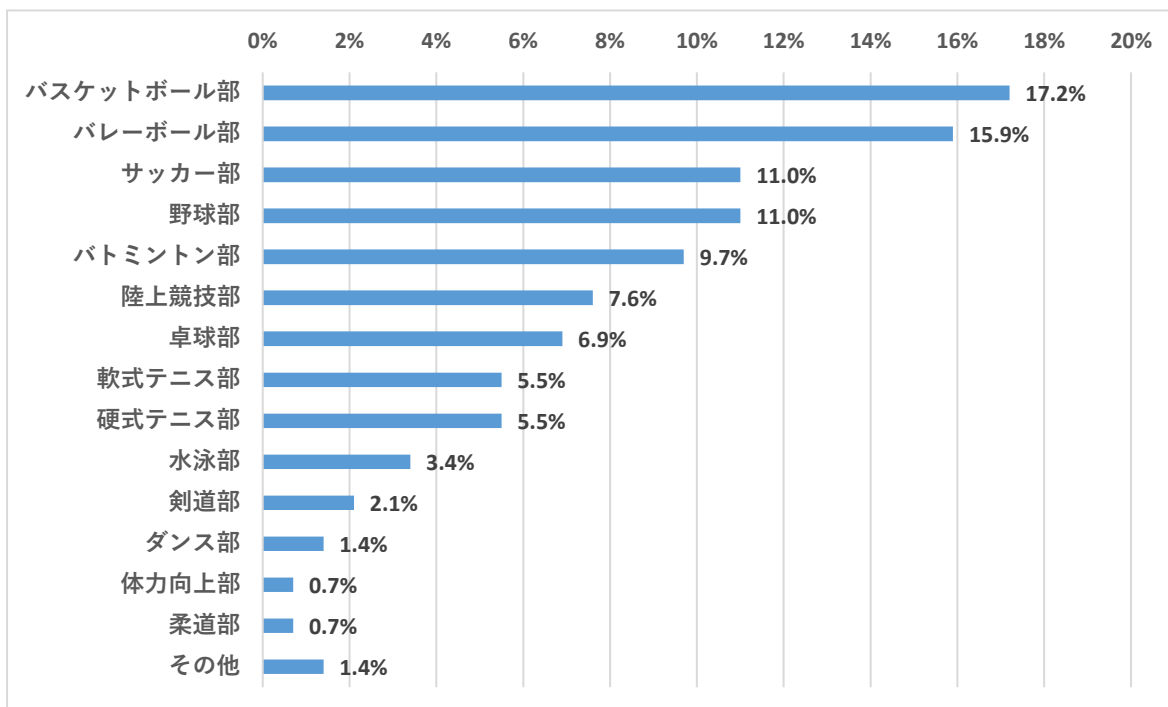
回答人数	種目・分野名
6人	ドッジボール部
5人	ダンス部
4人	バトミントン部
3人	レゴ部、卓球部
2人	鉄道研究部、陸上部、軽音楽部、KPOP部、クイズ研究部、ゲーム部 ハンドボール部、演劇部、水泳部、体操部、調理部、釣り部、漫画部
1人	eスポーツ部、アイススケート部、カバディ部、ゴルフ部、サッカー部、スケボー部、セーリング部、そろばん部、イラスト部、ディベート部、テディベア研究部、テニス部、バレエ部、ビジネス部、ビリヤード部、フットサル部、ボーリング部、ボランティア部、ボルダリング部、音ゲー部、空手部、工作部、香道部、黒板アート部、作曲部 自動車部、書道部、声優部、大道芸部、天文部、動物と関われる部 読書部、文芸部、勉強部、遊び部

3. 顧問教員 アンケート結果

(1) 運動部と文化部のどちらの部活動の顧問をしていますか。

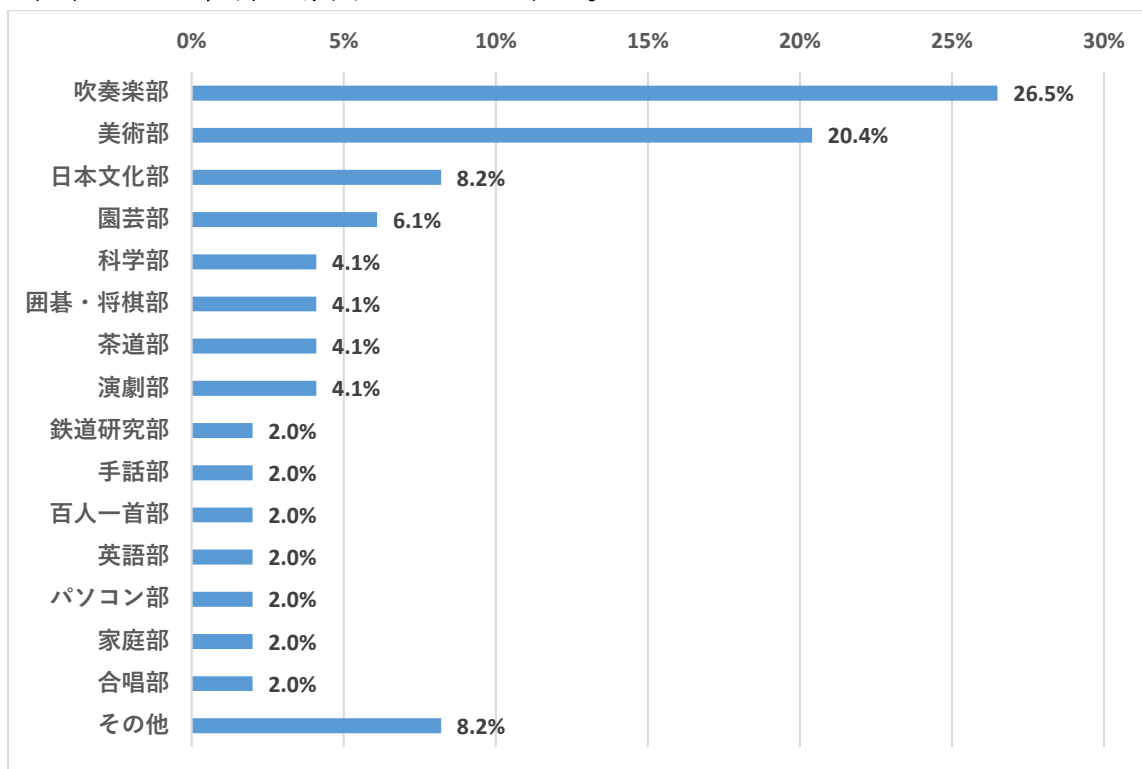


(2) どの運動部の顧問をしていますか。



○「その他」で回答した部活動
ソフトテニス部

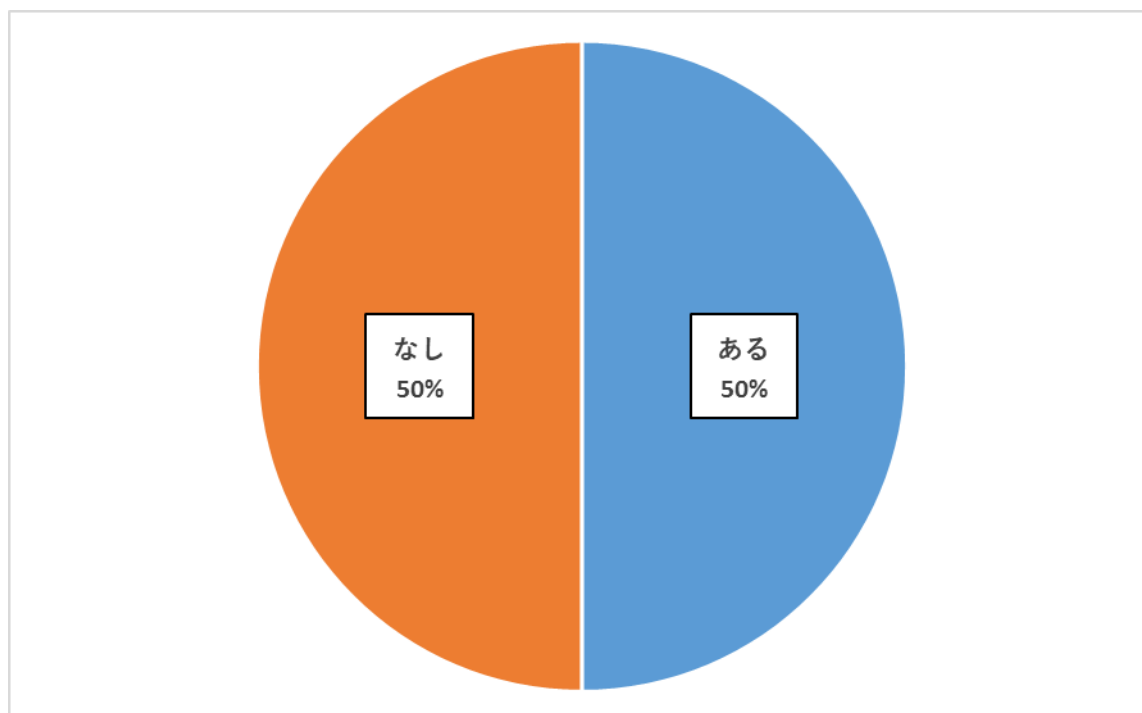
(3) どの文化部の顧問をしていますか。



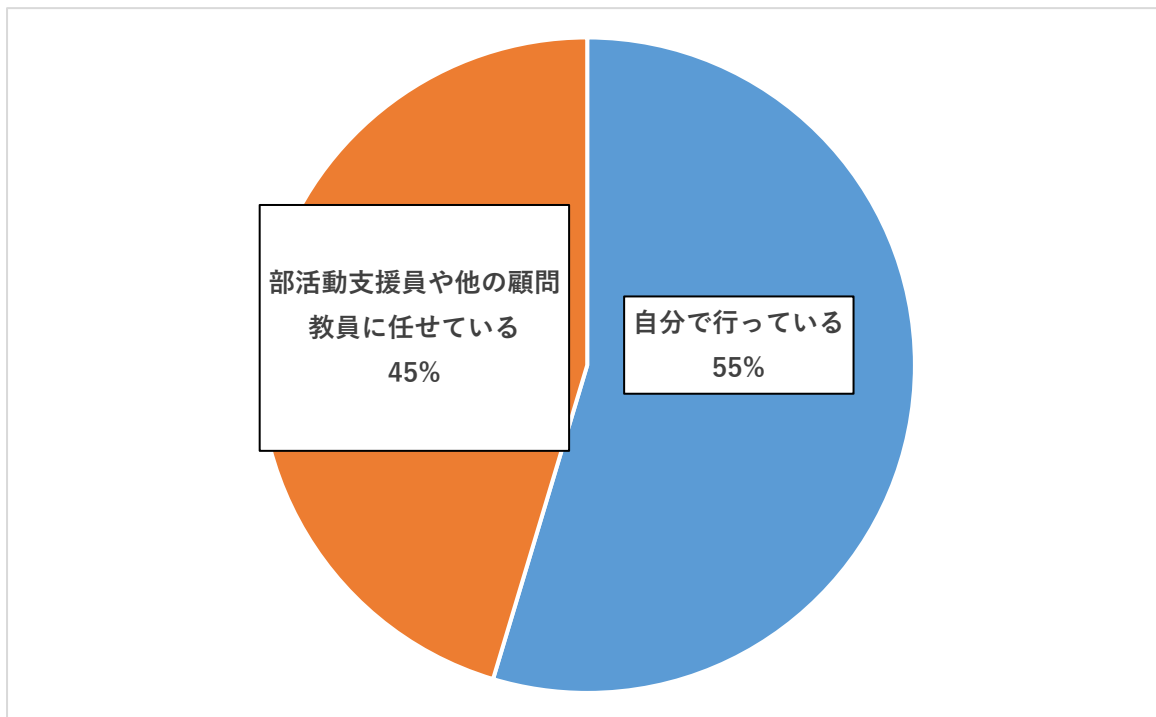
○「その他」で回答した部活動

アコースティックギター部、煎茶部、農業部

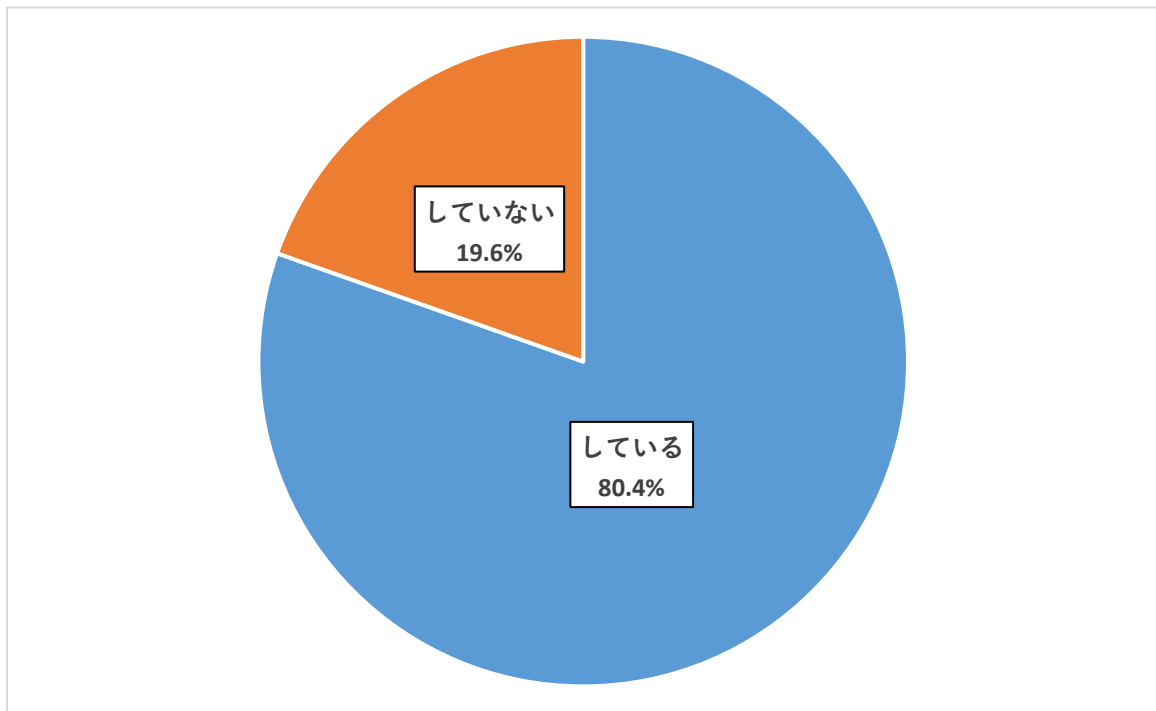
(4) 顧問をしている部活動の種目の経験がありますか。



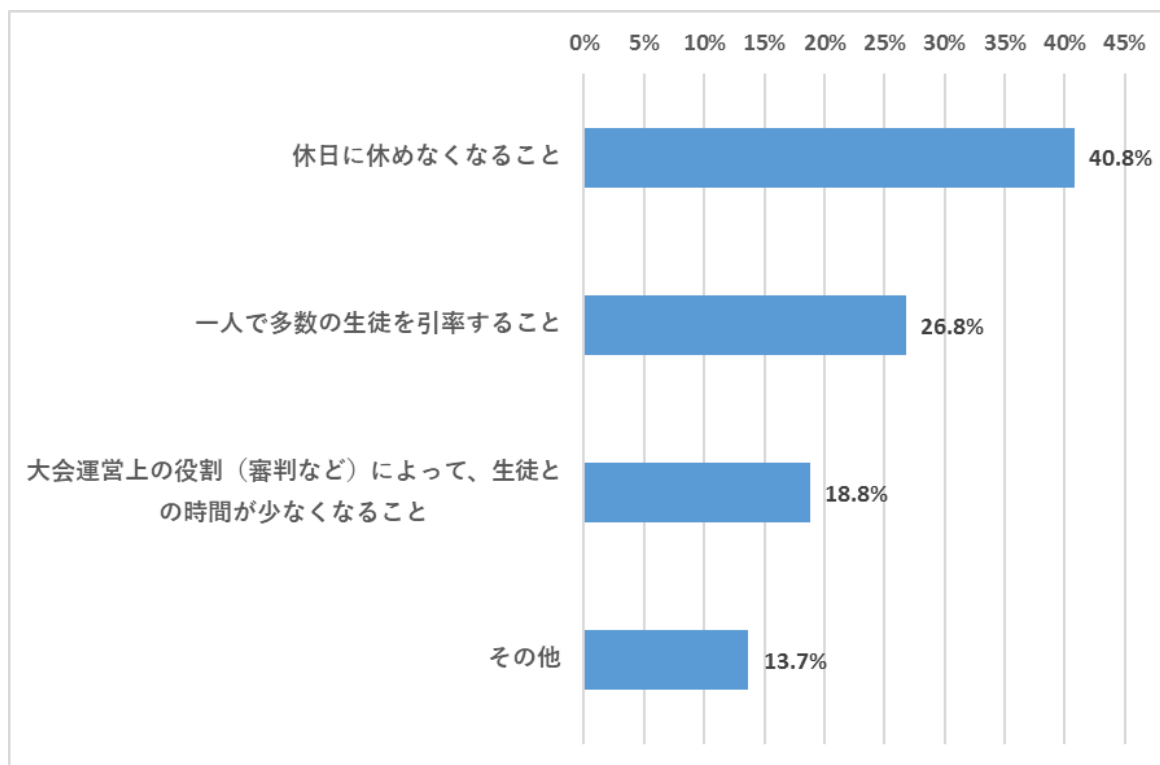
(5) 顧問をしている部活動の技術指導は誰が行っていますか。



(6) 練習試合や大会等の引率を、ご自身で行っていますか。



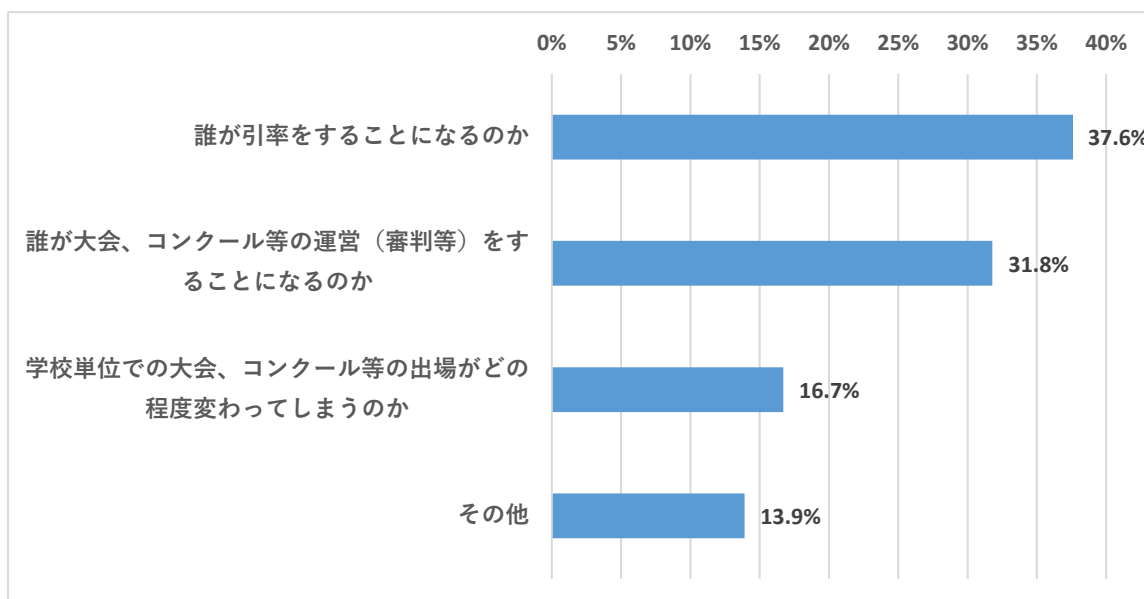
(7) 引率の際に苦勞していることがあれば教えてください。(複数回答可)



○「その他」の回答

- ・引率をしても、お金がでないこと
- ・時間通りに帰宅することができないこと
- ・未経験の競技の審判をしなければいけない精神的な負担があること
- ・保護者通知の作成や行き方などの検索にも時間を取られること
- ・技術がないのでおしえられない
- ・特になし(年に数回であるため)

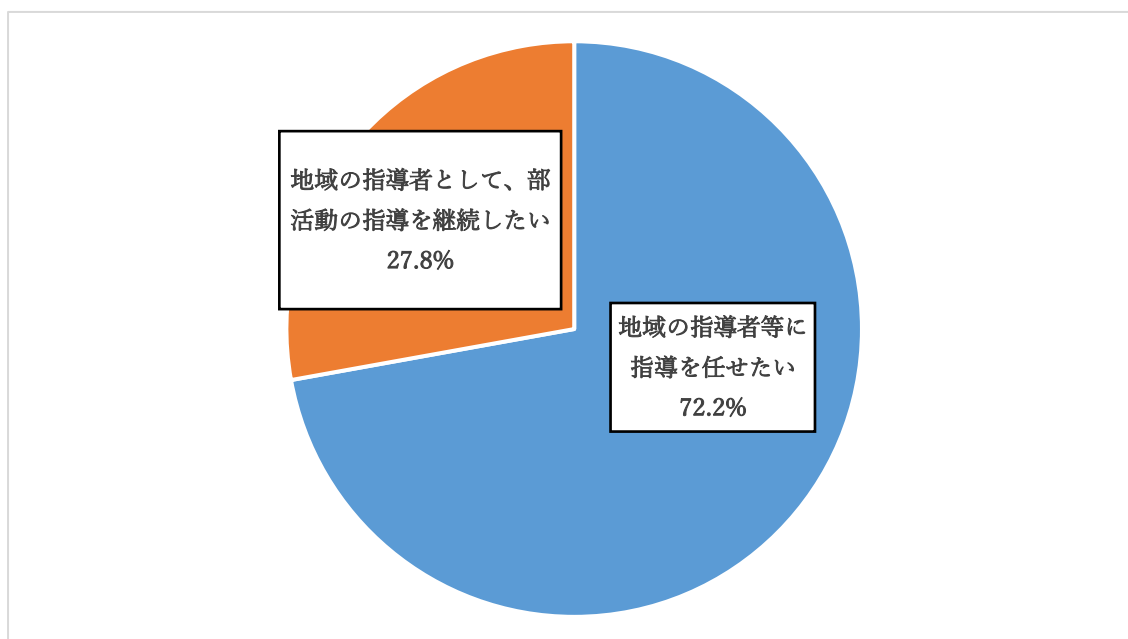
(8) 大会、コンクール等について、地域移行後の運営や引率等に関して、懸念されることがありましたら教えてください。(複数回答可)



○「その他」の主な回答を抜粋

- ・今後の部活動運営が不透明で不安であること
- ・生徒への生活指導は教員がやるべきなのか
- ・土日は地域の方に指導を任せたのに、平日だけ顧問教員で指導するのがやりにくい
- ・会場校でのトラブルの対応はどうなるのか
- ・誰が大会申し込み等を行うのか
- ・大会実績などは学校側に逐一共有できるのか 高校の進路に関わるので活動履歴や成績を漏れなく共有することは可能なのか

(9) 現在、顧問をしている部活動に関して、今後の意向はどちらですか。



(2) 令和5年6月実施分 トライアル事業に関するアンケート

部活動地域移行トライアル事業に関する アンケート集計結果

令和5年6月

世田谷区

I 調査概要

1 調査目的

中学校部活動地域移行に係るトライアル事業の実施から約1か月もしくは2か月が経過し、事業の実施状況や課題等を把握し、今後の検討の参考にするため、事業の当事者である生徒及び顧問教員、指導者から意見をうかがう。

2 調査対象

以下の部活動で、生徒/顧問教員/指導者を対象とする。

- (1) 東深沢中学校体力向上部
- (2) 船橋希望中学校ソフトテニス部
- (3) 砧中学校陸上競技部
- (4) 船橋希望中学校陸上競技部

※演劇部合同部活動については、6月から事業が開始するため、7月もしくは8月にアンケートを実施する予定。

3 調査内容

(1) 生徒対象

- ① トライアル事業の満足度について
- ② 指導者について

活動日によって指導者が変わることで、指導者とのコミュニケーション

- ③ 今後の部活動地域移行について
- ④ 移動について
- ⑤ 合同部活動について

※④と⑤は、砧中学校陸上競技部及び船橋希望中学校陸上競技部のみの内容

(2) 顧問教員

- ① 外部指導者との連携について
- ② 教員の負担軽減について

トライアル事業が負担軽減につながっているか、学校業務に変化はあったか

- ③ 今後の部活動地域移行について

(3) 指導者

- ① 学校との連携について
- ② 教員の負担軽減について
- ③ 大会の引率について

※③は、船橋希望中学校ソフトテニス部のみの内容

4 調査時期

令和5年6月14日（水）～6月22日（木）

5 回答方法

(1) 生徒

一人一台配付されている端末を利用し、Microsoft Forms によるオンライン回答。顧問教員からロイロノート、または Teams 内の部活動チームへ URL 投稿によりアンケートを実施。

(2) 顧問教員

Microsoft Forms によるオンライン回答。URL 等を読み取り、アンケートを実施。

(3) 指導者

Microsoft Forms によるオンライン回答。委託先から、各指導者へ URL 等を送付し、アンケートを実施。

6 回答数

(1) 生徒

部活動名	回答数/部員数
東深沢中学校体力向上部	38人/45人
船橋希望中学校ソフトテニス部	20人/41人
砧中学校陸上競技部	37人/45人
船橋希望中学校陸上競技部	45人/51人

(2) 顧問教員

部活動名	回答数
東深沢中学校体力向上部	1人
船橋希望中学校ソフトテニス部	1人
砧中学校陸上競技部	2人
船橋希望中学校陸上競技部	1人

(3) 指導者

部活動名	回答数
東深沢中学校体力向上部	7人
船橋希望中学校ソフトテニス部	2人
砧中学校陸上競技部	6人
船橋希望中学校陸上競技部	

7 留意点

アンケート調査を集計した数値は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。そのため、選択肢の数値(%)をすべて合計しても、四捨五入の関係で、100%にならないことがある。

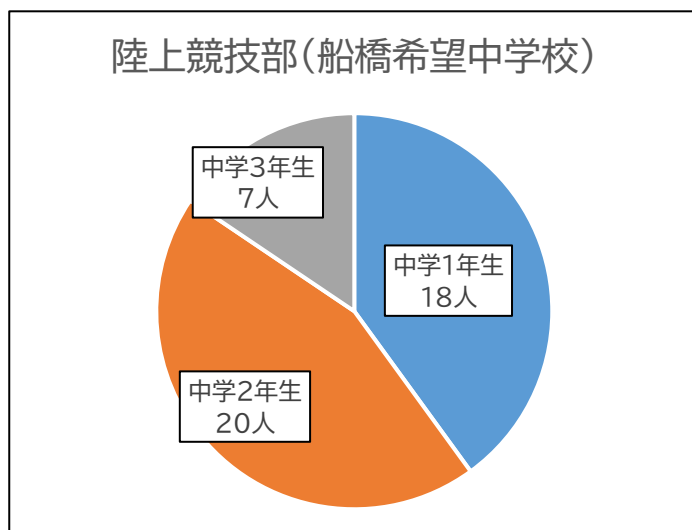
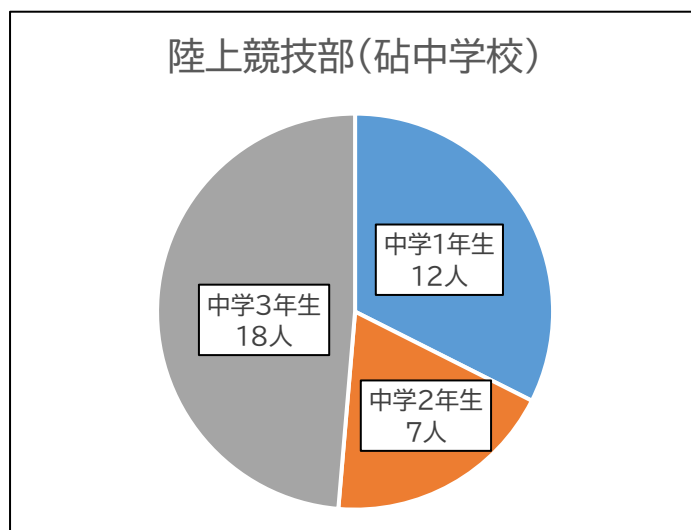
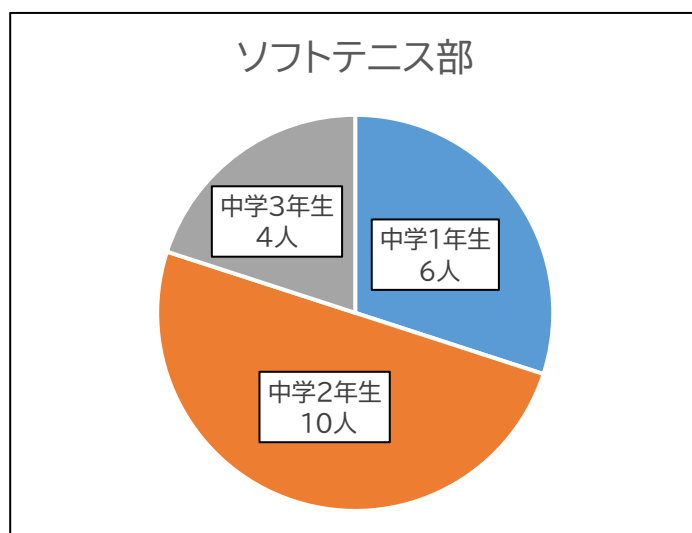
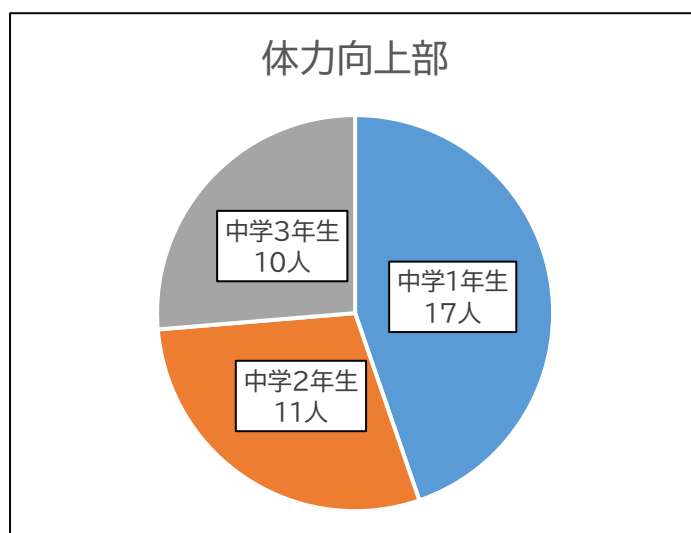
8 集計結果

- 1. 生徒 P 4 ~ 2 1
- 2. 顧問教員 P 2 2 ~ 2 6
- 3. 指導者 P 2 7 ~ 3 0

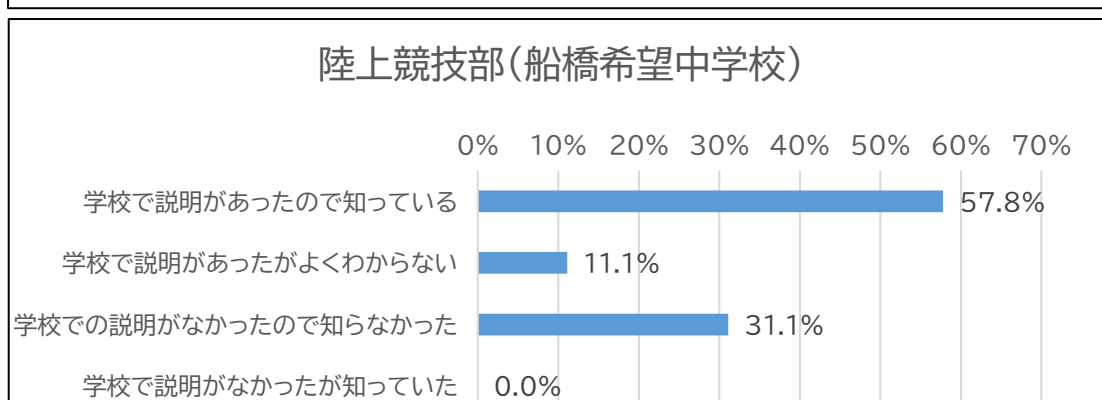
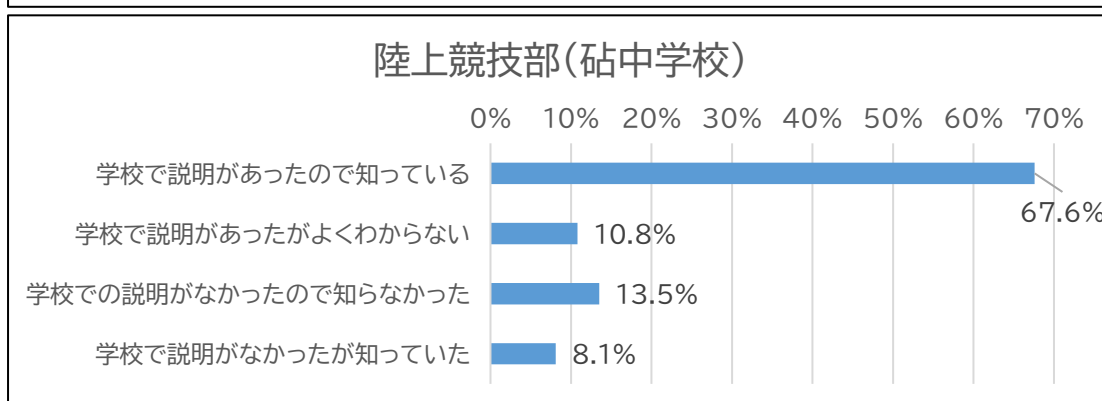
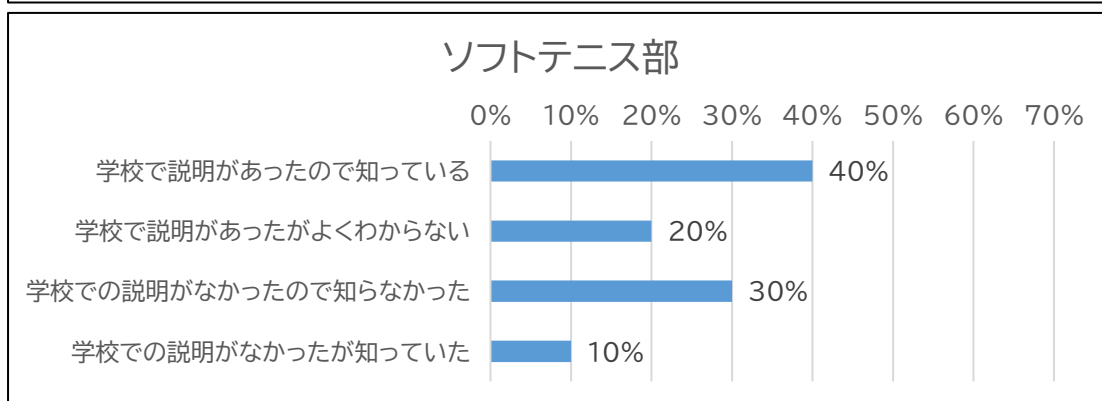
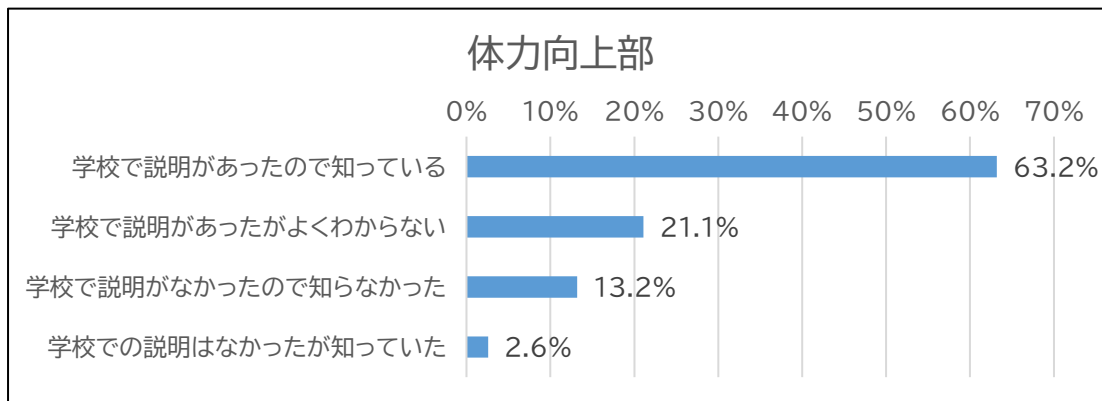
Ⅱ 調査結果

1. 生徒対象 アンケート結果

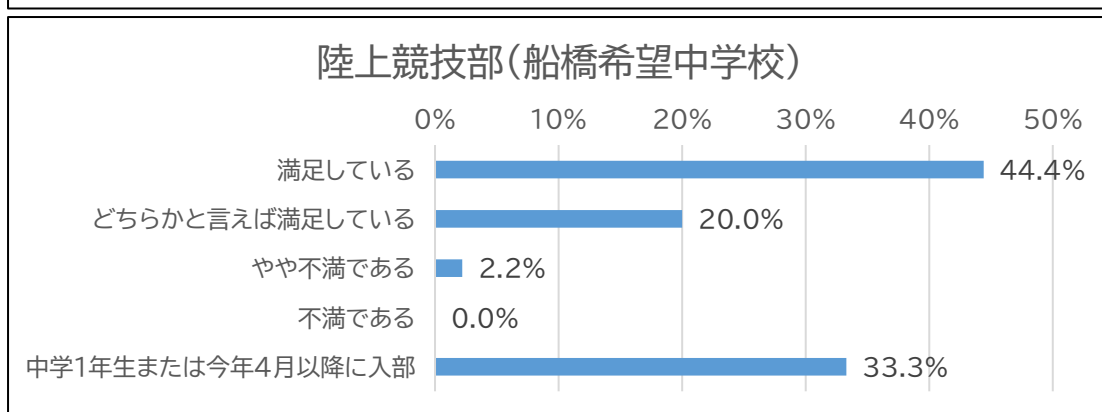
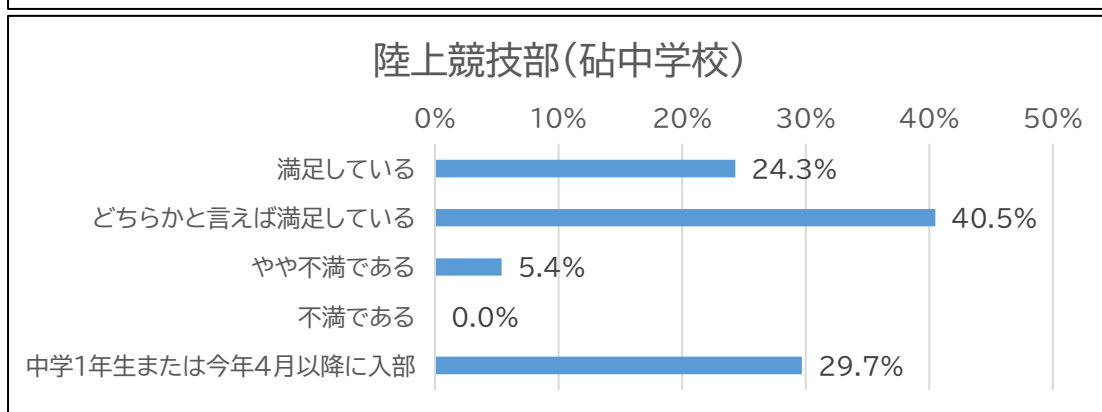
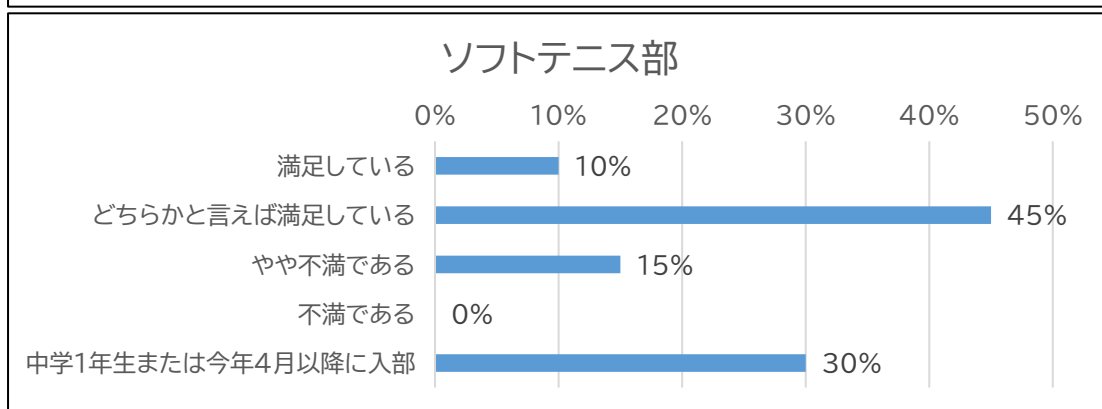
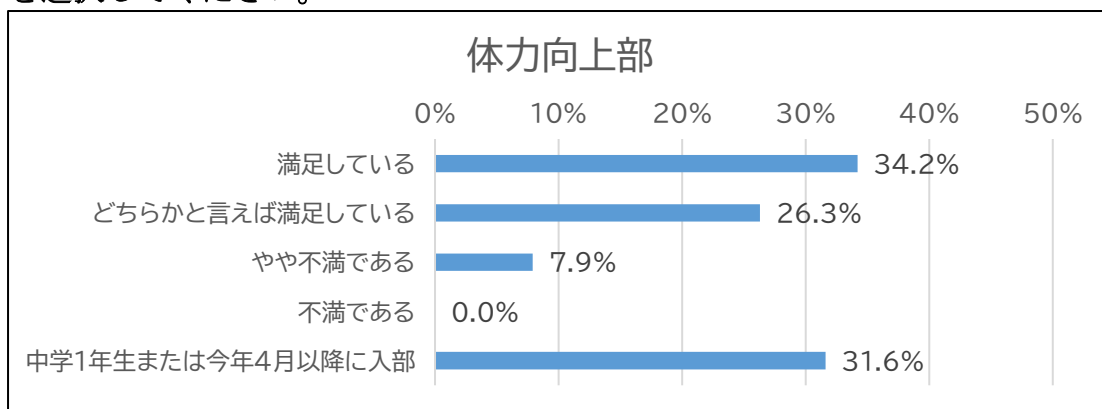
質問1. あなたは何年生ですか.



質問2. 今年の5月から東深沢スポーツ・文化クラブ/公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団の協力により、部活動の地域移行に向けたトライアル事業を行っていますが、その対象部活となっていることを知っていますか。



質問3. 昨年度の部活動と比較した場合、トライアル事業開始後の部活動に満足していますか。中学1年生と今年4月以降に入部した生徒は、「中学1年生または今年4月以降に入部」を選択してください。



質問4. 質問3で「満足している」または「どちらかと言えば満足している」と回答した理由を記入してください。

■体力向上部

- ・楽しいから。
- ・新しいことができるから。
- ・専門的なことを学べるから。
- ・毎回違うスポーツをやっているから。
- ・地域の方との関わりを持てるから。
- ・いろいろなスポーツを教える人がいて面白いから。
- ・地域の人が色々な遊びを考えて、教えてくれるから。

■ソフトテニス部

- ・コーチ直々に教えてもらえるから。今までより、確実に成長できたと思えたから。
- ・的確な指導を受けられるから。
- ・自分の打ち方の悪いところを専門的に教えてくれるから。
- ・去年より充実して、部活動ができているから。

■陸上競技部（砧中学校）

- ・新たな発見ができるから。
- ・トラックを使って色々な方々から教えていただけるこの環境は陸上に専念するにはとてもいい環境だと思うし、他校との関わりが増えるから。
- ・競技場でできるのが砂場の校庭でやるのとは違い、大会の練習に繋がるから。
- ・少し時間が遅くなるのがあんまり。家から距離があるので帰りが遅くなってしまっても、練習できるのは満足している。
- ・船橋希望中の生徒との会話も増え、また他の学校がやっていないことを体験出来るから。
- ・他校の生徒と一緒に練習をすることで常にライバル心を持ち、大会で良い記録が出そうになるから。
- ・質の高い練習がしやすくなったが、回数が少ないため、あまり効果を感じることができない。

■陸上競技部（船橋希望中学校）

- ・前より色々なことができ設備が充実していていいと思った。
- ・実際の大会の場所で練習できるから。
- ・普段学校ではスパイクを履いたりできないですが、競技場練習があることで、スパイクを履いたり普段できないような練習ができるので、満足している。

質問5. 質問3で「やや不満である」または「不満である」と回答した理由を記入してください。

■体力向上部

- ・専門的な技術を教えてもらえない。
- ・地域の方が来てくれても、関わりが少なく、以前と特に何も変わっていないから。

■ソフトテニス部

- ・コーチと顧問で言ってることが違っていたり、コーチそれぞれの教え方に少し不満を感じることもある。でも、上達が早いから別にいいかもしれない。

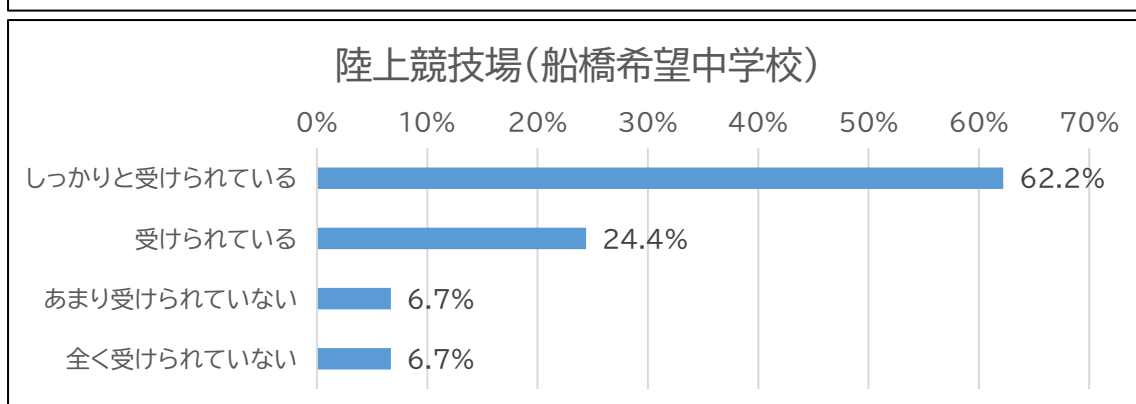
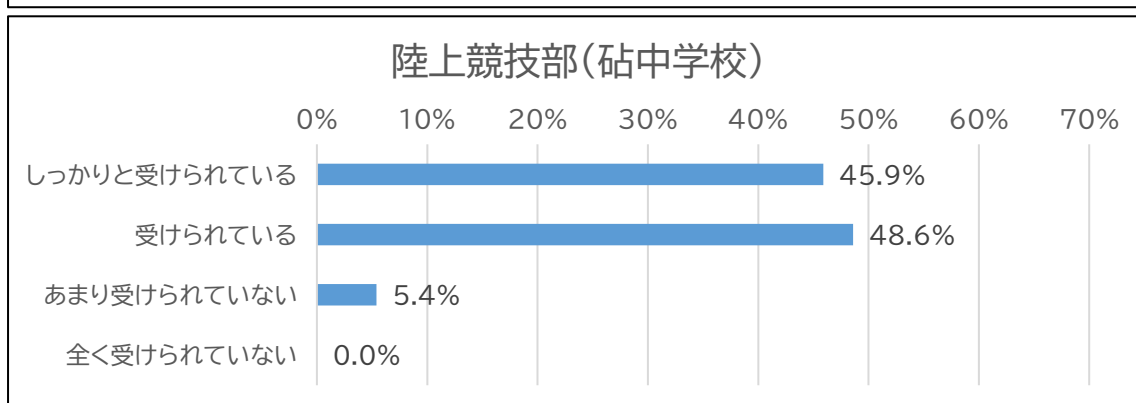
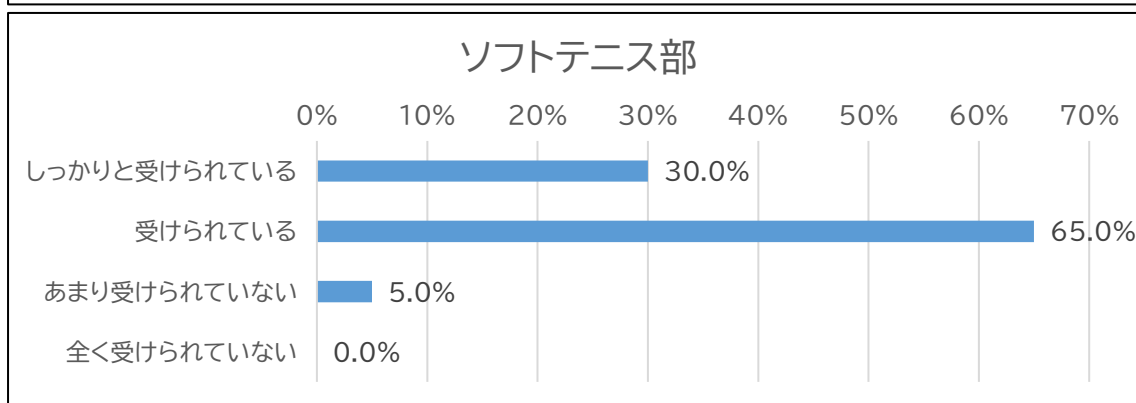
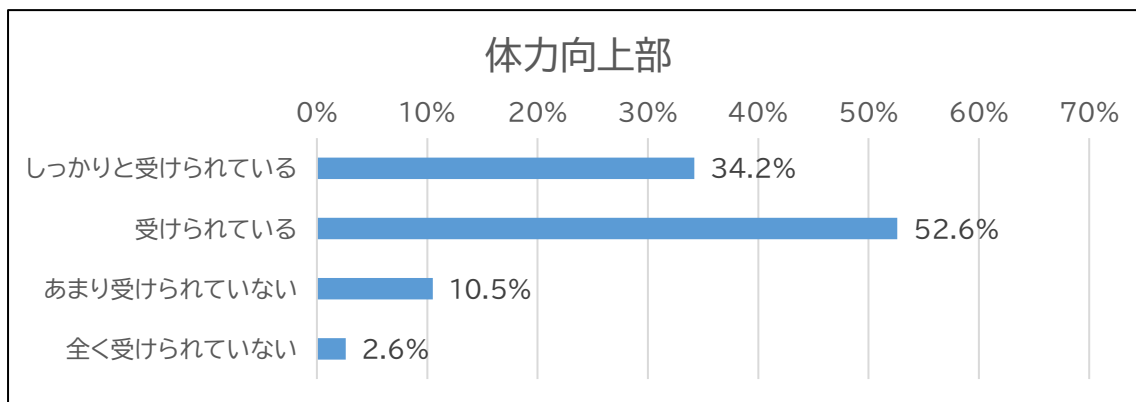
■陸上競技部（砧中学校）

- ・部活の終わる時間が遅くなり、塾に間に合わないため、メニューを最後まで終わらせずに帰らなければならないことがある。
- ・他の学校のアップとかをしないといけないから。他の学校の人と仲良くない。

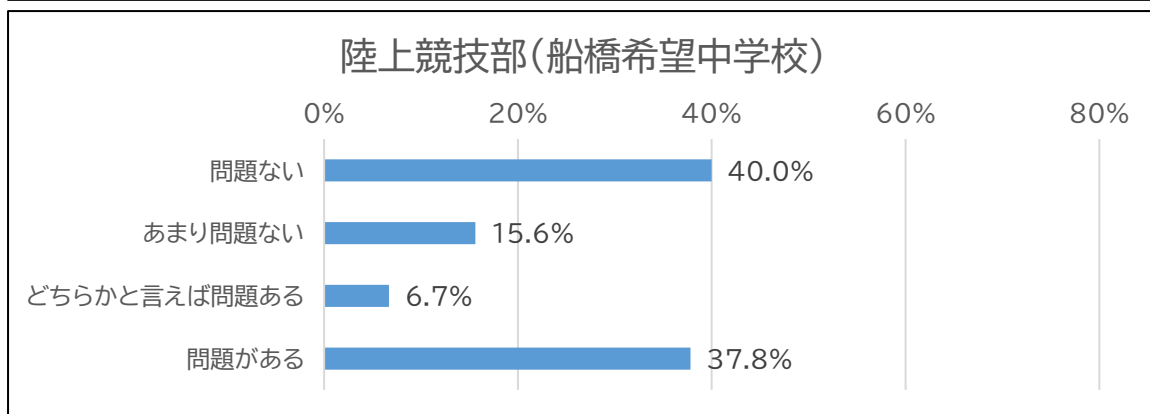
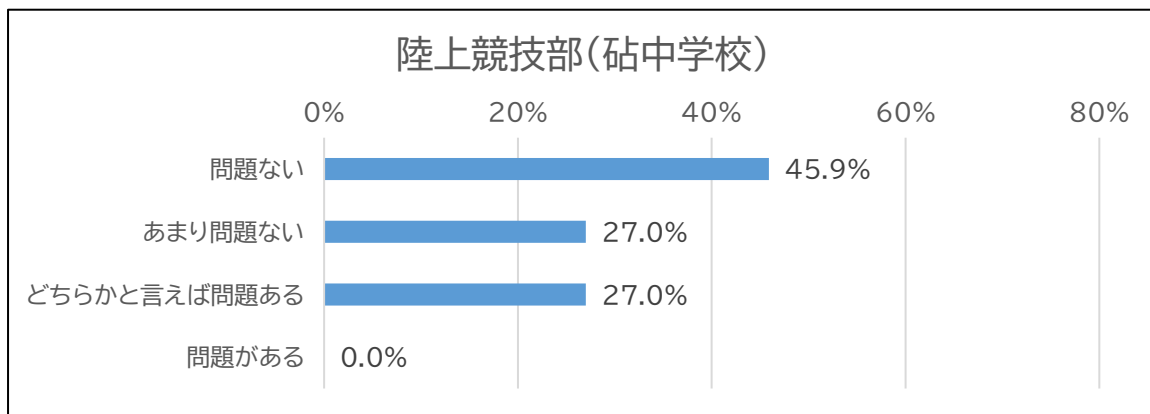
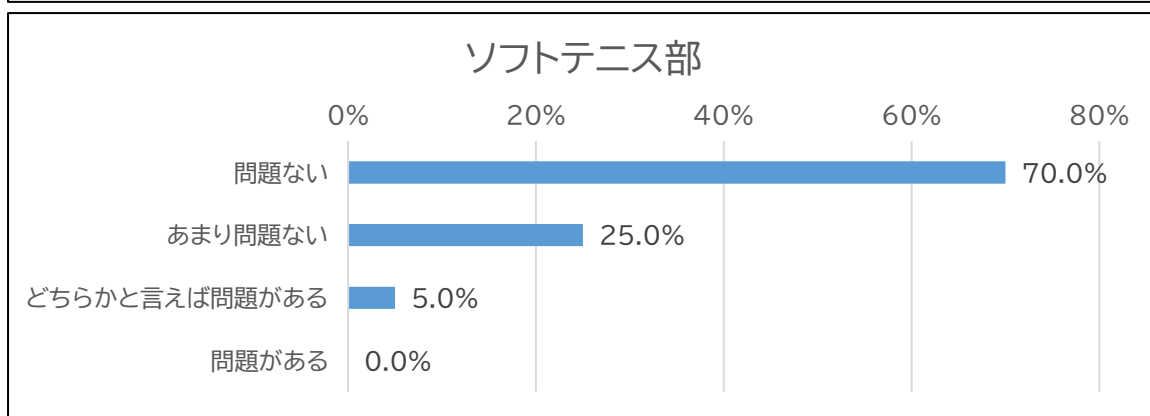
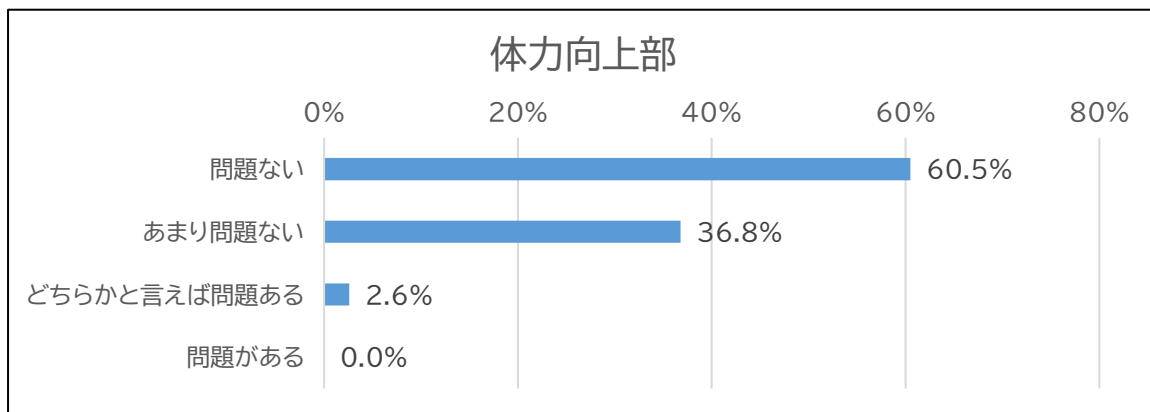
■陸上競技部（船橋希望中学校）

- ・場所が遠いから6時間授業の後に歩いて行くのが大変。

質問6. トライアル事業では、より満足のいく指導が受けられていますか。



質問 7. 部活動を地域移行した場合には、活動日によっては指導者が代わる場合がありますが、指導者が活動日によって代わることについてどう思いますか。



質問8. 質問7で「問題ない」または「あまり問題ない」と回答した理由を記入してください。

■体力向上部

- ・親切に教えてもらえるなら問題ない。
- ・色々な方との関わりを持つことができるから。色々な人から色々な知識を得られるから。
- ・指導者が変わってもやる内容はあんま変わらないから。
- ・どんな指導者でも面白いから。

■ソフトテニス部

- ・色々なコーチの指導を受けられるのはいいことだと思うから。
- ・逆に変わる分様々な種類の練習が受けられるから。
- ・1人にずーっと教えられててもやる気を無くすことがあるから。
- ・みんな優しいから

■陸上競技部（砧中学校）

- ・指導者が変わると少し緊張はしますが、練習をする上ではあまり問題ないと思った。
- ・その指導者によって、知識も考え方、教え方も違って、色々なことを学べると思う。
- ・色々な先生と接することで状況を理解することができ、人生で初めて会った人とコミュニケーションが取れるから。

■陸上競技部（船橋希望中学校）

- ・自分にあった指導者を見つけることができるから。
- ・陸上のことについてよく分かっていて、丁寧に教えてくれる方ならば誰でも良いから。

質問9. 質問7で「どちらかと言えば問題ある」または「問題がある」と回答した理由を記入してください。

■ソフトテニス部

- ・コーチによって基本的な打ち方をするコーチとほとんど試合形式の練習をするコーチがいるので練習内容が分からなくなる時があるから。

■陸上競技部（砧中学校）

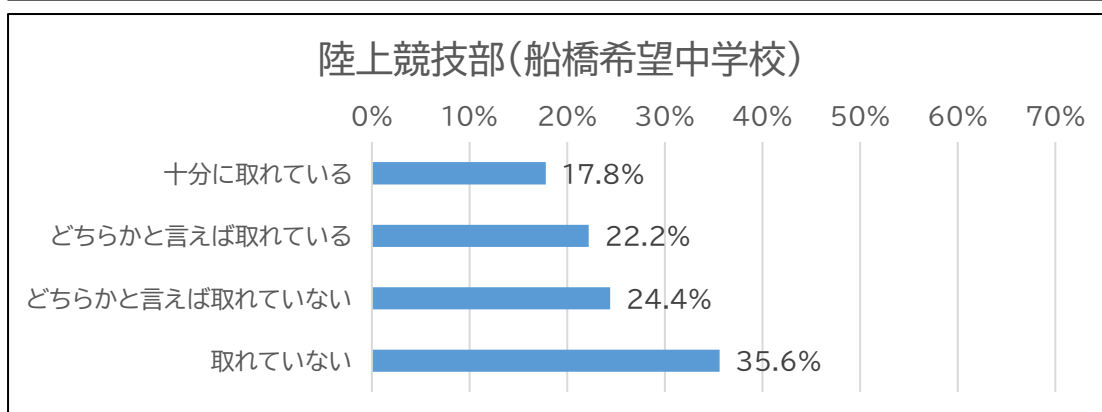
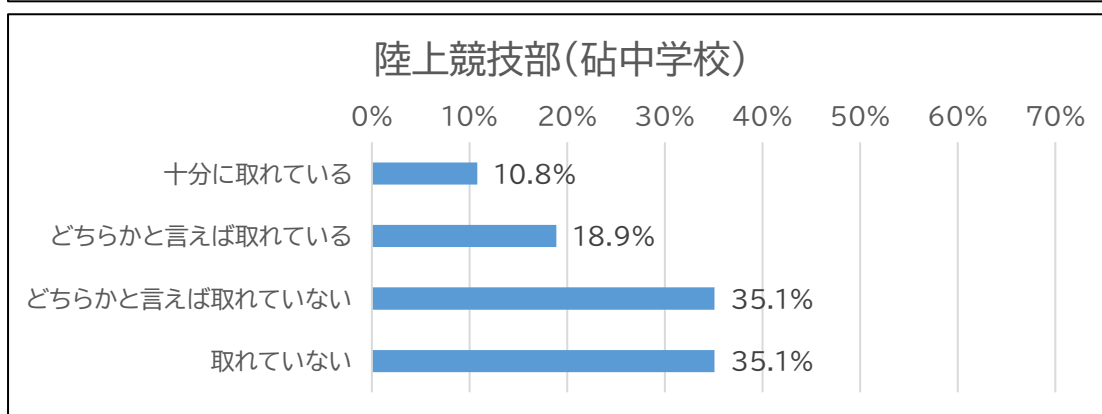
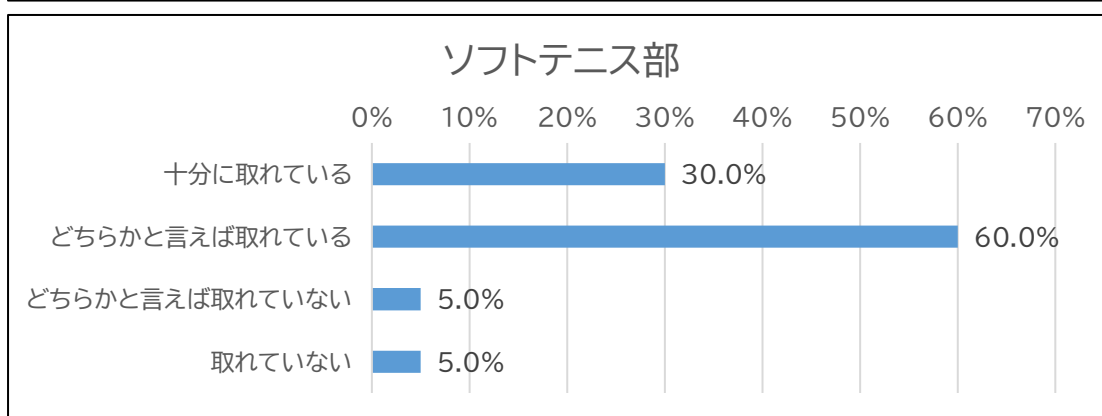
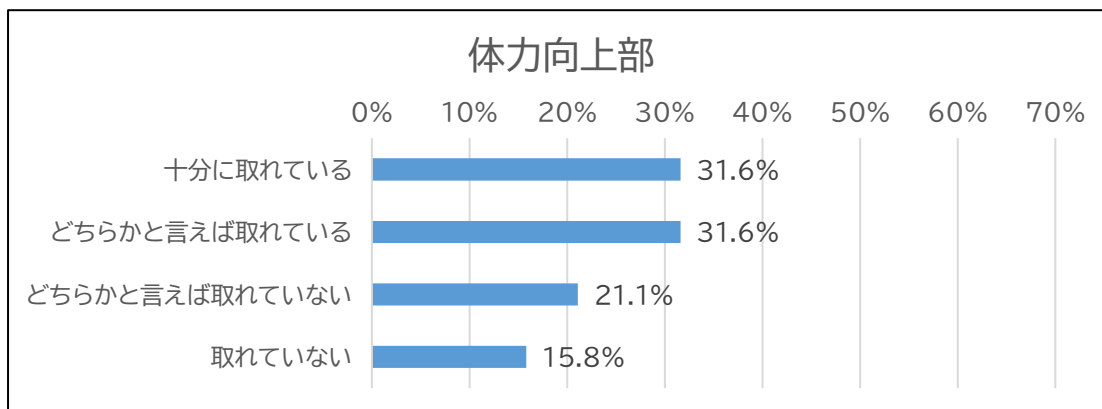
- ・教えてくださる先生によって、言っていることや、ポイントが異なると思ったから。
- ・あんまり馴染めないし気まずい。
- ・同じ指導者から受ける方が一貫性があるから。

■陸上競技部（船橋希望中学校）

- ・今の先生がいいから。
- ・教え方にも個人差があるし考え方にも差があるから。

質問10. 学校の先生以外の外部の指導者とはコミュニケーションが取れていますか。

(陸上競技部：合同部活動を一緒に指導する他校の先生とはコミュニケーションが取れていますか。)



質問 1 1. 質問 1 0 で選んだ理由について、どのような時にそのように思ったのか、記入してください。

■ 体力向上部

「十分に取れている」または「どちらかと言えば取れている」と選んだ理由

- ・「大丈夫？」とか言ってくれたから。
- ・挨拶ができているから。
- ・相手から話しかけてくれる

「どちらかと言えば取れていない」または「取れていない」と選んだ理由

- ・説明を聞いているだけで、話したことがないから

■ ソフトテニス部

「十分に取れている」または「どちらかと言えば取れている」と選んだ理由

- ・指導を受ける時にコミュニケーションをとるから。
- ・コーチがよく話しかけてくれるから。
- ・コーチは私たちの意見を取り入れてくれることがあるから。

「どちらかと言えば取れていない」または「取れていない」と選んだ理由

- ・技術も年齢も上だから話しかけづらい。教えられたり指導されたりするのがとても苦手だから少しストレスになったり、理解能力がないから分からない時、聞きづらい。

■ 陸上競技部（砦中学校）

「十分に取れている」または「どちらかと言えば取れている」と選んだ理由

- ・自分は積極的にわからないことやアドバイスを教わりに行くのでそういう時にコミュニケーションが取れているかな、と思いました。
- ・先生がわからないことがあったら後で聞きに来てと言っていたこと。先生が生徒にそのフォーム綺麗だねと言って接していたこと。
- ・個人のアクシデントにちゃんと対応してくれるから。

「どちらかと言えば取れていない」または「取れていない」と選んだ理由

- ・全く話さないわけではないが、まだ関わりが浅く少し話すのに抵抗があるから。
- ・1人の先生対大勢の部員を相手にしているから、コミュニケーションは取れない

■ 陸上競技部（船橋希望中学校）

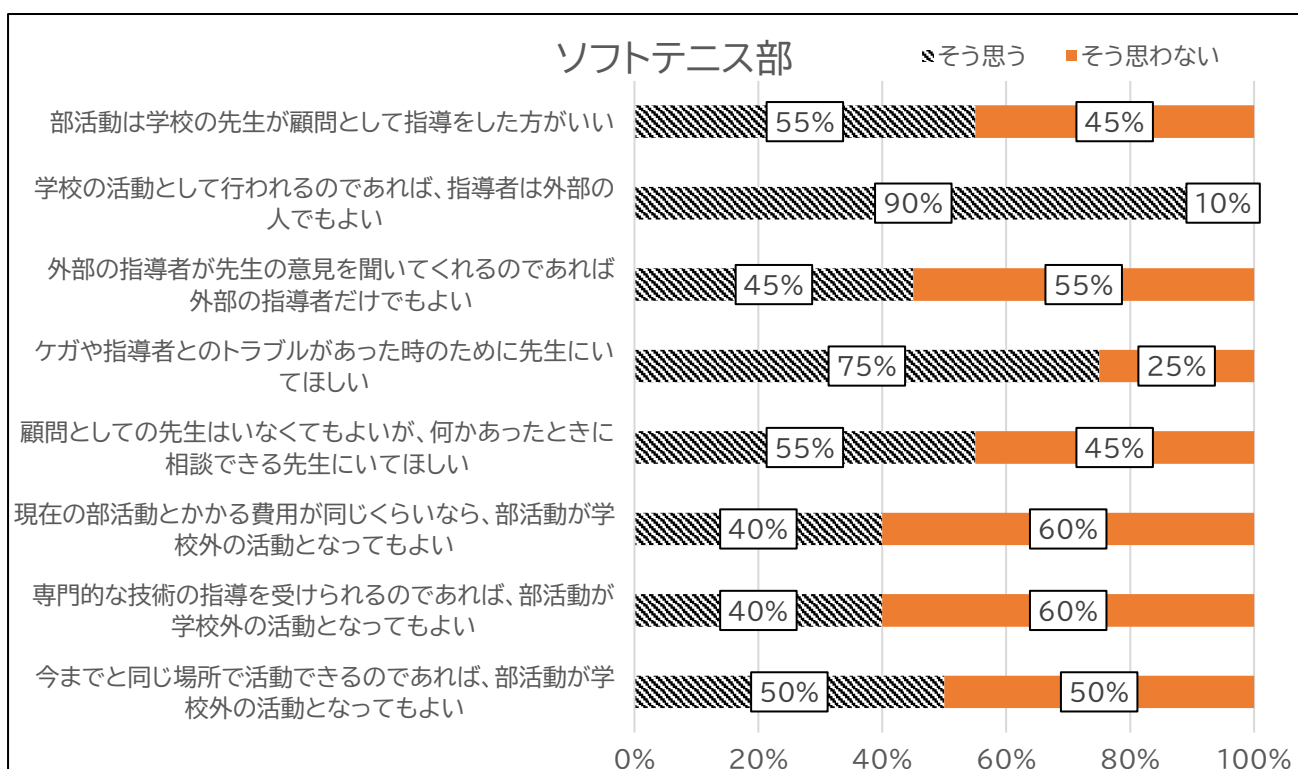
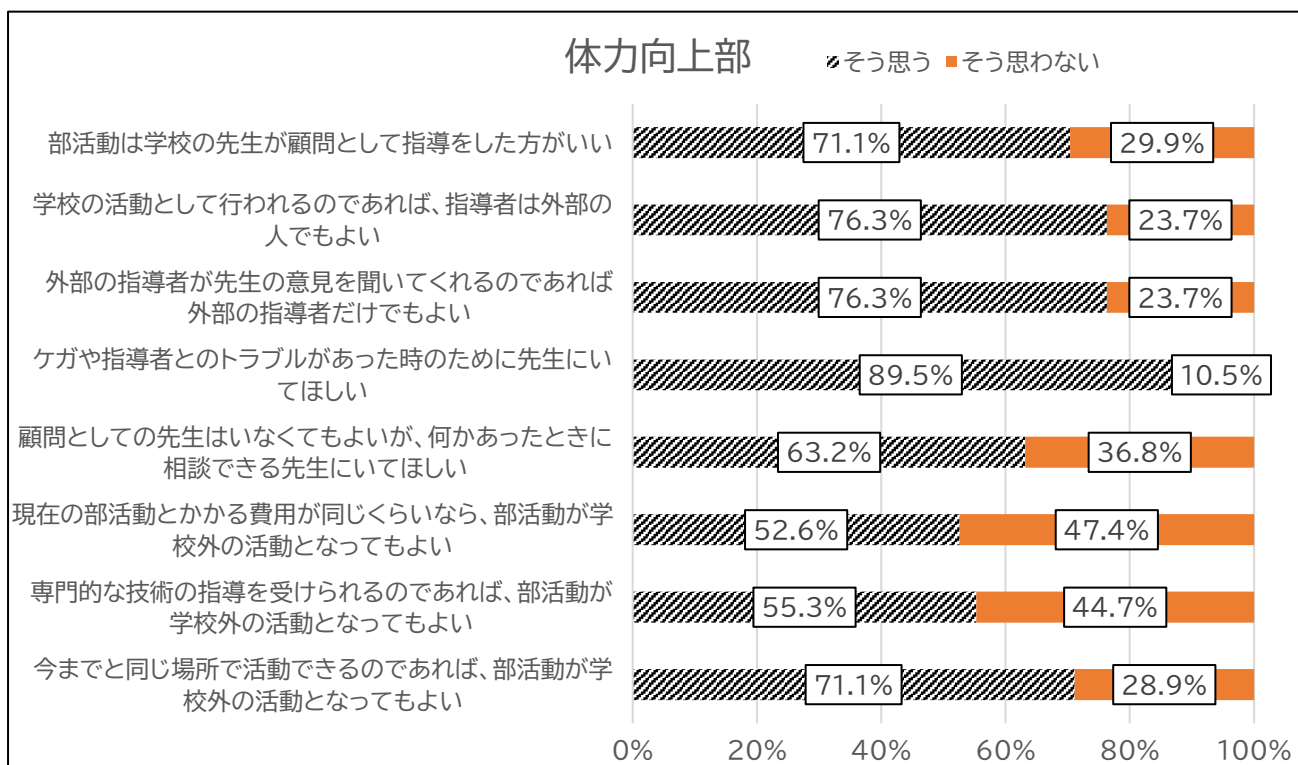
「十分に取れている」または「どちらかと言えば取れている」と選んだ理由

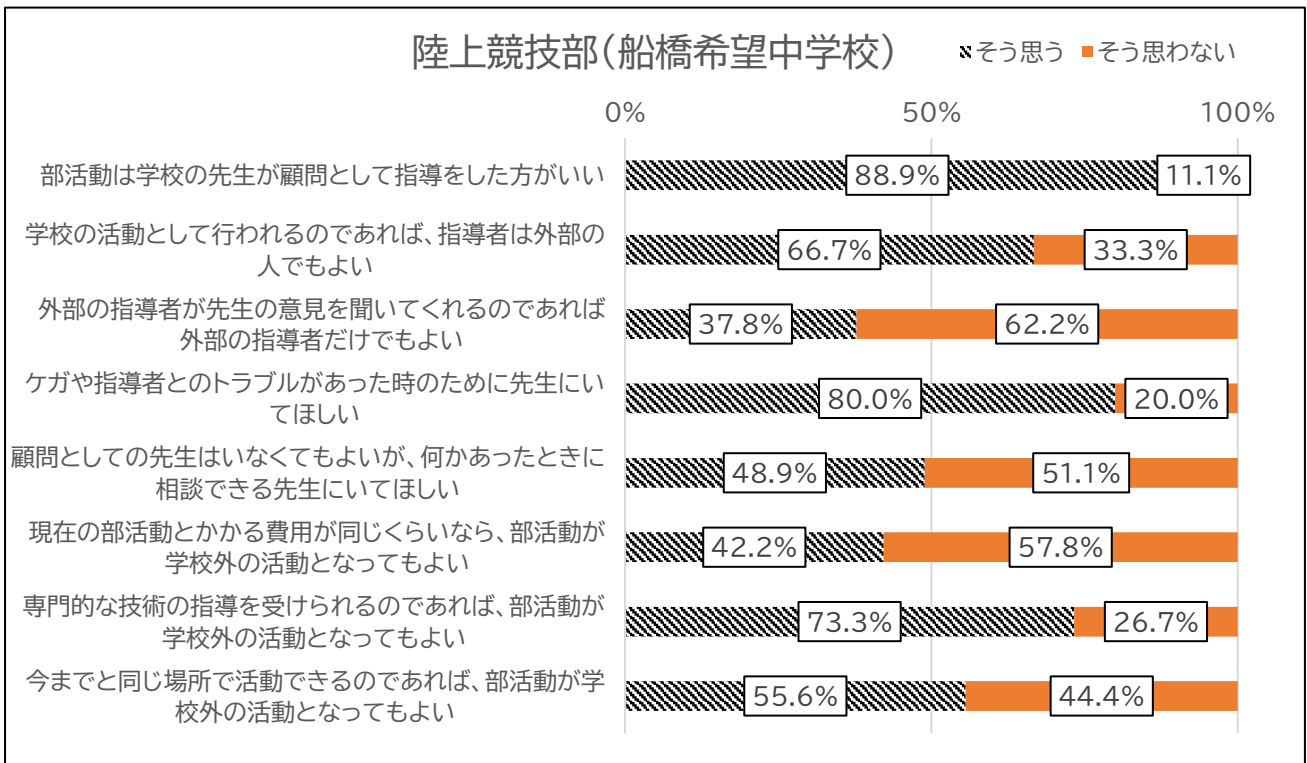
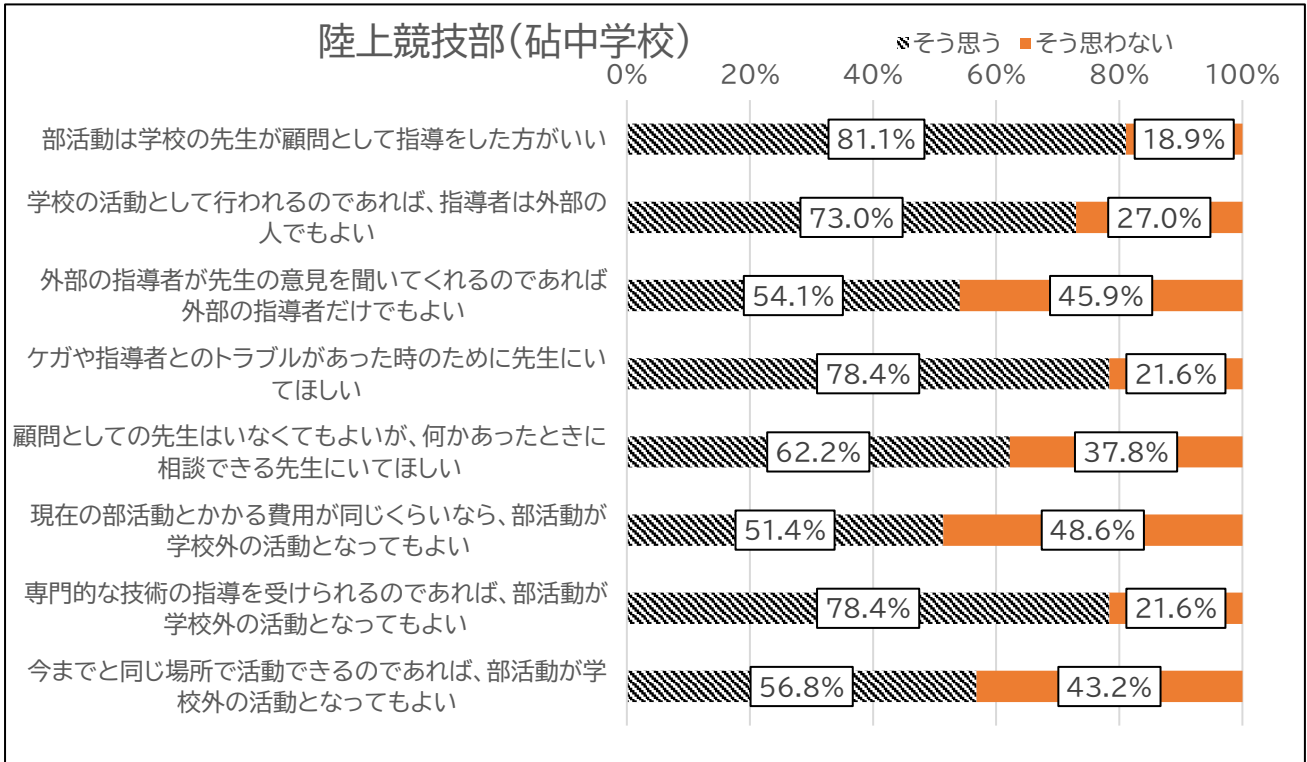
- ・他校の先生が部員全員にアドバイスをくれる、分かれて練習する前にアドバイスをしてくれることがあるから。
- ・種目練習で細かく教えてもらえるから

「どちらかと言えば取れていない」または「取れていない」と選んだ理由

- ・話す機会が少ないのでこれから増やそうと思った

質問 1 2. 今回トライアル事業として、東深沢スポーツ・文化クラブ/公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団に部活動指導をお願いしています。今後、部活動の指導者が外部の方に代わることや、学校外の活動として地域に移行される可能性があることについて、あなたはどのように思いますか。「そう思う」もしくは「そう思わない」のどちらかを選択してください。





質問 1 3. 部活動の地域移行に関する取り組みを行ったなかで、気づいたこと、感じたこと、思ったことを自由に記入してください。

■体力向上部

- ・臨機応変に対処してくれていつも助かってます。前回はハンカチもらえました。いつも本当にありがとうございます。
- ・いろんな先生がいるからたくさんの知識が得られると思う。だけど学校の先生もいて欲しいところもある！
- ・たくさんの人と話せるので、朝から気分が上がる。

■ソフトテニス部

- ・自分の悪い打ち方から良い打ち方への改善の仕方をわかりやすく教えてくれるのがいい。
- ・基礎の練習を1から見直し練習していく中で、自分の中で足りない点に気づくことができた。一つ一つの動きを意識することが大切なことなんだなと思った。

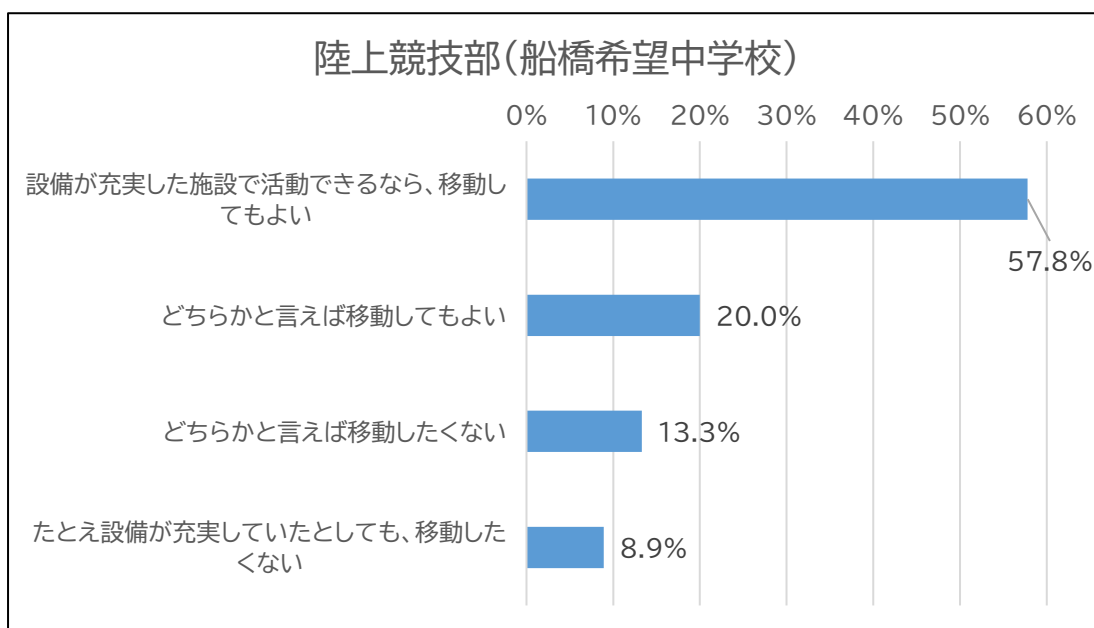
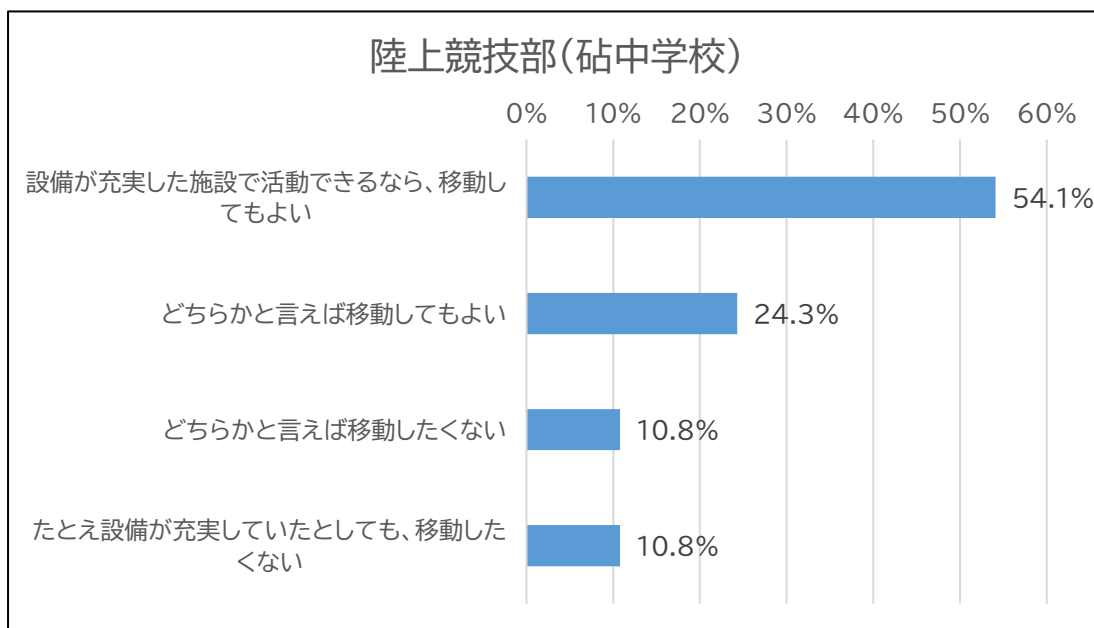
■陸上競技部（砧中学校）

- ・やはり、顧問の先生による指導が一番だと思いました。自分に慣れたアップの方が、物足りなさがない気がしました。
- ・他校の生徒とコミュニケーションをとれることで、練習の幅が広がった。また新しいライバルと戦えて、新鮮な気持ちになった。
- ・他校と練習をすることで少しレベルの高い、質の高い練習になっていると思う。
- ・他校の指導者とはあまりコミュニケーションをする機会がないと思う。
- ・学校以外で練習できるのが楽しい。

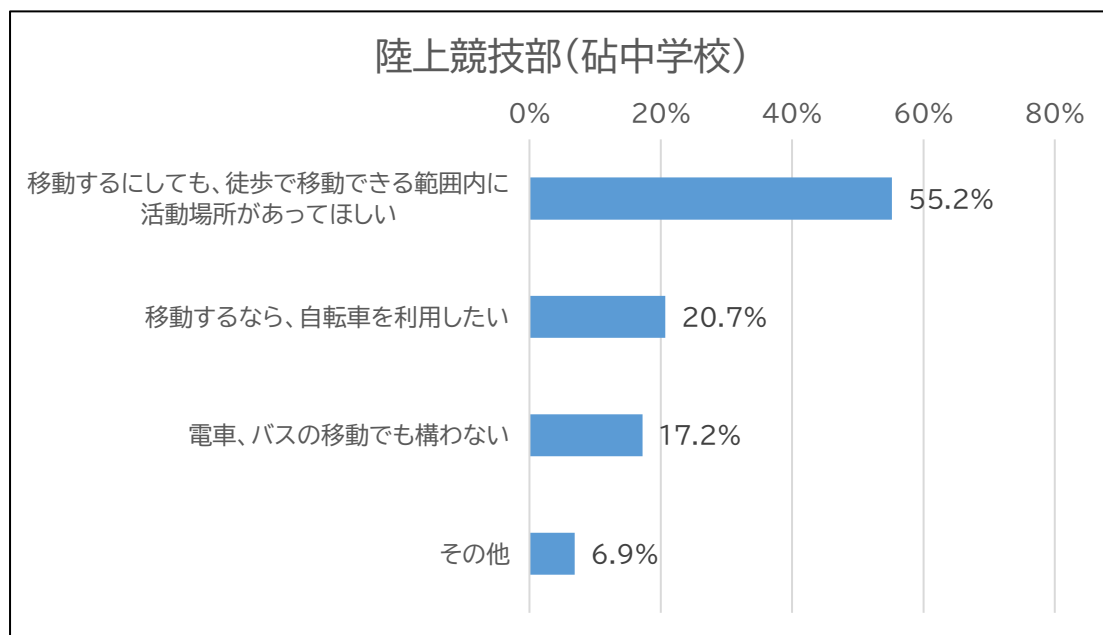
■陸上競技部（船橋希望中学校）

- ・部活動は学校内の行事である時が一番いいと思いました。
- ・家から競技場が遠いのに自転車がダメなのが大変です。
- ・その専門の人に教えてもらえることは滅多にないことなので、一回一回の部活動を大事にしていきたいと思っている。
- ・周りの選手の走りの良いところを見れて、とてもためになる。
- ・いつもとは違う環境での部活はいつもより緊張しました。

質問 1 4. 学校外のグラウンドや施設まで移動することについて、どのように思いますか。

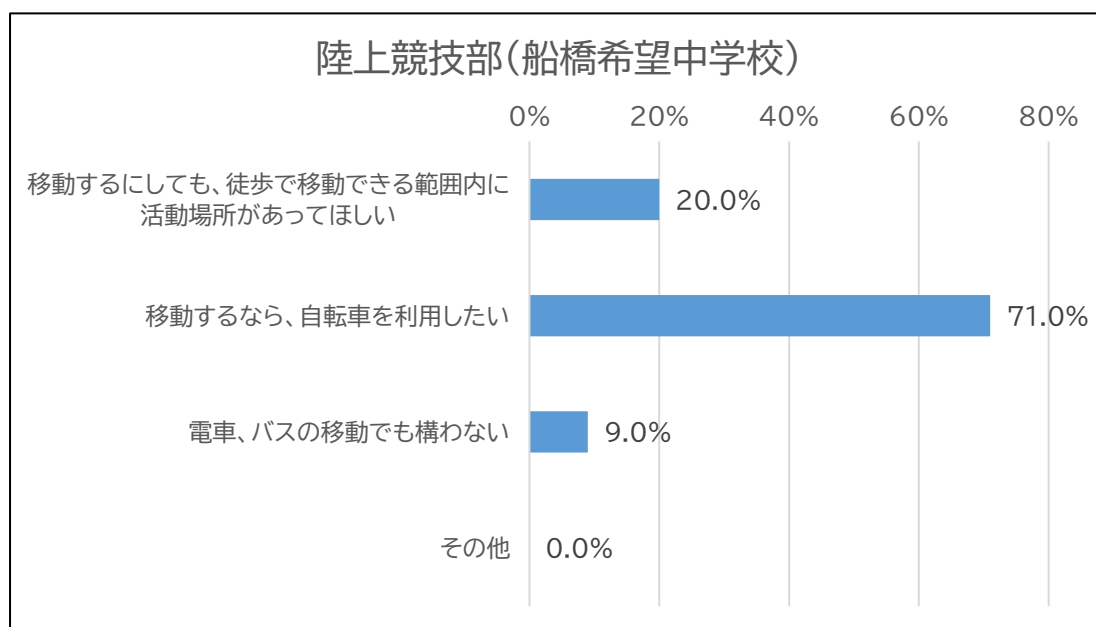


質問15. 質問14で「移動してもよい」または「どちらかと言えば移動してもよい」と回答した方にお聞きします。移動の手段について、どのように思いますか。



(その他の回答)

- ・電車やバスの移動でも良いが、自転車で移動できる場所は自転車を使用したい。
- ・今のままで大丈夫。



質問16. 質問14で「どちらかと言えば移動したくない」または「移動したくない」と回答した理由を記入してください。

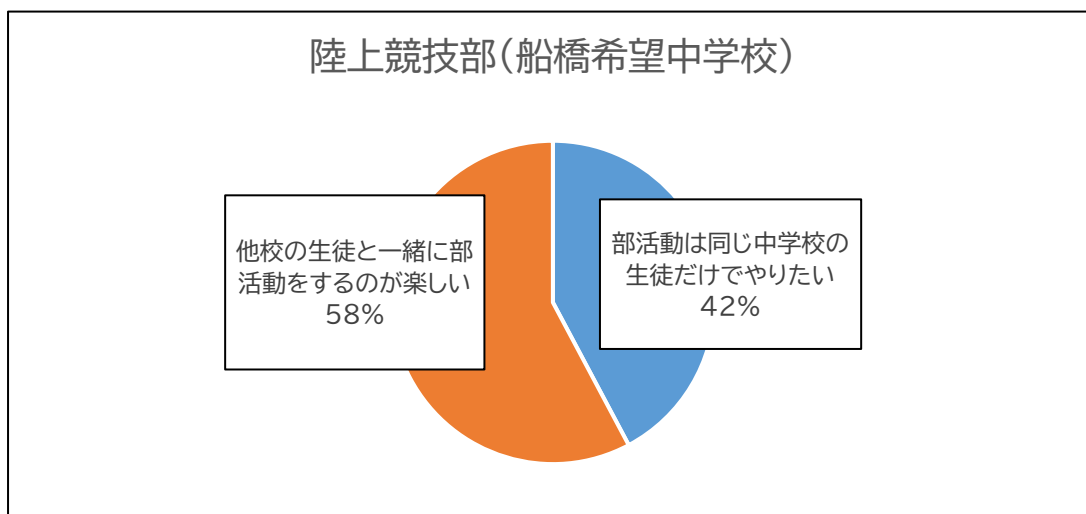
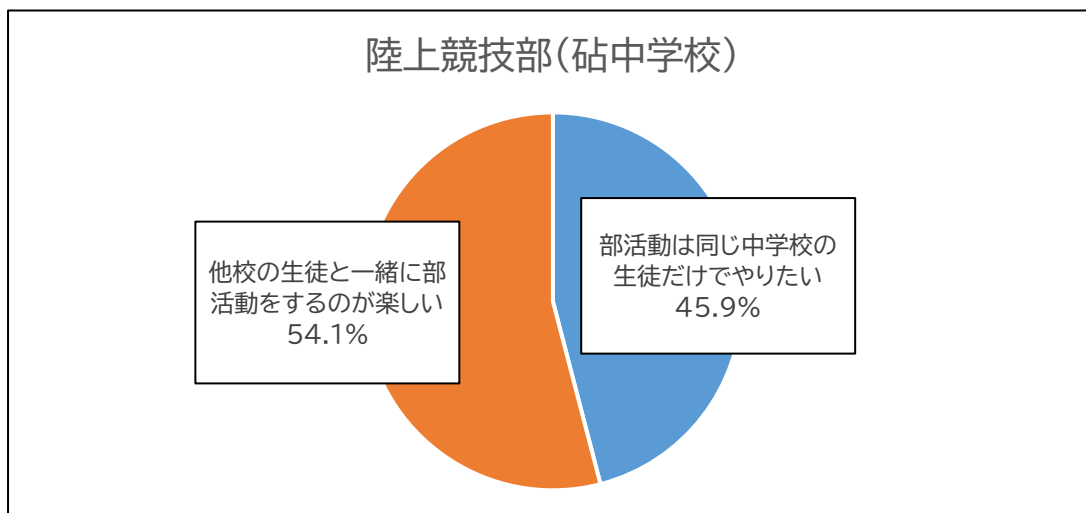
■陸上競技部（砧中学校）

- ・練習時間が遅くなるし学校が違うので練習時間の中に少しのことしかできない。
- ・自分が今まで練習して来た場所の方が慣れていて、楽しい。競技場練習もありですが、やはり、一つの学校で練習したいな、と思いました。
- ・練習が長くなるから。移動で疲れるから。
- ・移動する距離が長ければ長いほど、行くのに時間もかかり、帰る時間も遅くなるため。
(人によって、家が近い人もいれば遠い人もいるから)

■陸上競技部（船橋希望中学校）

- ・遠いし、自転車が禁止だから。
- ・大変だから。練習前に疲れるから。

質問17. 他校の生徒と部活動を行うことについて、どのように思いますか。



質問 18. 質問 17 で「部活動は同じ中学校の生徒だけでやりたい」と回答した理由を記入してください。

■陸上競技部（砧中学校）

- ・人見知りの一年生などは、同じ学校の先輩でさえ慣れていないのに、他の学校の生徒と仲良くなれる気がしないから。
- ・あまり親しみのない人たちなので練習が緊張してしまう。
- ・同じメンバーである中学の友達を全力で応援できるから。

■陸上競技部（船橋希望中学校）

- ・コミュニケーションをとってもうまく会話が続かないから。
- ・自分は知らない人と話したりすることが苦手だから。

質問 19. 質問 17 で「他校の生徒と一緒に部活動をするのが楽しい」と選んだ方にお聞きします。どのような時に楽しいと感じますか。

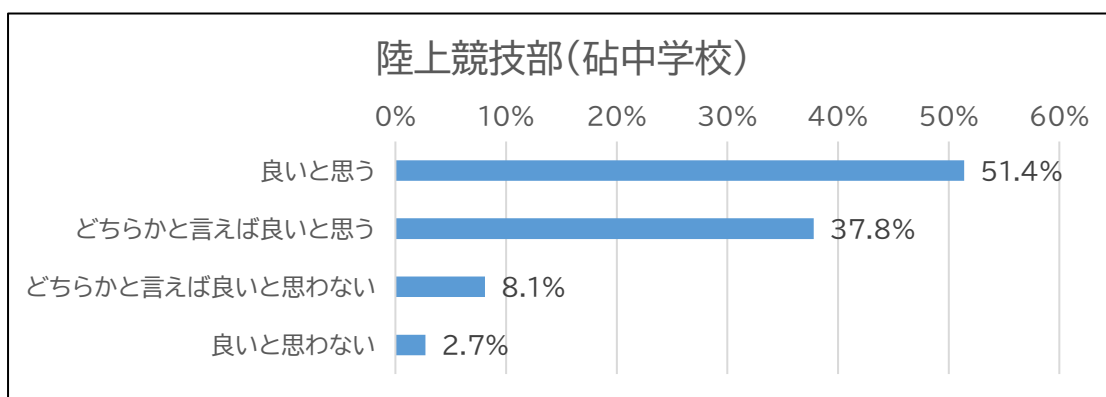
■陸上競技部（砧中学校）

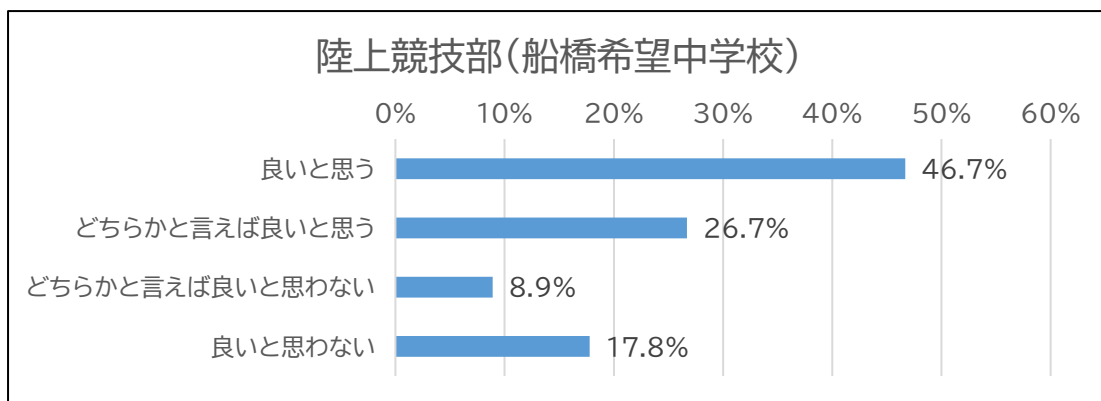
- ・よく大会で会う子と仲良くなれるから。
- ・お互いに実力を高め合えるのでいいと思う。
- ・友達ができるかもだから。

■陸上競技部（船橋希望中学校）

- ・いつもの人だけじゃなくて他の早い人のも見たいから。
- ・知らない人と触れ合うことができる時。
- ・自分たちだけでやるより他の学校の人がどんなことをしているのかや、より多くの人の走り方が見れるから勉強になるし、交流ができて楽しい

質問 20. 他校の先生から部活動の指導を受けることについて、どのように思いますか。





質問 2 1. 質問 2 0 で「良いと思う」または「どちらかと言えば良いと思う」と回答した理由を記入してください。

■陸上競技部 (砧中学校)

- ・他校の生徒と練習をするのはどちらかと言うと反対ですが、経験のある指導者に教わるのは、良い経験になる気がしました。
- ・先生によって教え方が違うので、いろいろ勉強できる。
- ・他校の練習はどのように行っているのかを知って自分の学校と比較することができ、場合によっては専門的なことも学べて、強い学校とだったら、より学べることが多いと思う。

■陸上競技部 (船橋希望中学校)

- ・いつもとちがう指導者に教わることで新しい発見や教えがあるから。
- ・学校によって違うメニューだから、たまには他校のメニューも取り組んでみたいから。

質問 2 2. 質問 2 0 で「どちらかと言えば良いと思わない」または「良いと思わない」と回答した理由を記入してください。

■陸上競技部 (砧中学校)

- ・意見がいろいろあるから。また、大会の前の時だと、学校によってメニューがあるから。
- ・私の学校のやり方を変えたくないから。

■陸上競技部 (船橋希望中学校)

- ・よく知っている先生から指導を受けた方がコミュニケーションがもっととれて、わかりやすく説明してもらえるから。
- ・自分の事を知ってもらっていた方が良いと思うから。
- ・最終的には敵になるから。

2. 顧問教員対象 アンケート結果

※顧問教員へのアンケートでは、対象者の人数が少なく、回答した個人を特定可能な状況が想定されるため、検討委員会以外には回答内容を非公開とする。

以下、アンケートの質問内容のみ掲出する。

質問1. トライアル事業の実施にあたり、部活動の運営について外部指導者と十分な意思疎通が図れていると思いますか。

質問2. 質問1で「どちらかと言えばできていない」または「できていない」と回答した先生にお聞きします。どのような場面でそのように感じますか。また、それを解消するためにはどのような改善策があると考えますか。

質問3. トライアル事業は、教員の学校業務の負担軽減につながっていると思いますか。

質問4. 質問3で「そう思う」または「どちらかと言えばそう思う」と回答した場合、どのような点が負担軽減につながっていると思いますか。

質問5. 質問3で「どちらかと言えばそう思わない」または「そう思わない」と回答した場合、どのような点が負担軽減につながっていないと思いますか。

質問6. トライアル事業では、外部指導者と連携し自身が理想とする部活動運営ができていると感じていますか。(陸上競技部：トライアル事業では、顧問教員として自分自身が理想とする部活動運営ができていると感じていますか。)

質問7. 質問6で「どちらかと言えばできていない」または「できていない」と回答した先生にお聞きします。その理由を記入してください。

質問 8. トライアル事業実施前と比較して、部活動以外の学校業務（授業や指導）に変化はありましたか。

質問 9. 質問 8 で「あまり変わらない」または「かえって、学校業務に関われなくなった」と回答した先生にお聞きします。その理由を記入してください。

質問 10. 部活動の地域移行に関する取り組みを、来年度以降も活用したいと思いますか。

質問 11. 質問 10 で「積極的に活用したい」または「どちらかと言えば活用したい」と回答した先生にお聞きします。これからの部活動をさらにより良いものにするために、必要だと考えられる事柄について、ご意見がありましたら記入してください。

質問 12. 質問 10 で「どちらかと言えば活用したくない」または「活用したくない」と回答した場合、その理由を記入してください。

質問 13. 運動部活動の顧問の視点から見て、部活動の地域移行に関する取り組みについて、気になる点や直してほしい点、地域移行に関するご意見がありましたら記入してください。

3. 指導者対象 アンケート結果

質問1. トライアル事業にあたり、部活動の運営について学校（管理職や顧問の教員）と十分な意思疎通が図れていると思いますか。

	体力向上部	ソフトテニス部	陸上競技部
できている	5人	0人	4人
どちらかと言えばできている	0人	2人	2人
どちらかと言えばできていない	2人	0人	0人
できていない	0人	0人	0人

質問2. 質問1で「どちらかと言えばできていない」または「できていない」と回答した方にお聞きします。どのような場面でそのように感じますか。また、それを解消するためにはどのような改善策があると考えますか。

■体力向上部

どのような運動をしたら良いか、また、勧めたら良いかを決めかねています。

質問3. トライアル事業は、教員の学校業務の負担軽減につながっていると思いますか。

	体力向上部	ソフトテニス部	陸上競技部
そう思う	1人	0人	3人
どちらかと言えばそう思う	4人	2人	2人
どちらかと言えばそう思わない	1人	0人	1人
そう思わない	1人	0人	0人

質問4. 質問3で「そう思う」または「どちらかと言えばそう思う」と回答した方にお聞きします。どのような点が負担軽減につながっていると思いますか。

■体力向上部

- ・3月迄は、顧問教員2名。現在、顧問教員1名と地域指導者2名にて実施。
また、現状はまだトライアルしてませんが、地域の指導者にて運営のトライアルを試行予定。
- ・現在は顧問の先生も一緒にいてくださるので負担軽減に大きく寄与しているとは思われないが、先生のクラスの生徒（体力向上部員ではない）の対応が、朝、急遽必要となった場合に、わずかな時間でも席を外すことができるため。
- ・早朝の部活なので、地域の人が先に来られることのメリットがこれからあればいいと思う。

■ソフトテニス部

- ・練習に常に教員が立ち会う必要がなく、練習内容も指導者が組み立てられるため。
- ・少なくとも、練習中ずっと帯同する必要は無くなったのではないか。

■陸上競技部

- ・指導面では専門的な知識のある先生が中心になって指導してもらえるので、専門的な知識のない先生の負担は減る。
- ・1人で全生徒を見ていたところに補助の学生などが入ったことで、練習を見る人が増えたこと。
- ・「ほぼ99パーセントは、全種目を1人で指導している」と顧問の先生がお話をされていた中で、外部指導員が専門種目について指導をする事で負担軽減になっていると思います。
- ・生徒への指示や生徒の行動観察を多くの人が行い、情報を共有することで効率良い指導ができると考えます。

質問5. 質問3で「どちらかと言えばそう思わない」または「そう思わない」と回答した方にお聞きします。どのような点が負担軽減につながっていないと思いますか。

■体力向上部

- ・現在は、顧問の先生と一緒に参加しているので。
- ・現状は教員と指導者のどちらがやるのかがはっきりしていない事がまだあるように思うため。

■陸上競技部

- ・学校から移動しなければならないこと、他学校の生徒の指導をすることなど

質問6. トライアル事業では、指導者として自分自身が理想とする指導ができていると感じていますか。

	体力向上部	ソフトテニス部	陸上競技部
できている	0人	0人	2人
どちらかと言えばできている	3人	2人	3人
どちらかと言えばできていない	4人	0人	1人
できていない	0人	0人	0人

質問7. 質問6で「どちらかと言えばできていない」または「できていない」と回答した方にお聞きします。その理由を記入してください。

■体力向上部

- ・指導のお手伝いくらいしか参加していないため。指導と言うより、見守り隊的な役目。
- ・指導というより、活動を見守っている要素が強いため。

■陸上競技部

- ・指導というより、支援といった感じのため。

質問8. 大会引率について、学校の教員不在で指導者の方のみで引率することになった場合、不安はありますか。

	ソフトテニス部
ない	0人
あまりない	0人
どちらかと言えばある	2人
ある	0人

質問9. 質問8で「どちらかと言えばある」または「ある」と回答した方にお聞きします。どのような点が不安ですか。

■ソフトテニス部

- ・まだ全員とのコミュニケーションができていない。

- ・問題発生時などの連絡体制がないから。

質問10. 大会運営について、外部指導員として、どのような支援・協力することができますか。

■ソフトテニス部

- ・運営のサポート
- ・現在のところ、イメージがわきません

質問11. 外部指導者の視点から見て、部活動の地域移行に関する取り組みについて、気になる点や直してほしい点、地域移行に関するご意見がありましたら記入してください。

■体力向上部

- ・数回、外部指導者として部員に関わっただけではあるが、学校外で体力向上部の部員に会うと挨拶をしてくれる子どもが出てきた。教員の負担軽減とともに、地域に家族や教員以外で顔見知りの大人がいるということは、防犯や子どもたちの成長においても意義のあることではないかと思う。
- ・顧問の先生の手が離れてから、どうなるか。
- ・地域の指導者に対する、統一した研修が必要。
- ・部活動の地域移行については、教員の異動に併せて、その関わり方が変わると思う。受け皿となる側がその都度対応を変えていくのもなかなか難しいのでは、と思う。
- ・子どもの部活動の時間（平日夕方や土日）に対応できる人材を確保するのはかなり困難。日替わりで指導者が変わるようでは指導に一貫性を欠くことになるのではないかとも思われる。体力向上部のような部活であれば良いのだが・・・
- ・体力向上部という特徴ある部活は、指導内容も限定しないため、様々な事に挑戦出来るメリットもあるが、きちんと見極めないと短時間の活動時間中に出来ることは限られてしまい、継続してやるなら計画をたてることが求められる。これまでの生徒主体で決めてきたスタイルと異なっていく可能性もあると思うので、そのバランスをどのようにとるのか？

■ソフトテニス部

- ・平日に教える人材を確保するのが難しいという問題があります。
- ・トライアルで始まりましたが、終着点が見えず、今後どうなるか不安なのと指導者の確保が一番の課題かと思っています。